

【概要版】

子ども・子育て支援に関する
アンケート調査票

調査結果報告書

令和6年3月
三条市

目次

I. 調査の概要.....	1
1 調査目的.....	1
2 調査の種類と実施方法.....	1
3 回収結果.....	1
4 報告書をみる際の注意.....	1
II. 就学前児童アンケート調査結果.....	2
1 お住まいの地域について.....	2
2 お子さんご家族の状況について.....	3
3 保護者の就労状況について.....	5
4 職場の両立支援制度について.....	7
5 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について.....	13
6 土曜・休日や長期休暇中の「定期的な」教育・保育事業の利用希望について.....	14
7 病気の際の対応について.....	15
8 不定期の教育・保育事業や一時預かり等の利用について.....	16
9 地域の子育て支援事業の利用状況について.....	19
10 育児や家事に対する支援サービスの利用について.....	21
11 5歳以上のお子さんの放課後の過ごし方の希望について.....	23
12 1歳以上のお子さんの生活習慣について.....	24
13 情報収集について.....	24
14 子育てで感じていることなどについて.....	25
III. 小学生アンケート調査結果.....	30
1 お住まいの地域について.....	30
2 お子さんご家族の状況について.....	31
3 保護者の就労状況について.....	33
4 職場の両立支援制度について.....	35
5 病気の際の対応について.....	38
6 地域の子育て支援事業の利用状況について.....	39
7 育児や家事に対する支援サービスの利用について.....	40
8 放課後の過ごし方の希望について.....	42
9 生活習慣について.....	44
10 情報収集について.....	45
11 子育てで感じていることなどについて.....	45
IV. 中学生アンケート調査結果.....	49

1	お住まいの地域について.....	49
2	お子さんとご家族の状況について.....	50
3	保護者の就労状況について.....	52
4	放課後の過ごし方の希望について.....	54
5	生活習慣について.....	55
6	情報収集について.....	56
7	子育てについて感じていることなどについて.....	56
V. 16 歳から 18 歳（高校生相当の年齢）アンケート調査.....		61
1	生活状況などについて.....	61
2	就学、就労の状況、将来について.....	62
3	結婚観について.....	63
4	相談先、学習支援の場や居場所について.....	64
5	情報収集について.....	66
6	こどもや若者の意見聴取について.....	67

I. 調査の概要

1 調査目的

本調査は、「すまいる子ども・若者プラン（三条市子ども・子育て支援事業計画）」で確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「これから必要な量」を算出し、また、市民の皆様の教育・保育・子育てに関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握する目的として実施しました。

2 調査の種類と実施方法

本調査においては、対象別に次の4種類のアンケート調査を実施しました。

調査の種類	調査対象	実施方法	調査期間
就学前児童アンケート	市内の就学前児童の保護者	就学前児童のいる600人 郵送配布・回収/Webアンケート	令和5年 12月～ 令和6年 1月
小学生アンケート	市内の小学生の保護者	就学児童のいる900人 郵送配布・回収/Webアンケート	
中学生アンケート	市内の中学生の保護者	就学児童のいる450人 郵送配布・回収/Webアンケート	
16歳から18歳アンケート	市内の16歳から18歳(高校生相当年齢)の本人	該当者から無作為に抽出した450人 郵送配布・回収/Webアンケート	

3 回収結果

調査の種類	配布数	回収数	有効回収数
就学前児童アンケート	600人	308人 (回収率 51.3%)	308人 (有効回収率 51.3%)
小学生アンケート	900人	499人 (回収率 55.4%)	499人 (有効回収率 55.4%)
中学生アンケート	450人	236人 (回収率 52.4%)	236人 (有効回収率 52.4%)
16歳から18歳アンケート	450人	203人 (回収率 45.1%)	203人 203人 (有効回答率 45.1%)

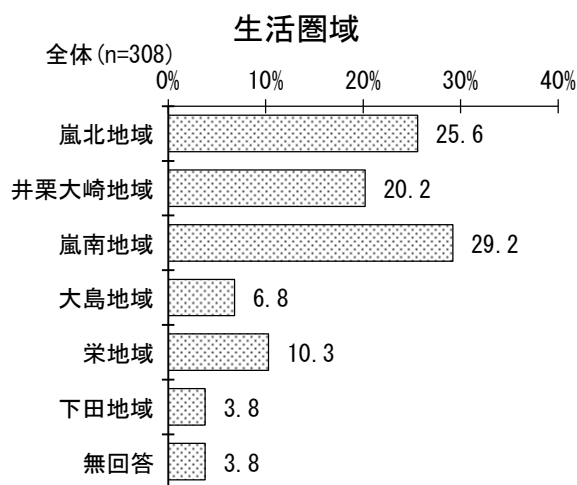
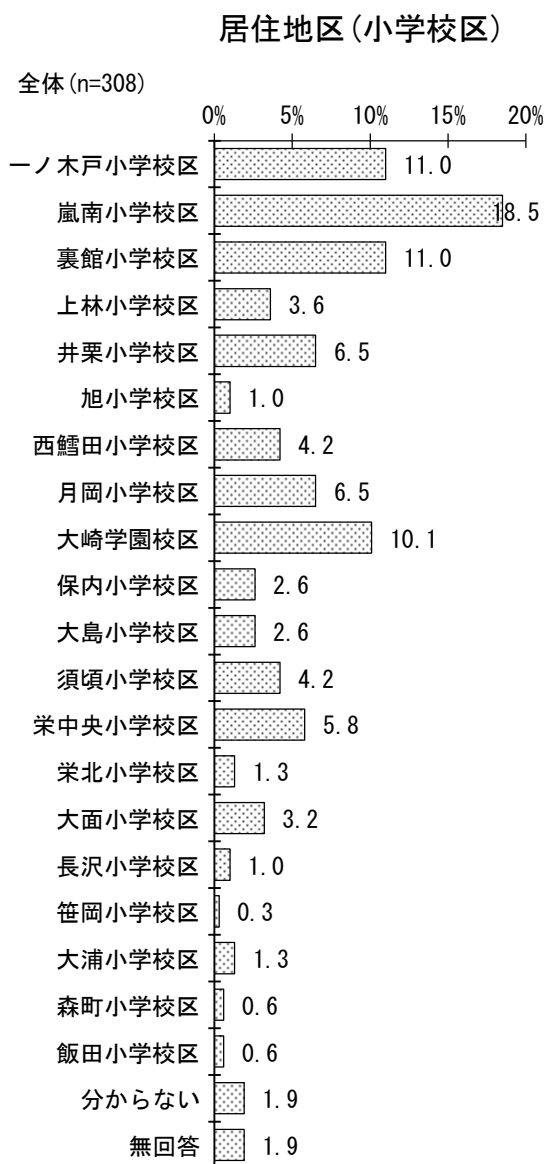
4 報告書をみる際の注意

- ・比率はすべて百分率(%)で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出します。したがって、合計が100.0%を上下する場合があります。複数回答については、合計が通常100%を超えます。
- ・図表中の「n=〇〇」とは、集計対象者総数（または分類別の該当対象者数）を示しています。
n≤10の設問に関しましては、回答者人数の表を記載しています。
- ・選択肢が4個までの単数回答設問は円グラフ、選択肢が5個以上の単数回答設問は網掛けの棒グラフ、複数回答設問は黒色の棒グラフとなっています。複数回答設問の棒グラフは、高い割合の項目がわかりやすいようにすべて割合による降順となっています。
- ・問の中には「～と回答した方におたずねします。」などいろいろな限定があり、回答者が少ない場合は、数人の違いで割合が大きく変わることがあります。

Ⅱ. 就学前児童アンケート調査結果

1 お住まいの地域について

回答者(回答対象児童)の居住地区については、小学校区別、圏域別で下記の通りとなっています。

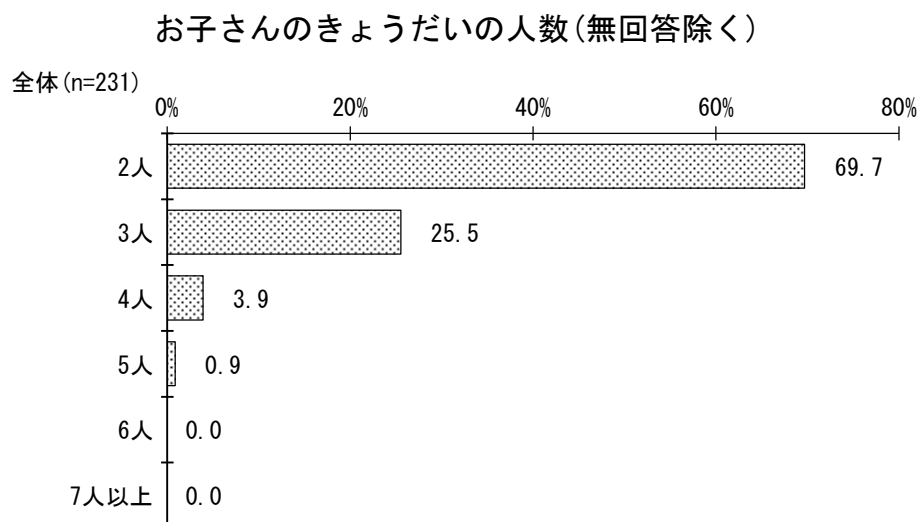
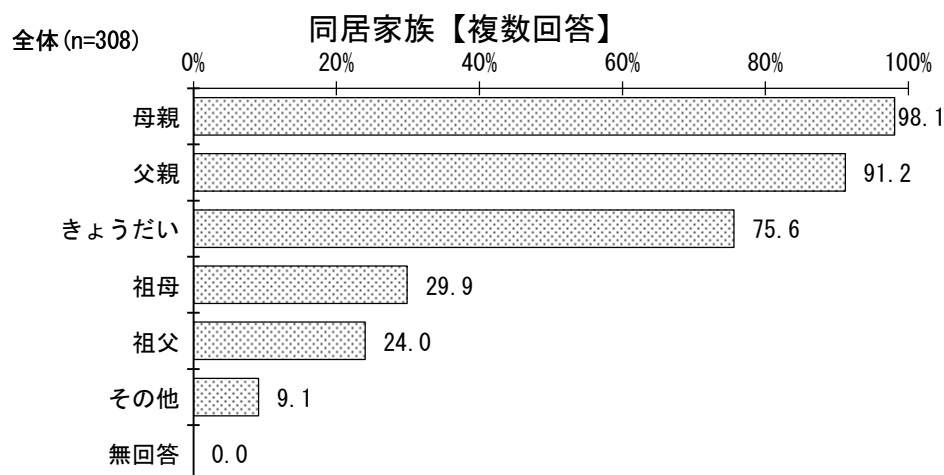
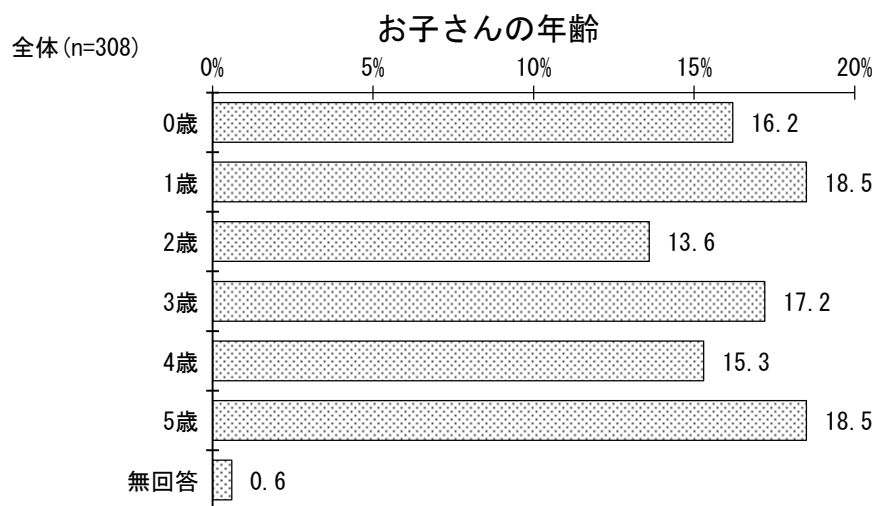


生活圏域(学区別)	
圏域	小学校
嵐北地域	一ノ木戸小学校区
	裏館小学校区
	上林小学校区
井栗大崎地域	井栗小学校区
	旭小学校区
	大崎学園校区
	保内小学校区
嵐南地域	嵐南小学校区
	西鱈田小学校区
	月岡小学校区
大島地域	大島小学校区
	須頃小学校区
栄地域	栄中央小学校区
	栄北小学校区
	大面小学校区
下田地域	長沢小学校区
	笹岡小学校区
	大浦小学校区
	森町小学校区
	飯田小学校区

2 お子さんとご家族の状況について

<回答者の属性等>

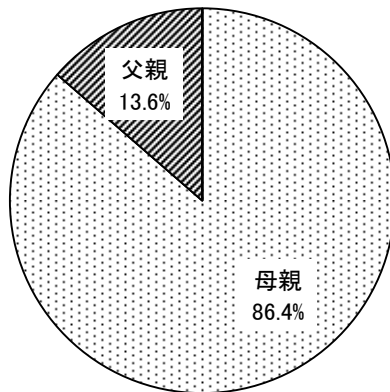
回答者(回答対象児童)の年齢、家族構成等は下記の通りとなっています。



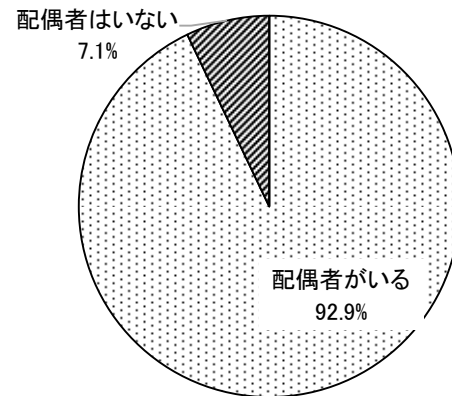
<回答者の続柄>

回答者の続柄については、「母親」の割合が86.4%で、「父親」(13.6%)を大きく上回っています。

全体(n=308) **回答者の続柄**



全体(n=308) **回答者の配偶関係**



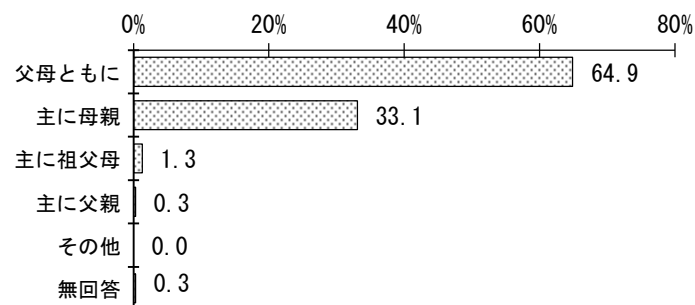
<子育ての担い手>

子育ての主な担い手については、「父母ともに」が64.9%で最も高くなっています。

お子さんをみてもらえる親族・知人については、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が56.8%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が43.5%となっています。

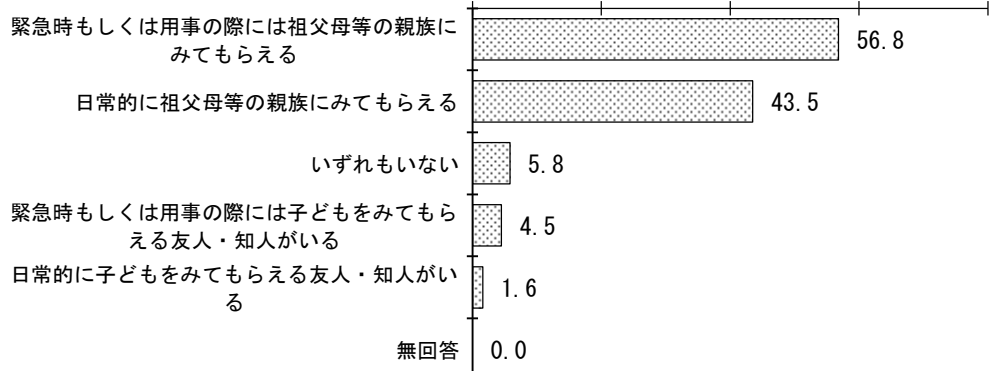
全体(n=308)

子育ての主な担い手



お子さんをみてもらえる親族・知人【複数回答】

全体(n=308)

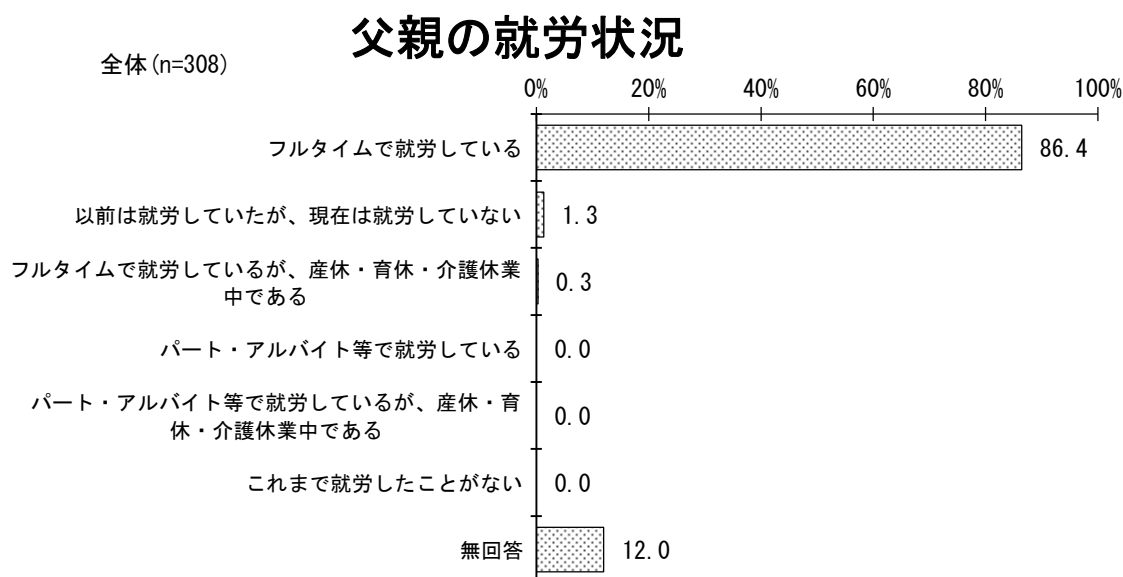
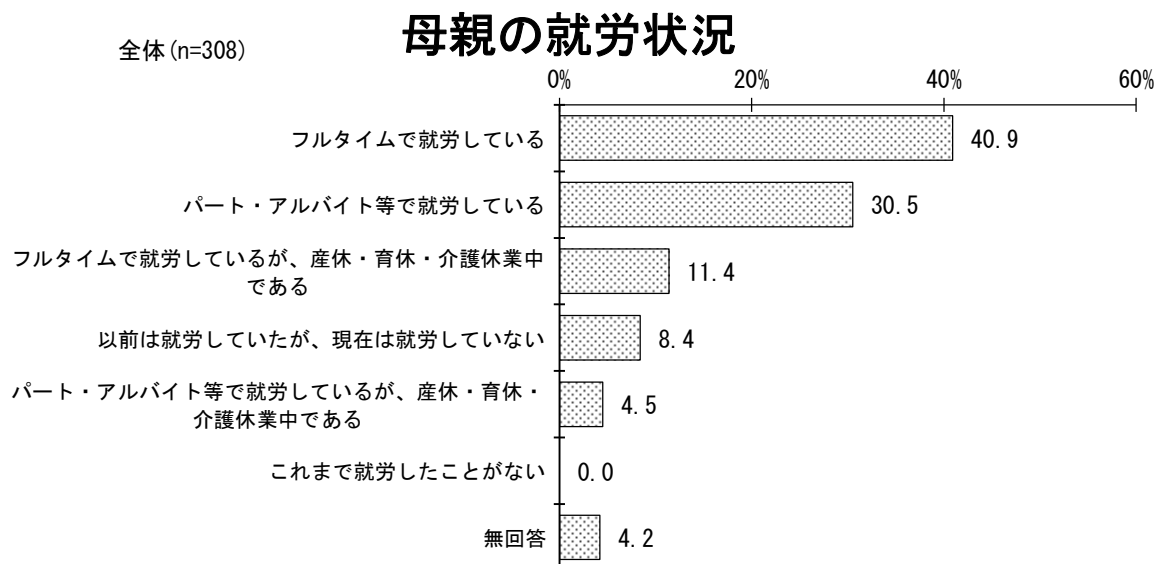


3 保護者の就労状況について

<父母の就労状況>

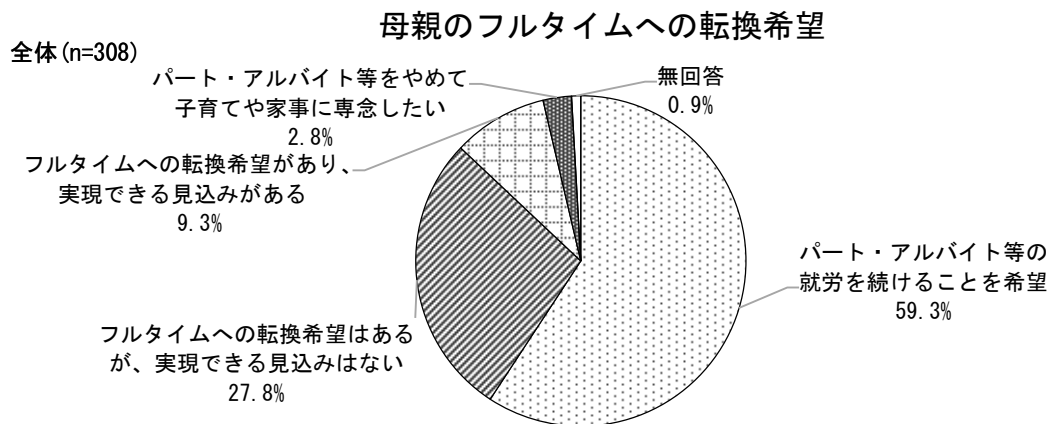
母親の就労状況については、「フルタイムで就労している」の割合が 40.9%と最も高く、次いで「パート・アルバイト等で就労している」が 30.5%となっています。

父親については、「フルタイムで就労している」が 86.4%と最も高くなっています。



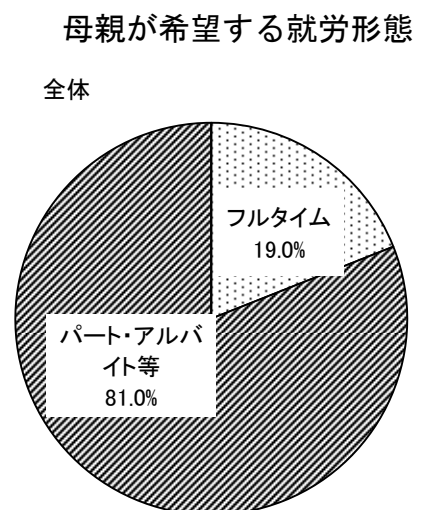
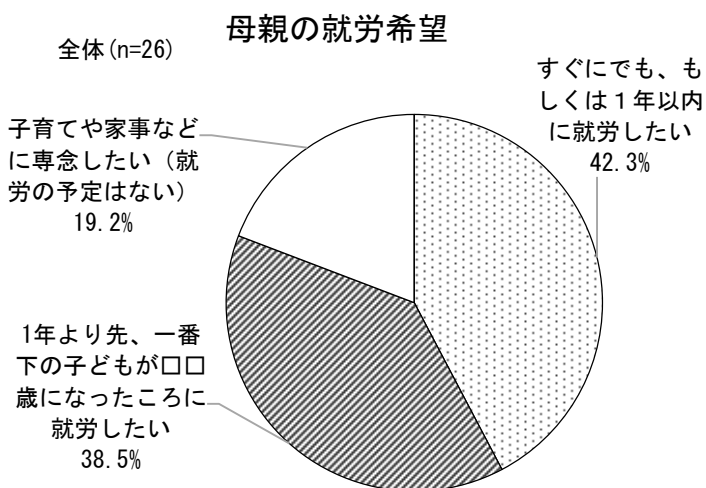
<母親のフルタイムへの転換希望>

母親のパート・アルバイト就労者における(父親は該当なし)フルタイムへの転換希望については、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が59.3%と最も高くなっています。



<父母の就労希望>

現在就労していない母親の(父親は該当者少数のためコメント省略) 就労希望については、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が42.3%、「1年より先、一番下の子どもが□□歳になったころに就労したい」が38.5%で、8割強が就労を希望しています。
希望する就労形態では、「パート・アルバイト等」の割合が81.0%と大半を占めています。



4 職場の両立支援制度について

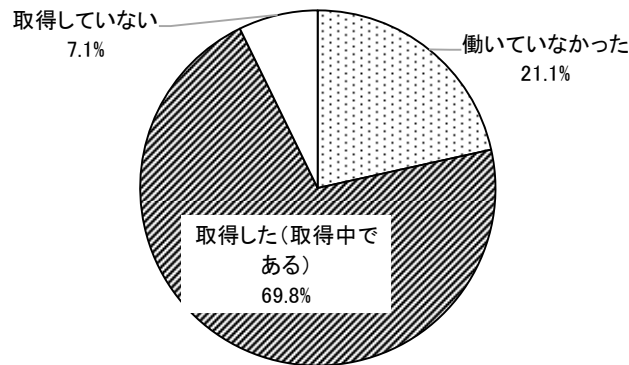
<母親の育児休業取得状況>

母親の育児休業の取得状況については、「取得した（取得中である）」の割合が69.8%と最も高く、以下「働いていなかった」（21.1%）、「取得していない」（7.1%）が続いています。

育児休業を取得していない理由については、「子育てや家事に専念するため退職した」の割合が22.7%と最も高く、次いで「仕事が忙しかった」「（産休後に）仕事に早く復帰したかった」「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」がいずれも13.6%で続いています。

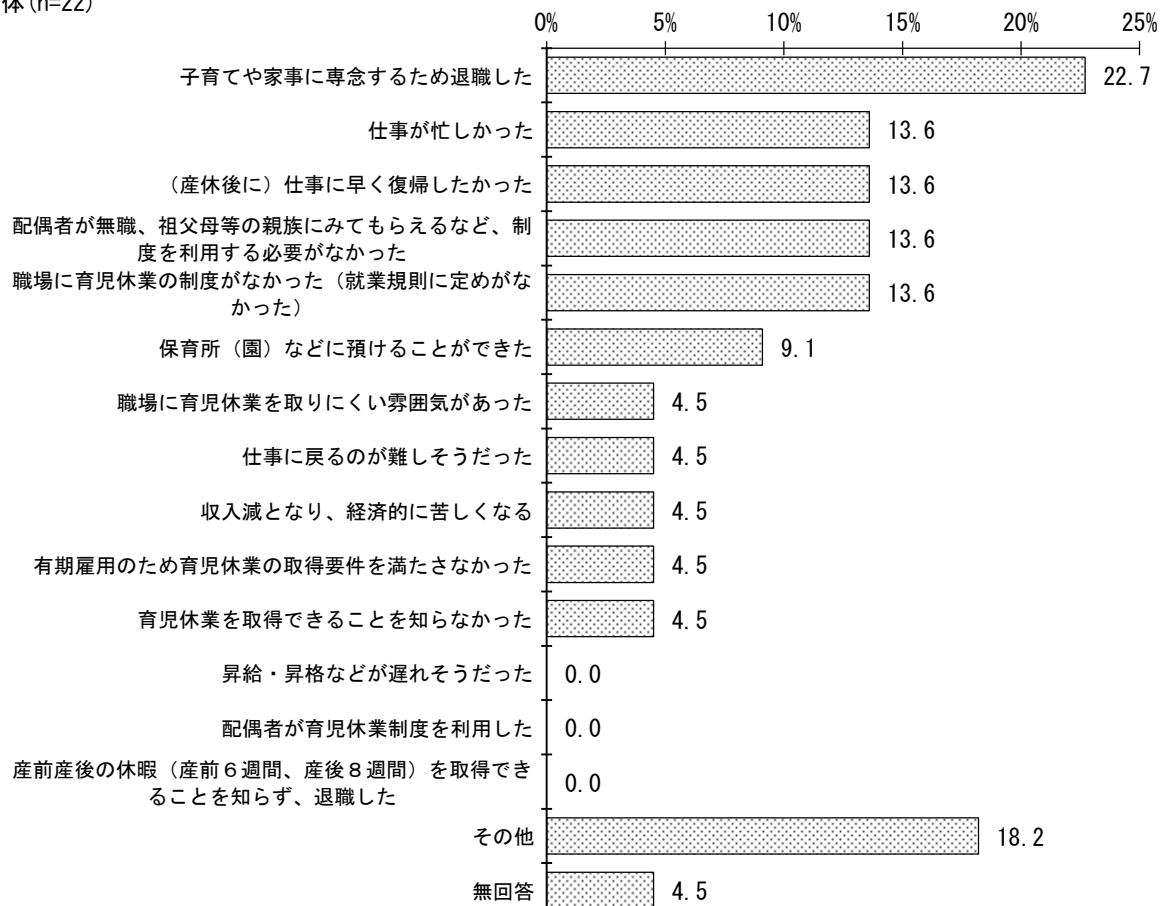
全体(n=308)

母親の育児休業の取得状況



母親が育児休業をしていない理由【複数回答】

全体(n=22)



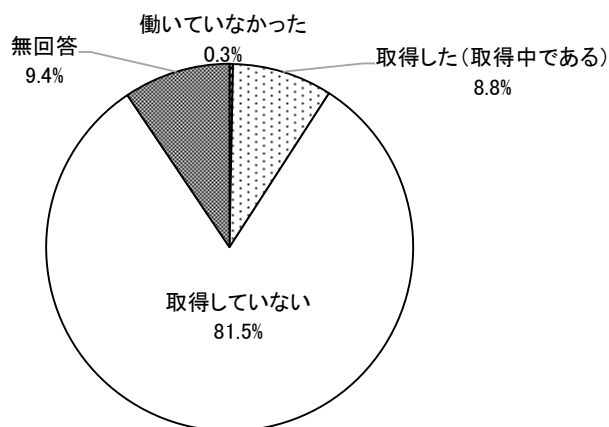
<父親の育児休業取得状況>

父親の育児休業の取得状況については、「取得していない」の割合が81.5%と最も高く、次いで「取得した（取得中である）」が8.8%となっています。

育児休業を取得していない理由については、「仕事が忙しかった」の割合が43.4%と最も高く、以下「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」（39.4%）、「収入減となり、経済的に苦しくなる」（35.5%）、「配偶者が育児休業制度を利用した」（33.5%）が続いています。

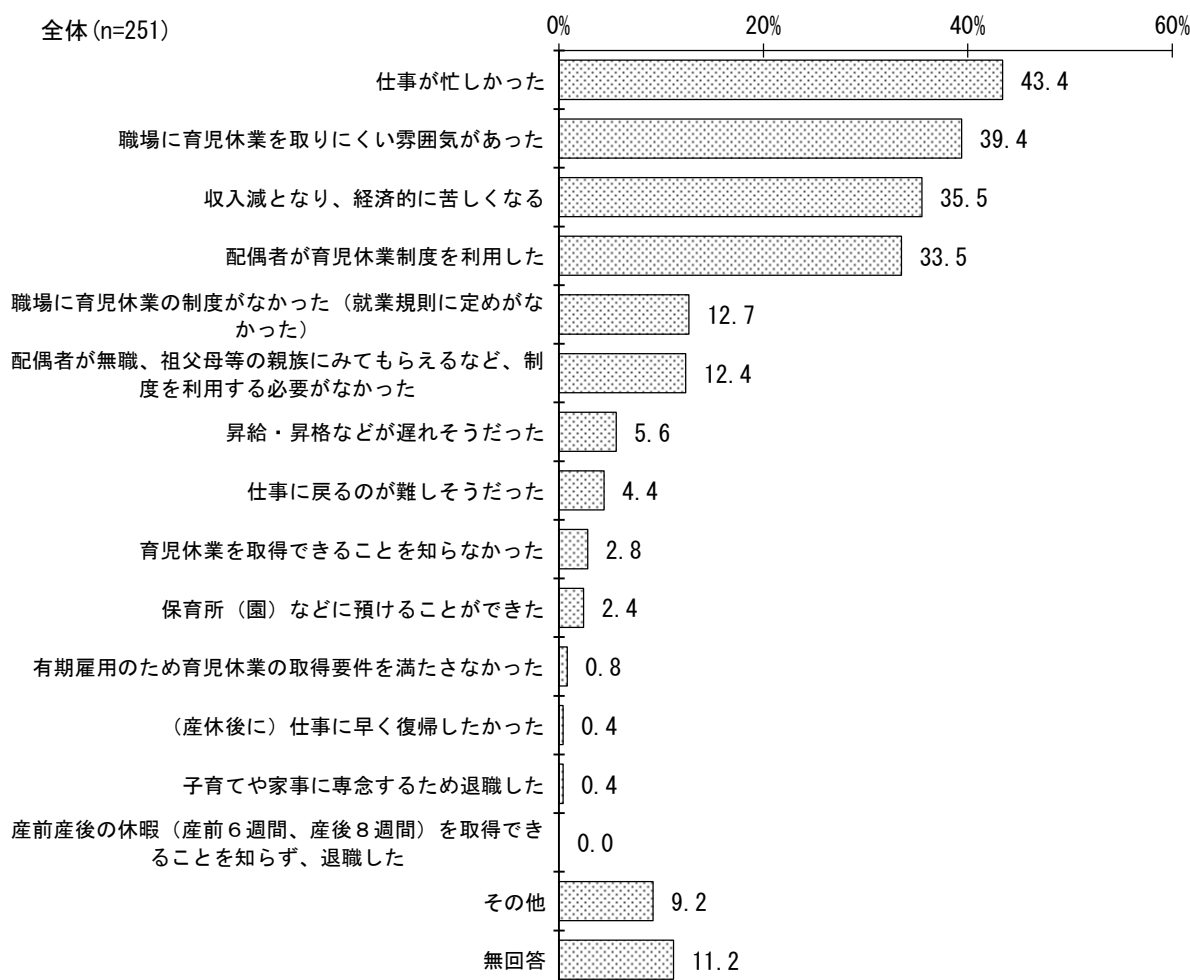
全体 (n=308)

父親の育児休業の取得状況



父親が育児休業を取得していない理由【複数回答】

全体 (n=251)



<母親の職場復帰の状況>

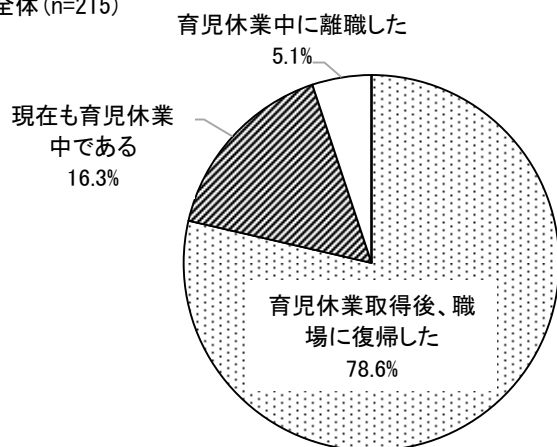
母親の育児休業取得後の職場復帰状況については、「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が78.6%となっています。

母親が育児休業から職場復帰したタイミングについては、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」の割合が53.8%、「それ以外だった」が42.0%となっています。

母親が育児休業から職場復帰した際の子どもの年齢については、「1歳～2歳未満」の割合が63.3%で最も高く、次いで「6ヶ月～1歳未満」が27.2%となっており、母親が希望する年齢に比べ、実際にはやや早期の職場復帰傾向となっています。

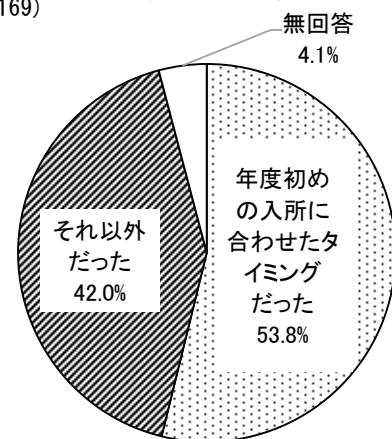
母親の育児休業取得後の職場復帰状況

全体 (n=215)



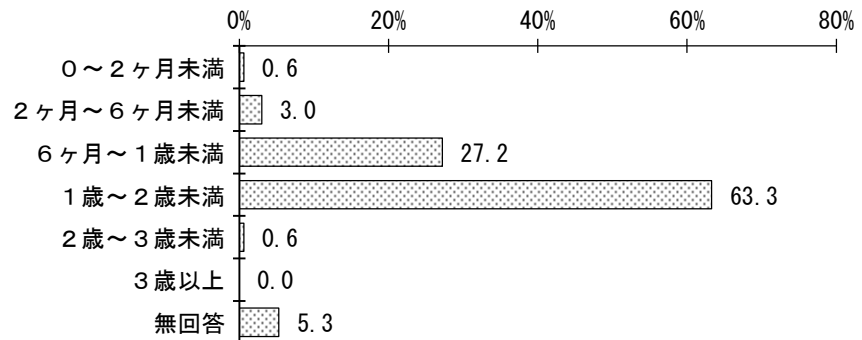
母親が育児休業から職場復帰したタイミング

全体 (n=169)



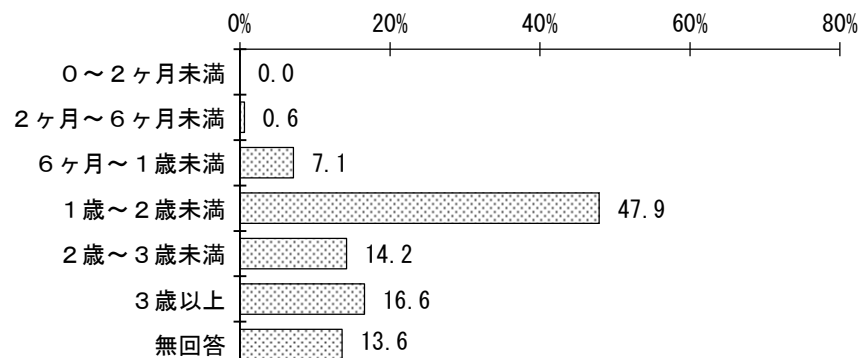
母親が実際に職場復帰した際の子どもの年齢

全体 (n=169)



母親が希望する職場復帰時の子どもの年齢

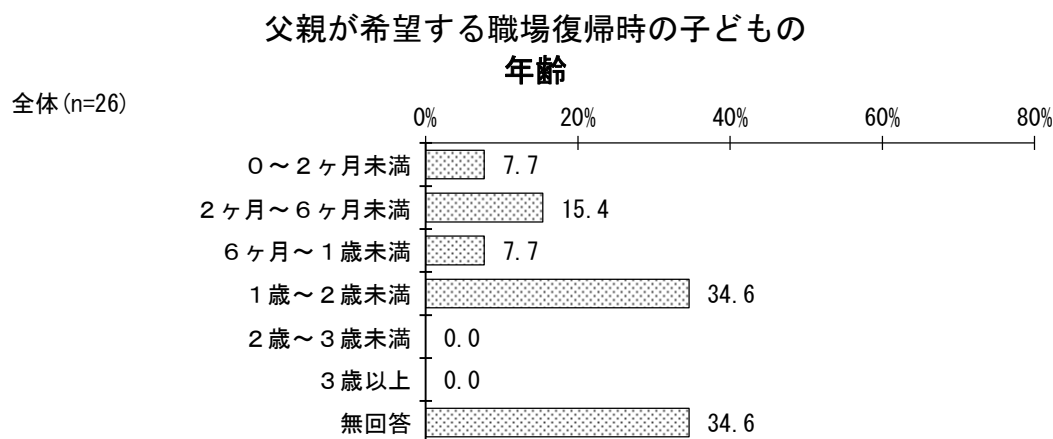
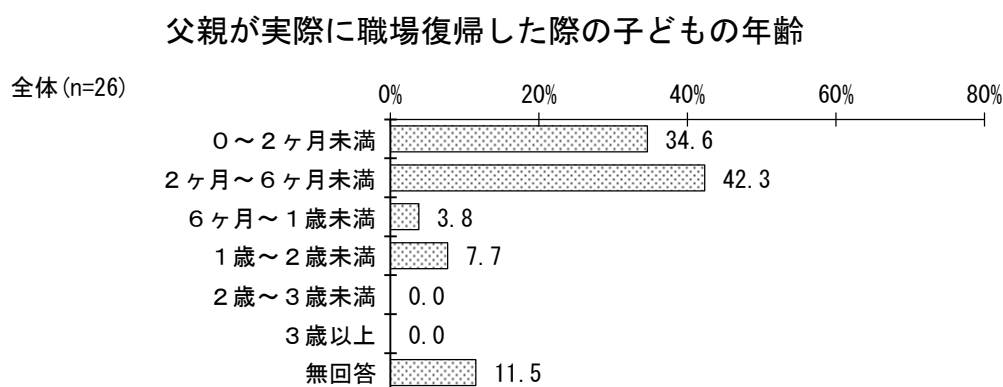
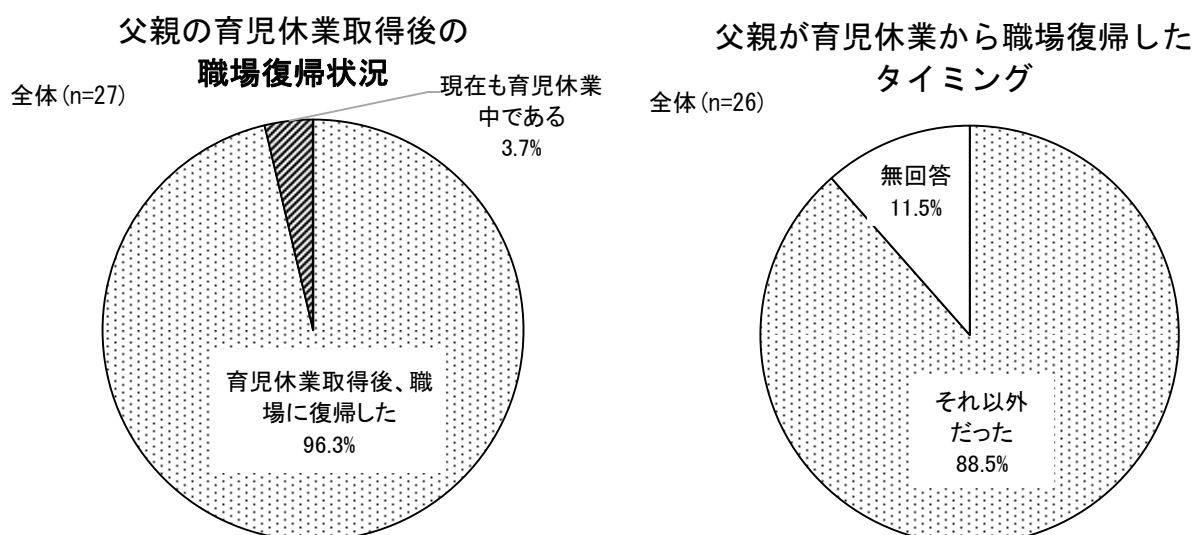
全体 (n=169)



<父親の職場復帰の状況>

父親の育児休業取得後の職場復帰状況については、「育児休業取得後、職場に復帰した」の割合が96.3%となっています。父親が育児休業から職場復帰したタイミングについては、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」は回答者なく、「それ以外だった」が88.5%となっています。

父親が育児休業から職場復帰した際の子どもの年齢については、「2ヶ月～6ヶ月未満」の割合が42.3%と最も高く、次いで「0～2ヶ月未満」が34.6%と、6ヶ月未満での復帰が8割弱を占めています。一方、希望の取得期間では「1歳～2歳未満」の割合が34.6%と最も高くなっていることから、希望に比べ実際には早期の復帰時期となっています。

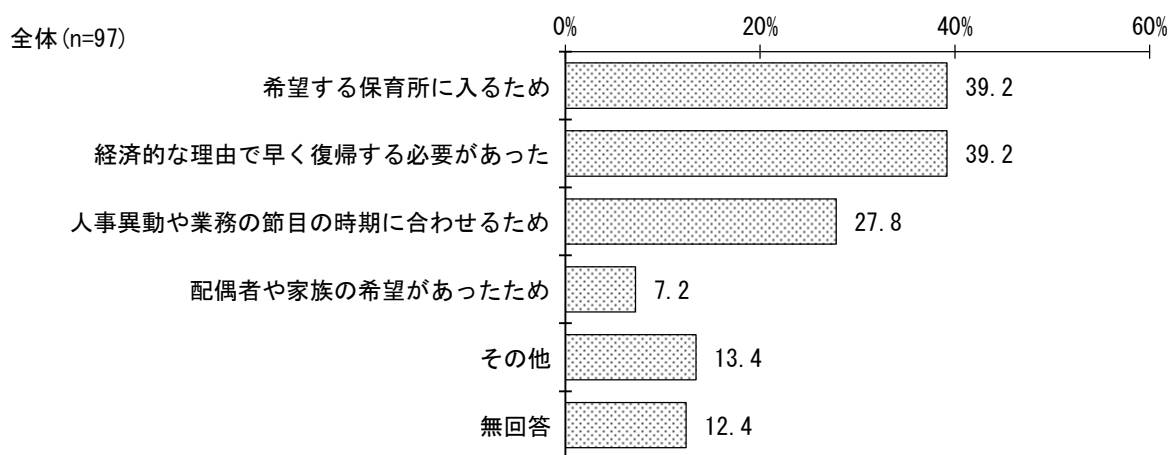


<母親の実際の職場復帰時期が希望と異なった理由>

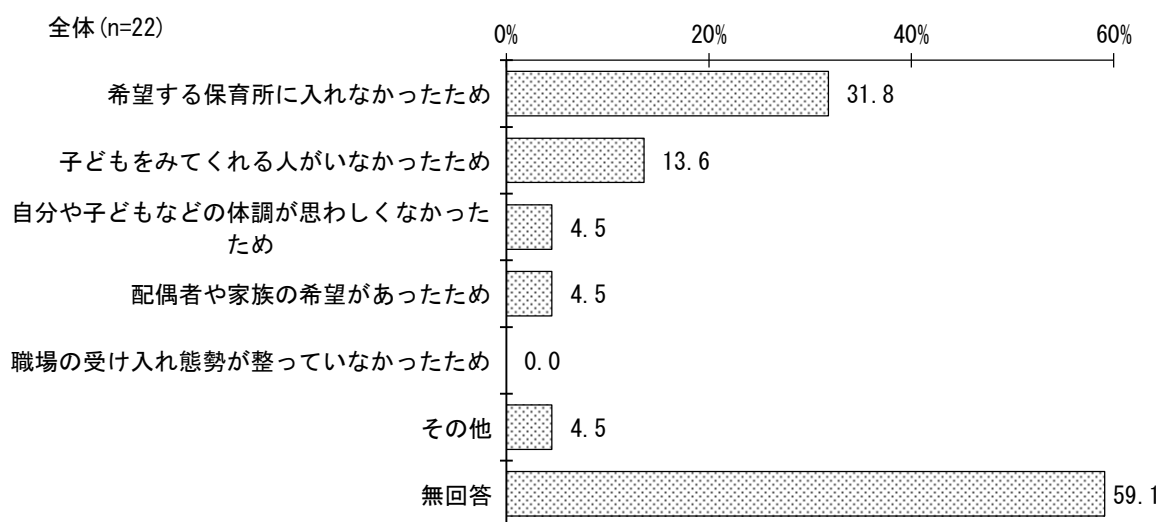
母親が「希望」より早く復帰した理由では、「希望する保育所に入るため」と「経済的な理由で早く復帰する必要があった」の割合がともに 39.2%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が 27.8%などとなっています。

一方、「希望」より遅く復帰した方の理由では、「希望する保育所に入れなかったため」の割合が 31.8%と最も高くなっています。

「希望」より早く復帰した母親の理由【複数回答】



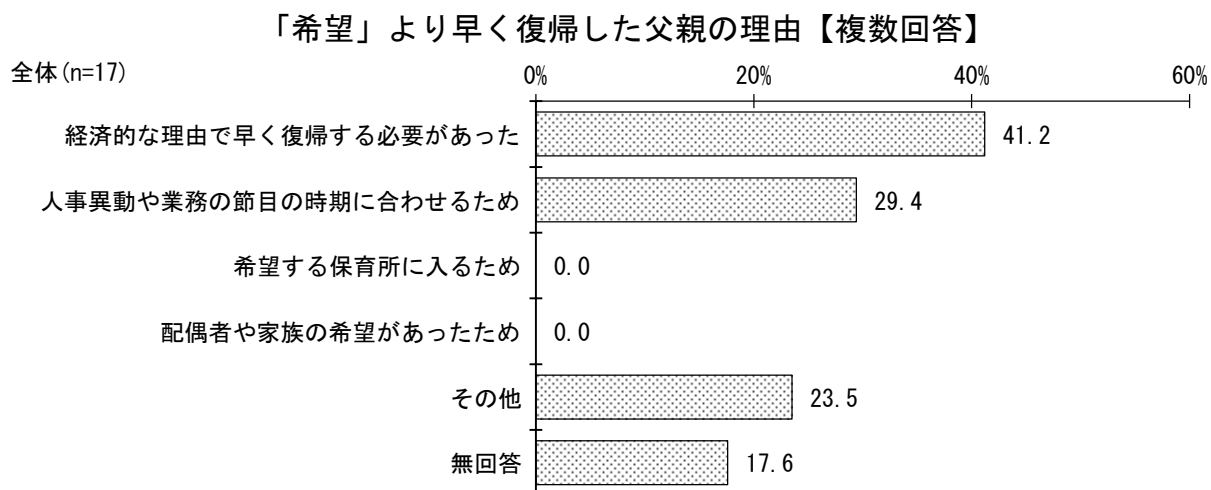
「希望」より遅く復帰した母親の理由【複数回答】



<父親の実際の職場復帰時期が希望と異なった理由>

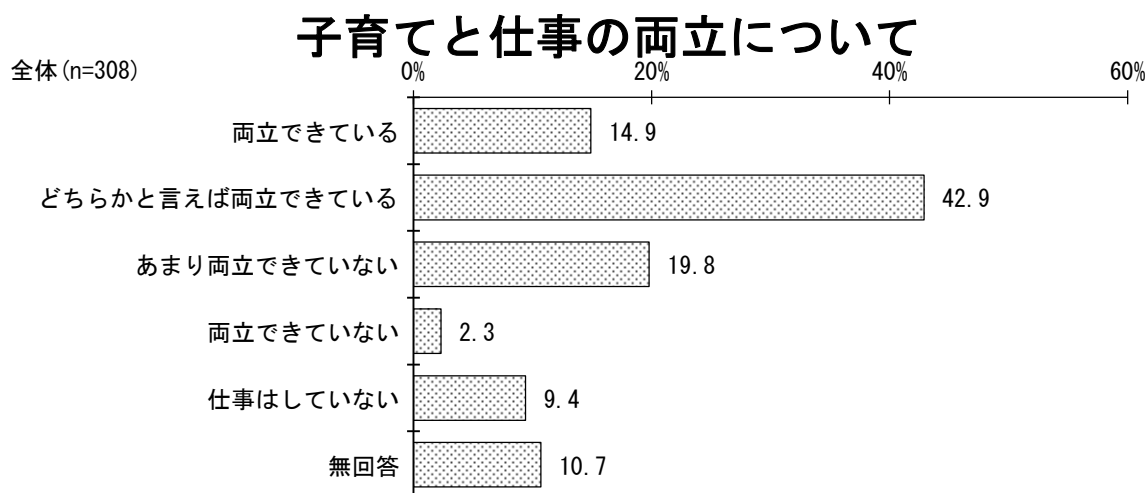
父親が「希望」より早く復帰した理由については、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」の割合が41.2%と最も高く、次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が29.4%となっています。

「希望」より遅く復帰した理由は、すべて「無回答」となっています。



<仕事と子育ての両立>

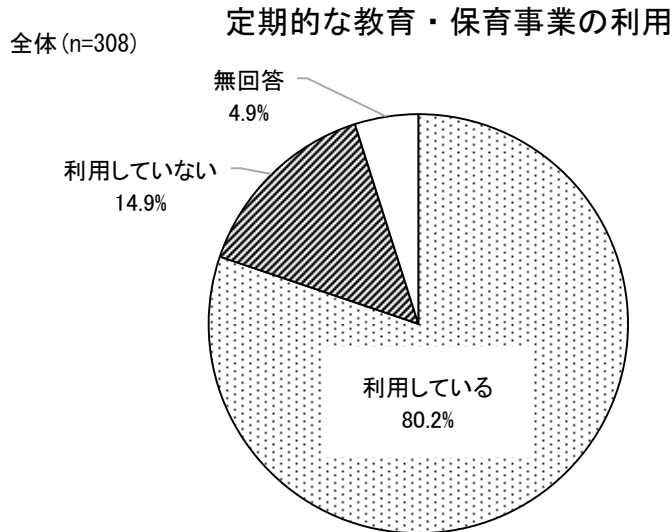
子育てと仕事の両立については、「どちらかと言えば両立できている」の割合が42.9%と最も高く、以下「あまり両立できていない」(19.8%)、「両立できている」(14.9%)、「仕事はしていない」(9.4%)が続いています。



5 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

＜平日の定期的な教育・保育事業の利用＞

定期的な教育・保育事業の利用については、「利用している」の割合が80.2%、「利用していない」が14.9%となっています。

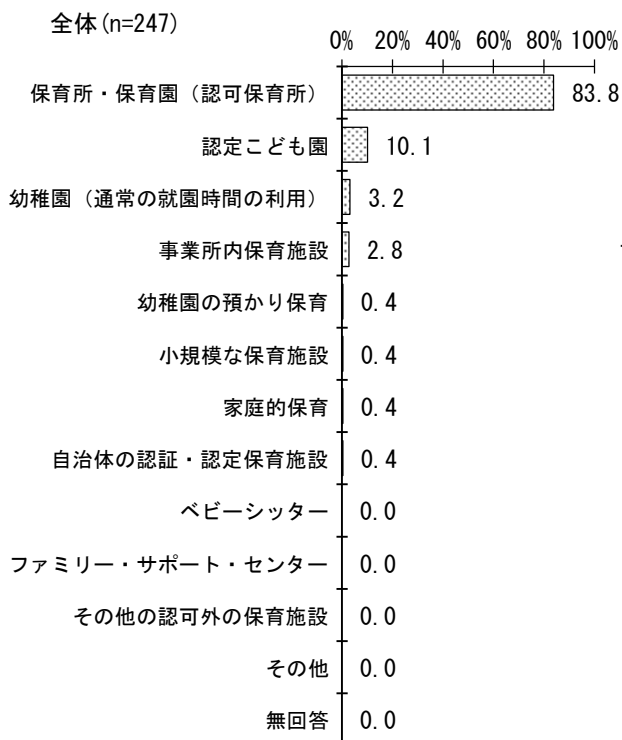


＜平日の利用場所・今後の利用意向＞

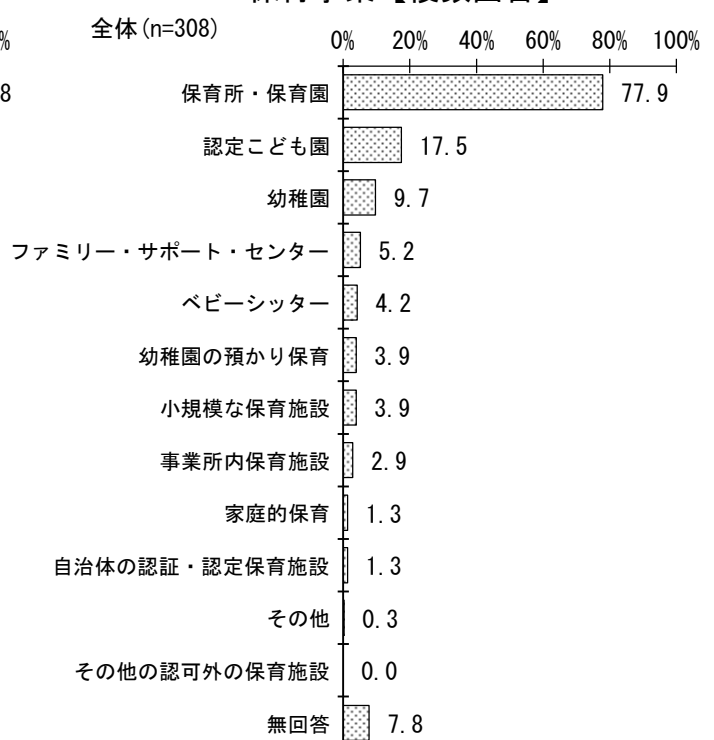
平日の定期的な教育・保育事業の利用場所については、「保育所・保育園（認可保育所）」の割合が83.8%と最も高くなっています。

利用したい事業としては「保育所・保育園」を除き利用意向が現状に比べ増加しています。

平日の定期的な利用場所



定期的に利用したい教育・保育事業【複数回答】



6 土曜・休日や長期休暇中の「定期的な」教育・保育事業の利用希望について

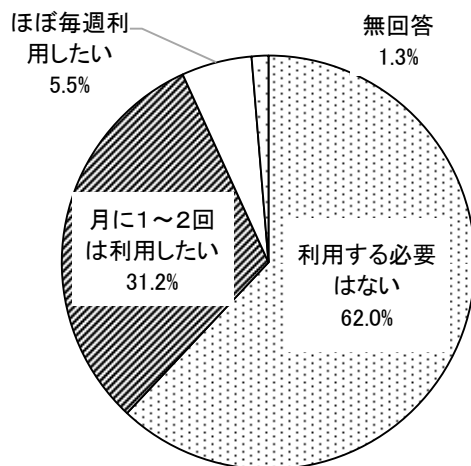
＜土曜日及び日曜・休日の定期的な教育・保育事業の利用希望＞

土曜日の定期的な教育・保育事業の利用については、「利用する必要はない」の割合が62.0%と最も高く、「月に1～2回は利用したい」が31.2%、「ほぼ毎週利用したい」が5.5%となっています。

日曜日・祝日については、「利用する必要はない」の割合が83.8%と最も高く、以下「月に1～2回は利用したい」(13.0%)、「ほぼ毎週利用したい」(0.6%)となっています。

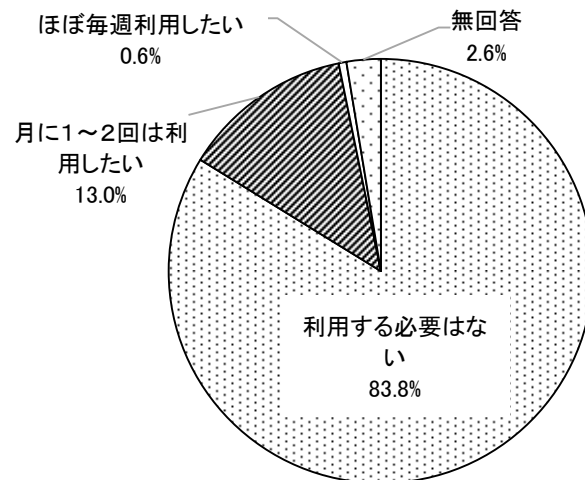
土曜日の利用希望

全体 (n=308)



日曜日・休日の利用希望

全体 (n=308)

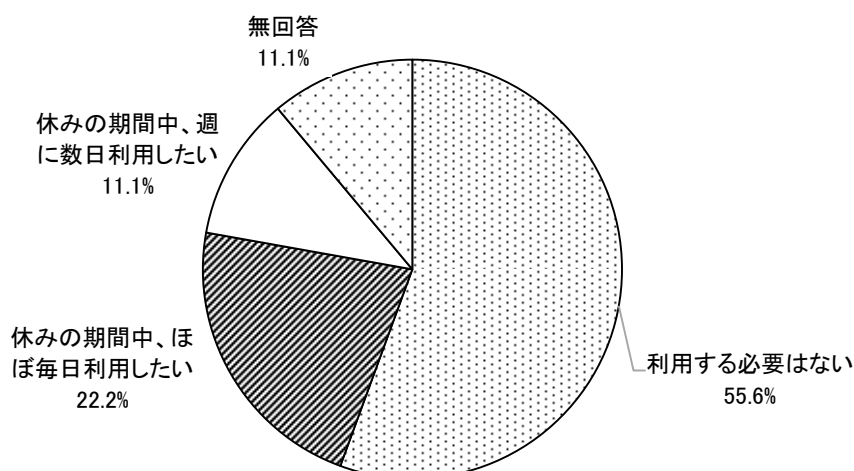


＜長期休暇中の教育・保育事業の利用希望＞

夏休み、冬休み等の長期休暇中の教育・保育事業の利用希望については、「利用する必要はない」の割合が55.6%と最も高く、以下「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」(22.2%)、「休みの期間中、週に数日利用したい」(11.1%)が続いています。

全体 (n=9)

長期休暇中の教育・保育事業の利用希望



7 病気の際の対応について

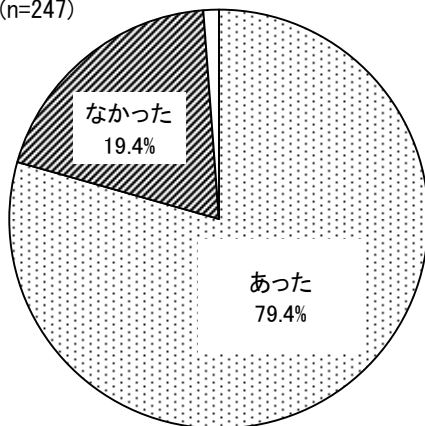
＜病気やケガで通常の事業が利用できなかった経験及び対処方法＞

病気やケガで通常の事業が利用できなかった経験については、「あった」の割合が79.4%と、「なかった」(19.4%)の割合を大きく上回っています。

対処方法については、「母親が休んだ」の割合が85.2%と最も高く、以下「(同居者を含む) 親族・知人に子どもを看てもらった」(52.0%)、「父親が休んだ」(43.4%)が続いています。

病気やケガで通常の事業が
利用できなかった経験

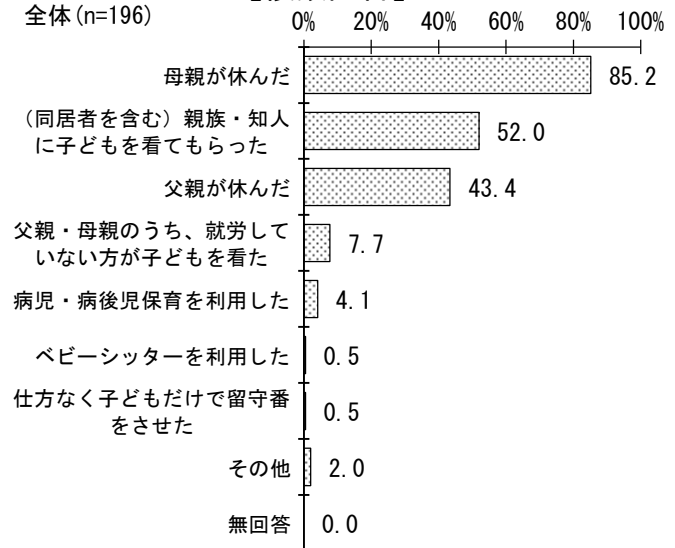
全体 (n=247)



お子さんが病気の際の対処方法

【複数回答】

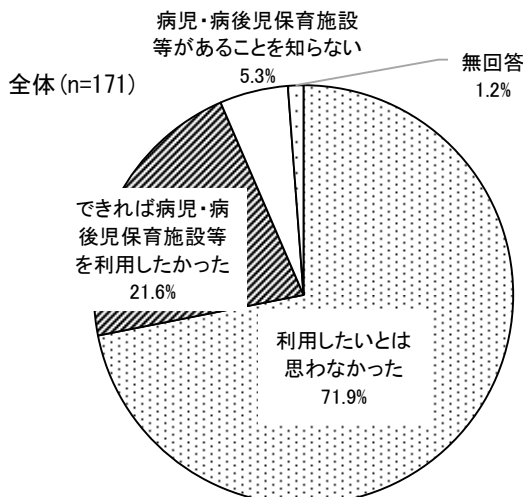
全体 (n=196)



＜病児・病後児保育施設の利用＞

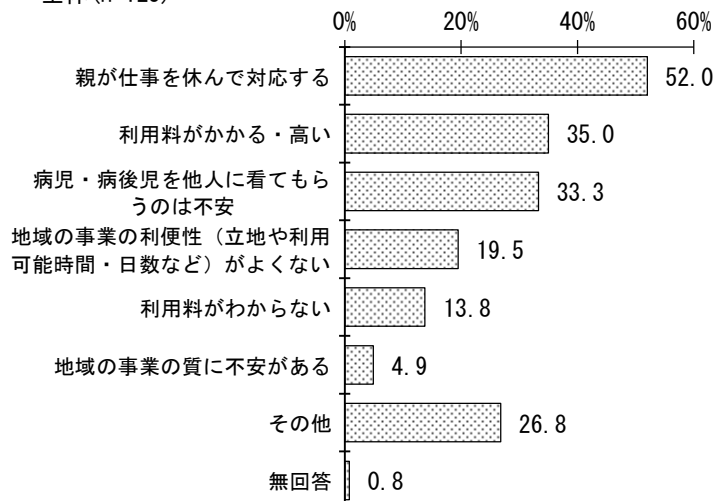
病児・病後児保育施設等の利用希望については、「利用したいとは思わなかった」の割合が71.9%、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したかった」が21.6%となっています。利用したいと思わない理由については、「親が仕事を休んで対応する」の割合が52.0%と最も高くなっています。

病児・病後児保育施設等の利用希望



病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由【複数回答】

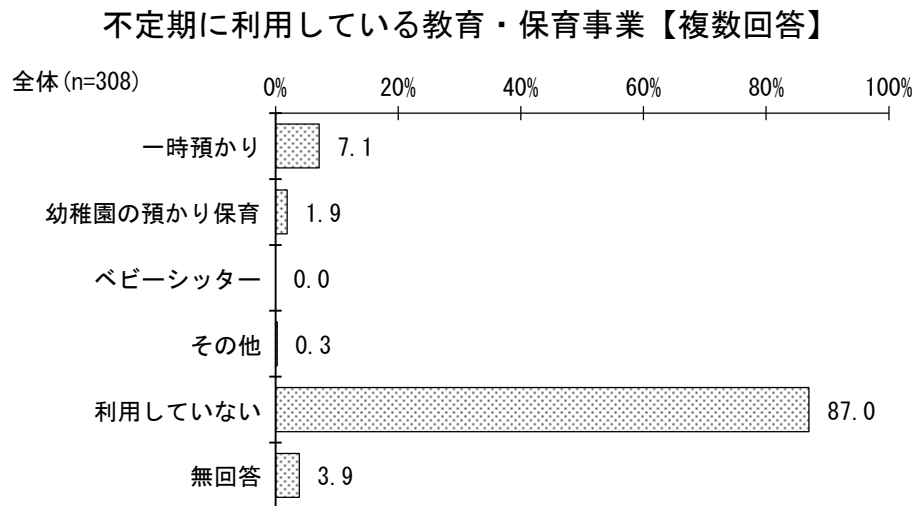
全体 (n=123)



8 不定期の教育・保育事業や一時預かり等の利用について

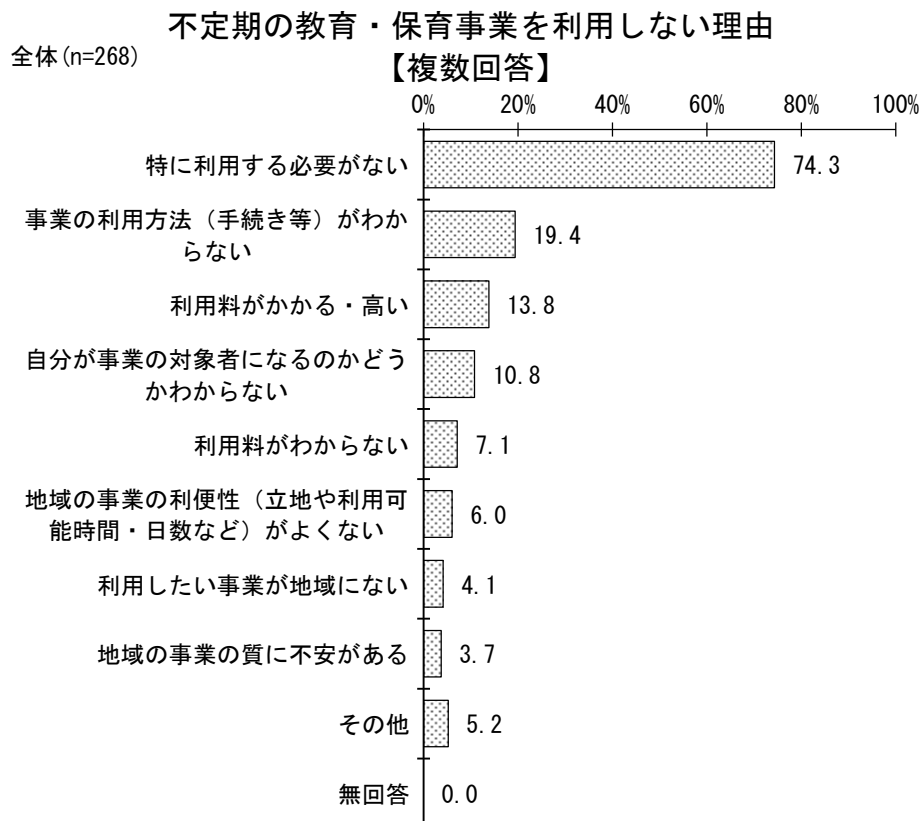
<不定期に利用している教育・保育事業>

不定期に利用している教育・保育事業については、「一時預かり」の割合が7.1%と最も高く、次いで「幼稚園の預かり保育」が1.9%となっています。なお、「利用していない」の割合が87.0%となっています。



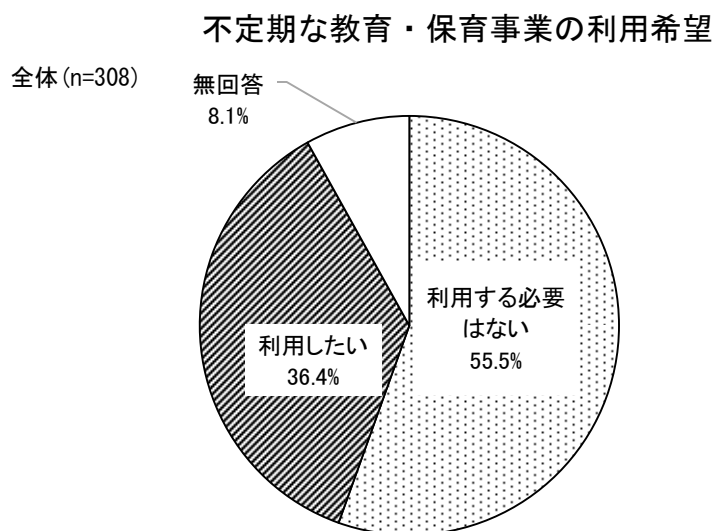
<不定期の教育・保育事業を利用しない理由>

不定期の教育・保育事業を利用しない理由については、「特に利用する必要がない」の割合が74.3%と最も高く、以下「事業の利用方法（手続き等）がわからない」（19.4%）、「利用料がかかる・高い」（13.8%）、「自分が事業の対象者になるのかどうかかわからない」（10.8%）が続いています。



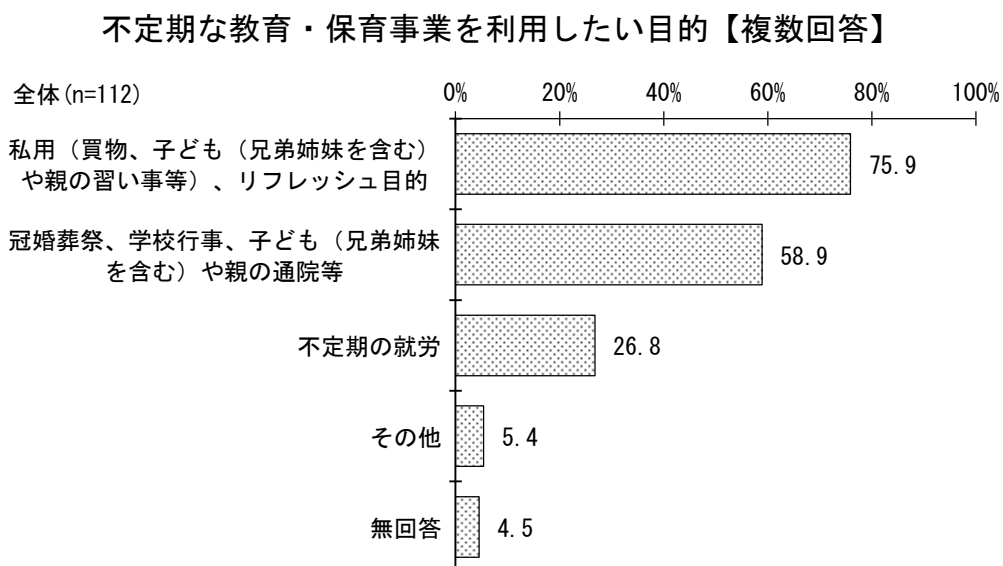
<不定期的な教育・保育事業の利用希望>

不定期的な教育・保育事業の利用希望については、「利用する必要はない」の割合が55.5%、「利用したい」が36.4%となっています。



<不定期的な教育・保育事業の利用目的>

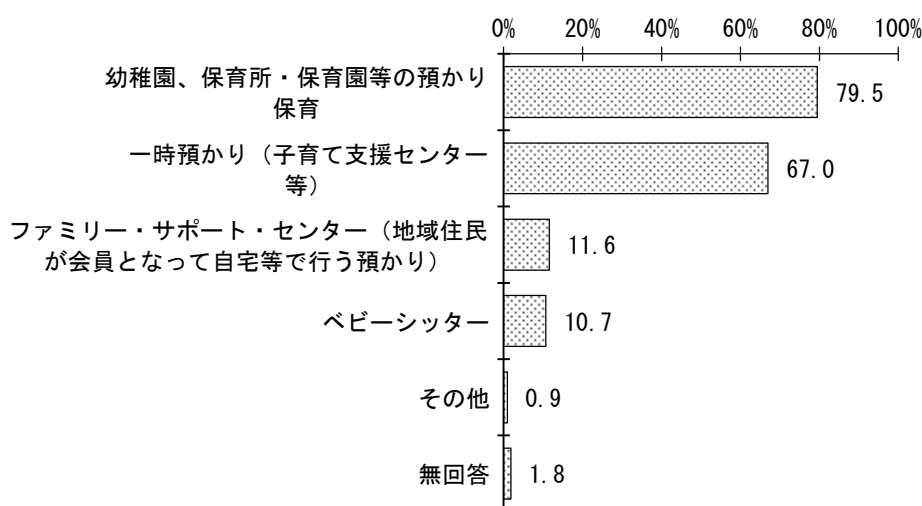
不定期的な教育・保育事業を利用したい目的については、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」の割合が75.9%と最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」（58.9%）となっています。



<不定期的な教育・保育事業の望ましい事業形態>

不定期的な教育・保育事業に望ましい事業形態については、「幼稚園、保育所・保育園等の預かり保育」の割合が79.5%と最も高く、次いで「一時預かり（子育て支援センター等）」（67.0%）などとなっています。

不定期的な教育・保育事業に望ましい事業形態
全体 (n=112) 【複数回答】

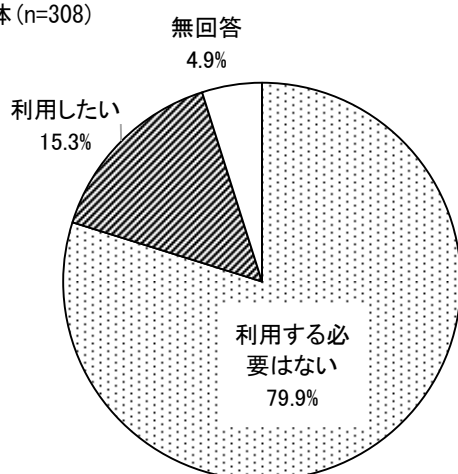


<短期入所生活事業の利用希望>

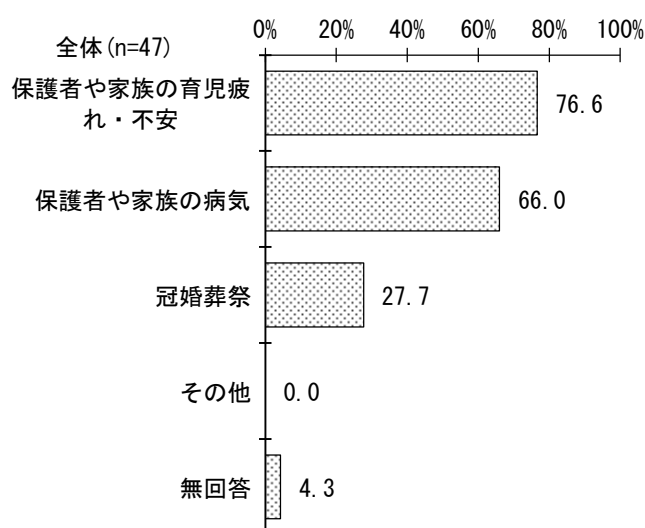
短期入所生活援助事業の利用希望については、「利用する必要はない」の割合が79.9%、「利用したい」が15.3%となっています。

短期入所生活援助事業を利用したい目的については、「保護者や家族の育児疲れ・不安」の割合が76.6%と最も高く、以下「保護者や家族の病気」（66.0%）、「冠婚葬祭」（27.7%）が続いています。

短期入所生活援助事業の
利用希望
全体 (n=308)



短期入所生活援助事業を利用したい
目的【複数回答】
全体 (n=47)



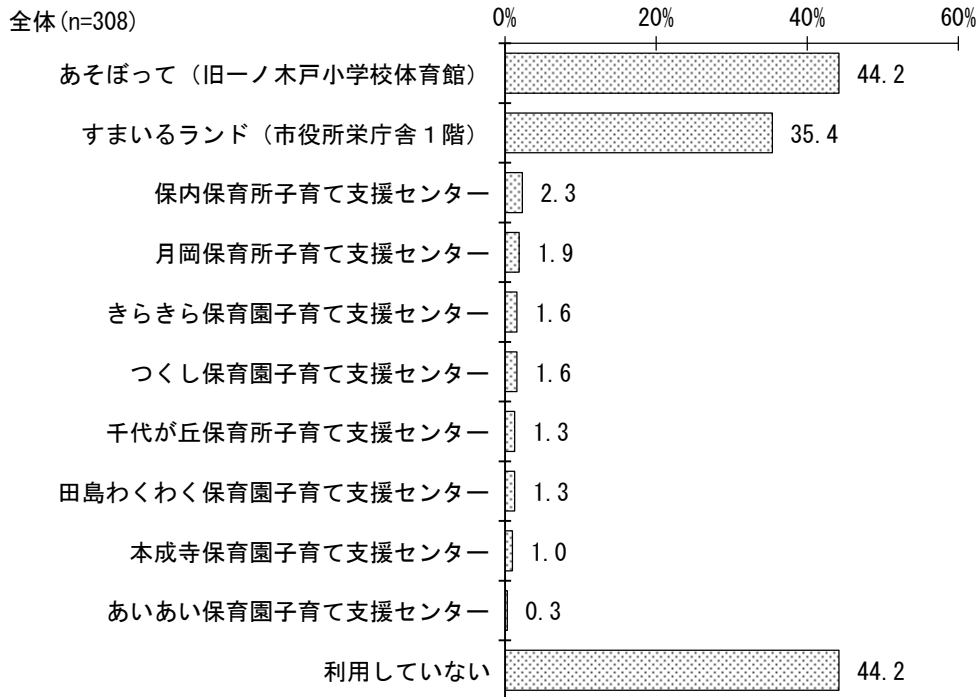
9 地域の子育て支援事業の利用状況について

＜地域の子育て支援事業の利用状況＞

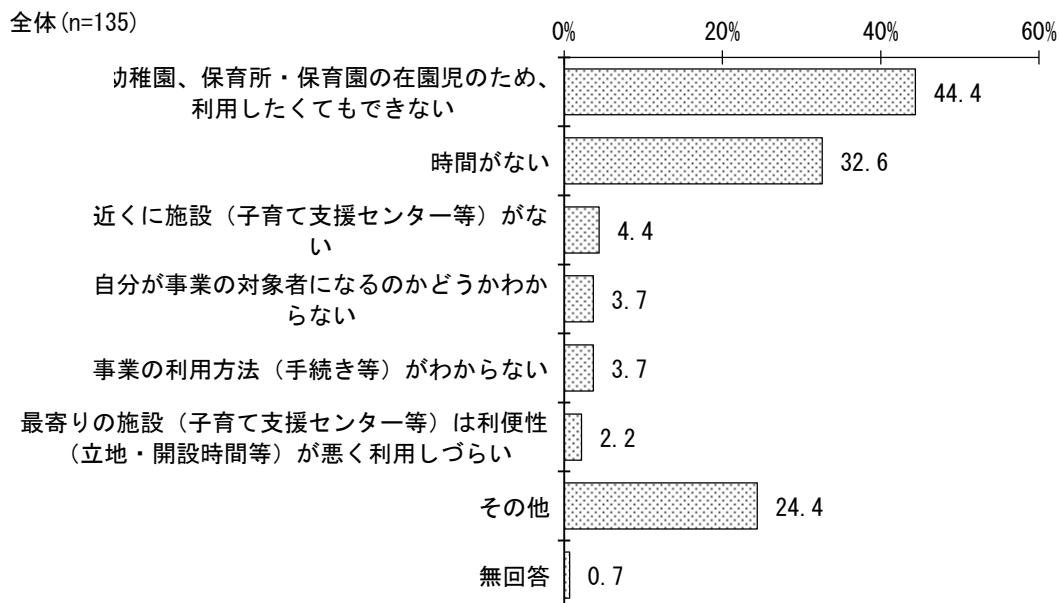
地域子育て支援事業の利用状況については、「あそぼって（旧一ノ木戸小学校体育館）」の割合が44.2%と最も高く、次いで「すまいるランド（市役所栄庁舎1階）」が35.4%となっています。

利用していない理由については、「幼稚園、保育所・保育園の在園児のため、利用したくてもできない」が44.4%と最も高く、次いで「時間がない」が32.6%となっています。

利用している地域の子育て支援事業【複数回答】



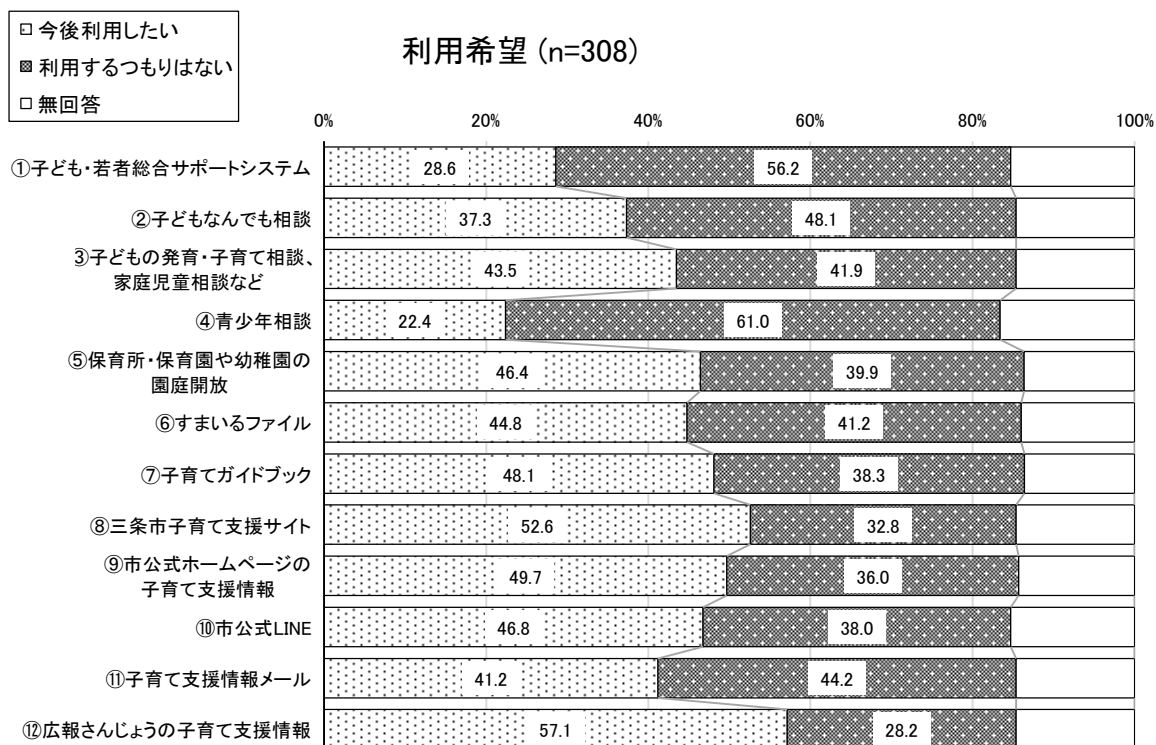
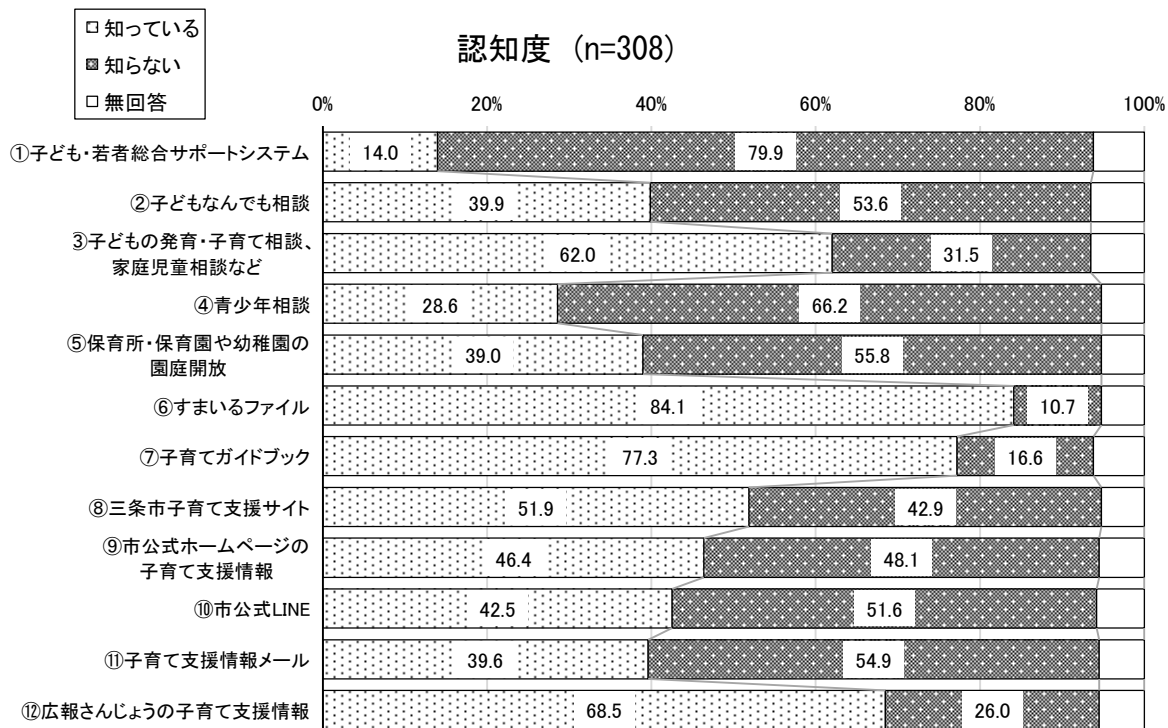
地域の子育て支援事業を利用していない理由【複数回答】



<各種子育て支援事業の認知度及び利用希望>

各種の子育て支援事業について「知っている」の割合をみると、『⑥すまいるファイル』の割合が84.1%と最も高く、以下『⑦子育てガイドブック』(77.3%)、『⑫広報さんじょうの子育て支援情報』(68.5%)が続いています。

各事業の利用希望について「今後利用したい」の割合をみると、『⑫広報さんじょうの子育て支援情報』が57.1%と最も高く、以下『⑧三条市子育て支援サイト』(52.6%)、『⑨市公式ホームページの子育て支援情報』(49.7%)が続いています。



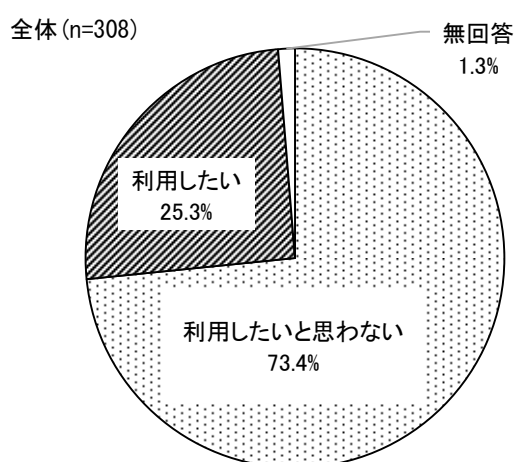
10 育児や家事に対する支援サービスの利用について

<民間団体による支援サービスの利用>

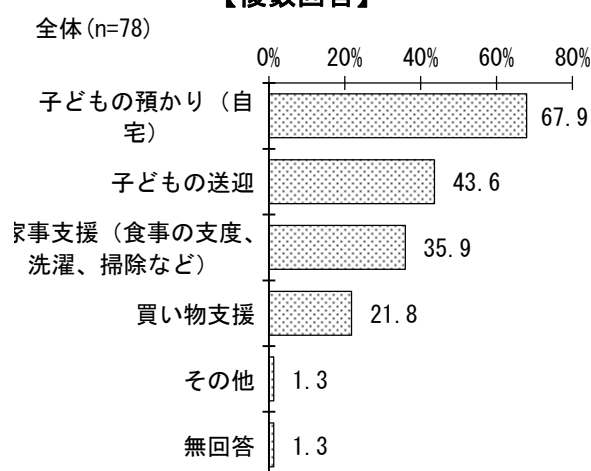
民間団体による子どもの預かり等サービスの利用希望については、「利用したいと思わない」の割合が73.4%、「利用したい」が25.3%となっています。

利用したいサービスについては、「子どもの預かり（自宅）」の割合が67.9%と最も高く、以下「子どもの送迎」（43.6%）、「家事支援（食事の支度、洗濯、掃除など）」（35.9%）、「買い物支」（21.8%）が続いています。

民間団体による子どもの預かり等サービスの利用希望



利用したい民間団体のサービス【複数回答】

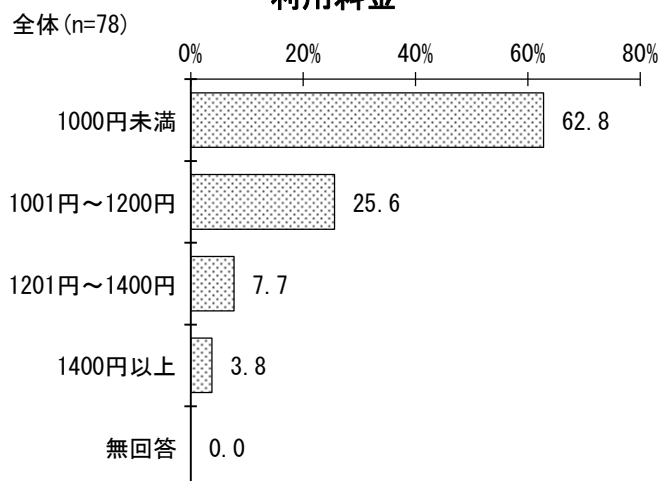


<サービスに対し妥当と思う料金、サービスを利用しない理由>

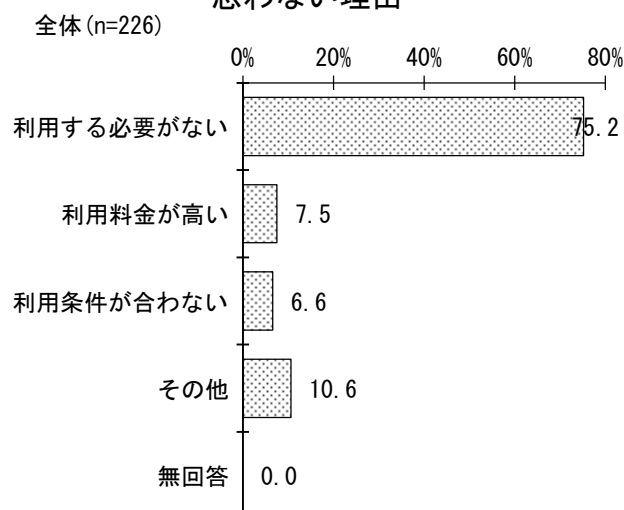
サービスに対し妥当だと思う利用料金については、「1000 円未満」の割合が62.8%と最も高く、次いで「1001 円～1200 円」（25.6%）となっています。

サービスを利用したいと思わない理由については、「利用する必要がない」の割合が75.2%と最も高く、以下「利用料金が低い」（7.5%）、「利用条件が合わない」（6.6%）が続いています。

サービスに対し妥当だと思う利用料金

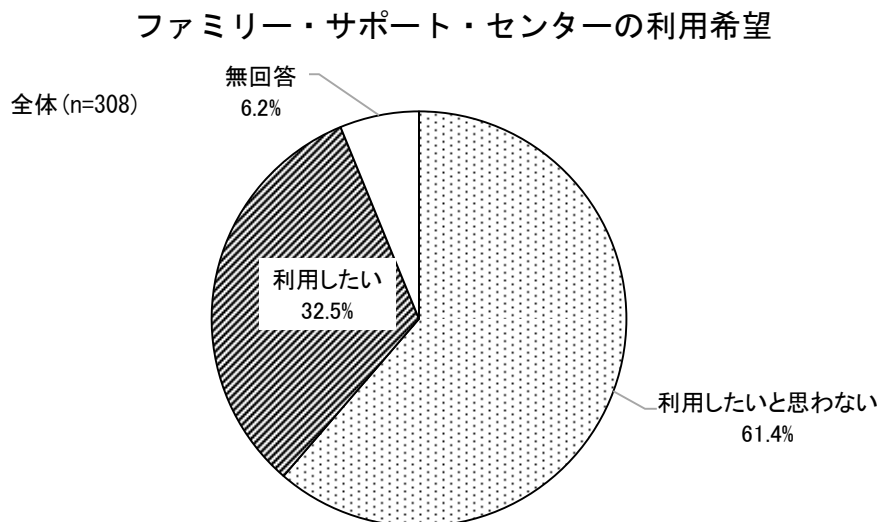


サービスを利用したいと思わない理由



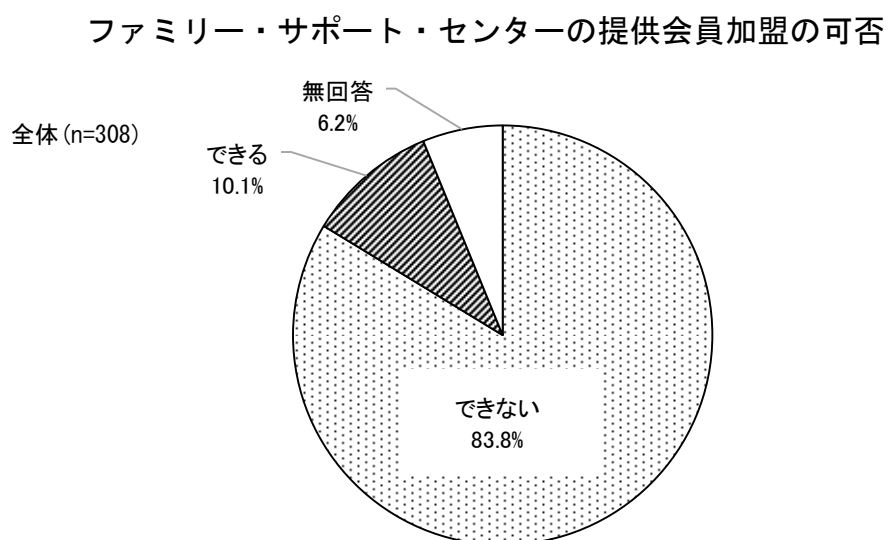
<ファミリー・サポート・センターの利用希望>

ファミリー・サポート・センターの利用希望については、「利用したいと思わない」の割合が 61.4% 「利用したい」が 32.5%となっています。



<ファミリー・サポート・センター提供会員登録の可否>

ファミリー・サポート・センターの提供会員登録の可否については、「できない」の割合が 83.8%と「できる」(10.1%)の割合を大きく上回っています。



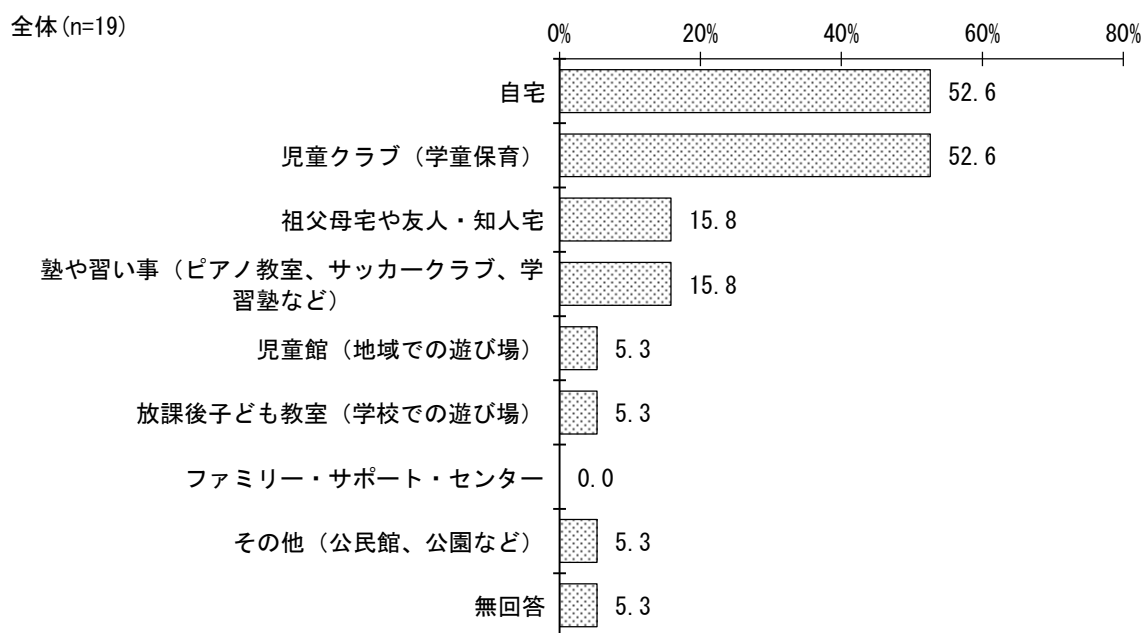
11 5歳以上のお子さんの放課後の過ごし方の希望について

<放課後過ごさせたい場所の希望>

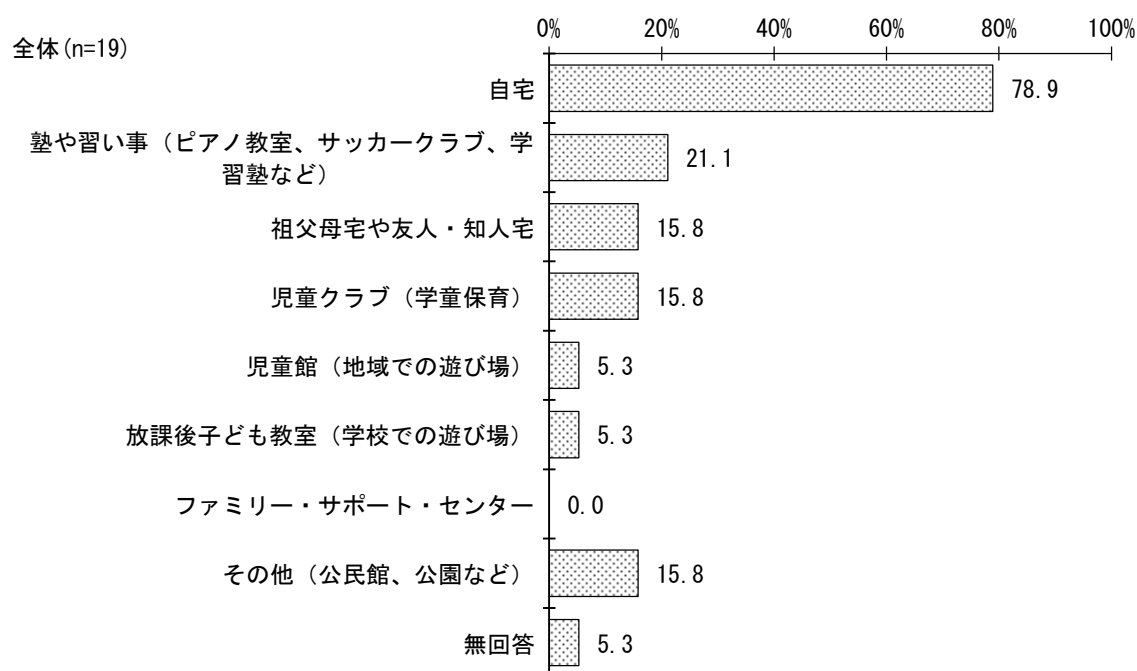
放課後過ごさせたい場所について、小学校低学年では、「自宅」と「児童クラブ（学童保育）」の割合が52.6%と最も高くなっています。

小学校高学年では、「自宅」の割合が78.9%と、低学年に比べ大幅に割合が増加しており、次いで「塾や習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が21.1%となっています。

小学校低学年のうちで放課後過ごさせたい場所【複数回答】



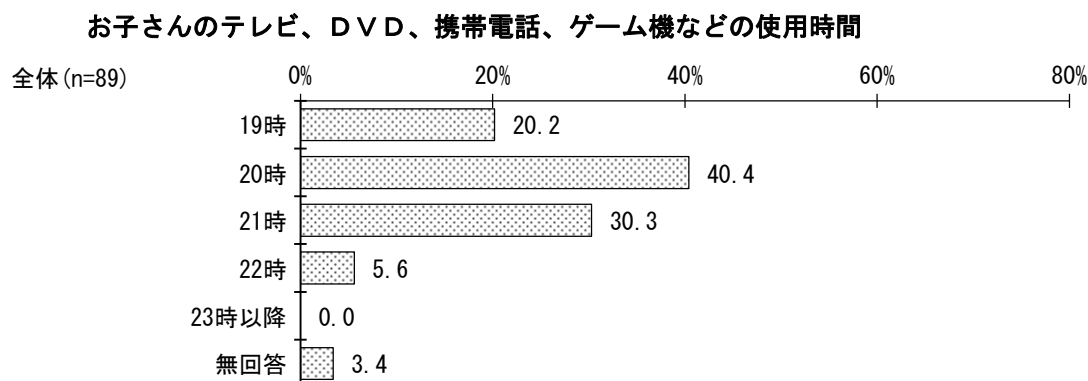
小学校高学年になったら放課後過ごさせたい場所【複数回答】



12 1歳以上のお子さんの生活習慣について

<テレビ、DVD、携帯電話、ゲーム機などの使用時間>

お子さんのテレビ、DVD、携帯電話、ゲーム機などの使用時間については、「20時」の割合が40.4%と最も高く、以下「21時」(30.3%)、「19時」(20.2%)、「22時」(5.6%)が続いています。

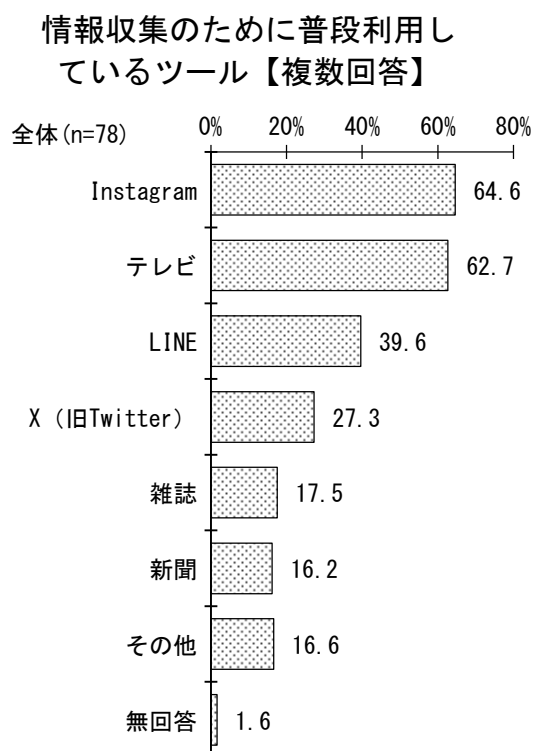
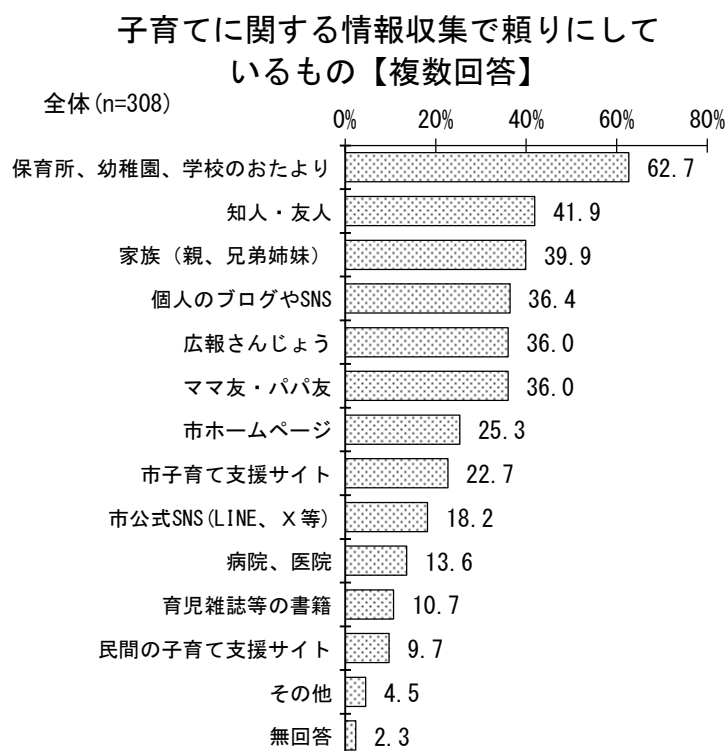


13 情報収集について

<子育てに関する情報の入手手段>

子育てに関する情報を知りたいときに頼りにしているものについては、「保育所、幼稚園、学校のおたより」の割合が62.7%と最も高く、以下「知人・友人」(41.9%)、「家族(親、兄弟姉妹)」(39.9%)、「個人のブログやSNS」(36.4%)などとなっています。

情報収集のために普段利用しているツールについては、「Instagram」の割合が64.6%、「テレビ」の割合が62.7%と特に高く、以下「LINE」(39.6%)、「X(旧Twitter)」(27.3%)が続いています。

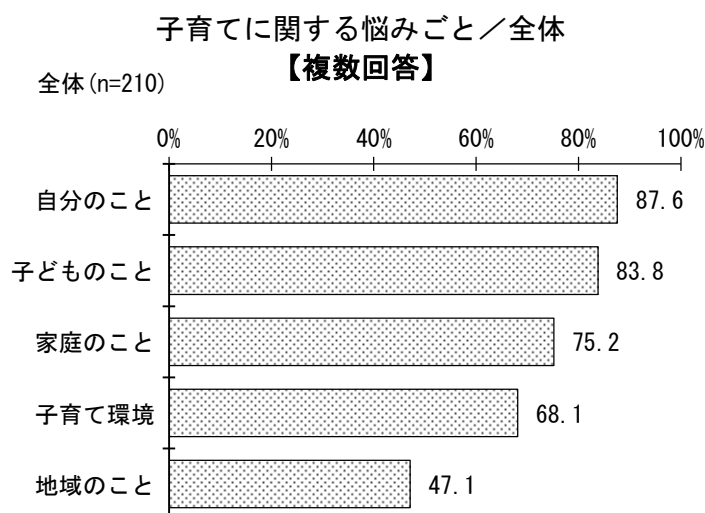
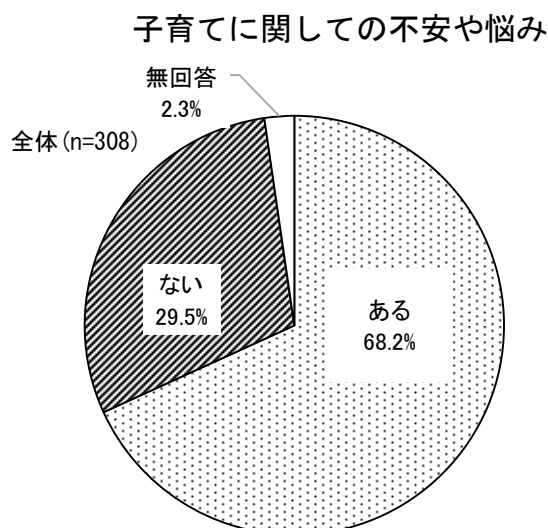


14 子育てで感じていることなどについて

＜子育てに関する不安や悩み＞

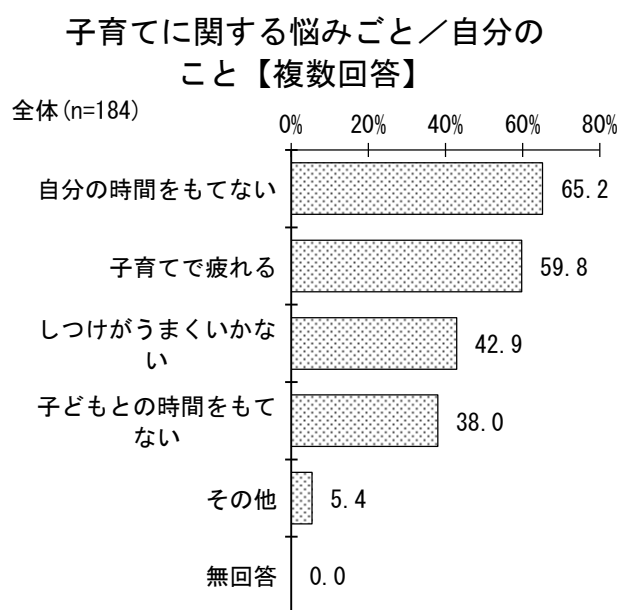
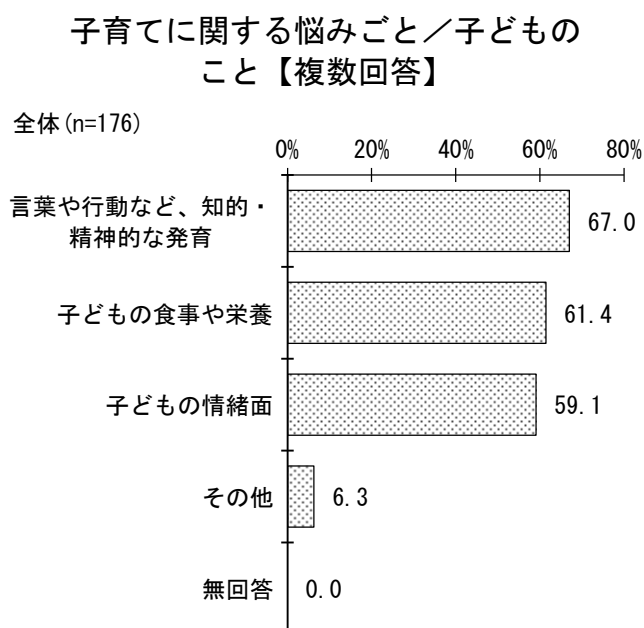
子育てに関しての不安や悩みについては、「ある」の割合が68.2%となっています。

悩みごとの分野については、「自分のこと」の割合が87.6%と最も高く、以下「子どものこと」(83.8%)、「家庭のこと」(75.2%)、「子育て環境」(68.1%)、「地域のこと」(47.1%)が続いています。



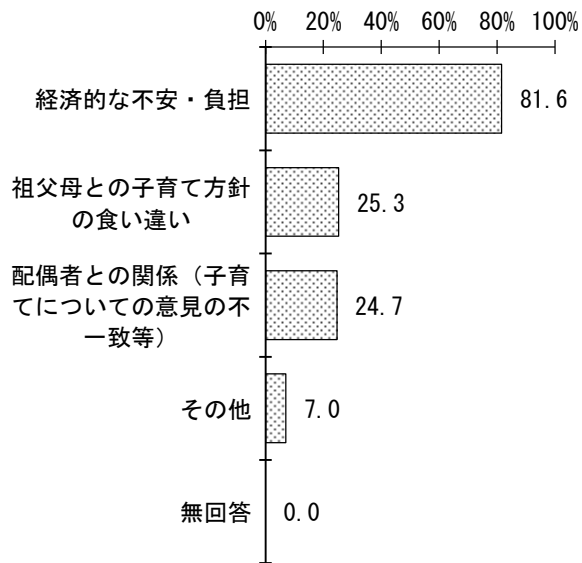
＜具体的な悩みの内容＞

各分野の具体的な悩みの内容については下記の通りとなっています。



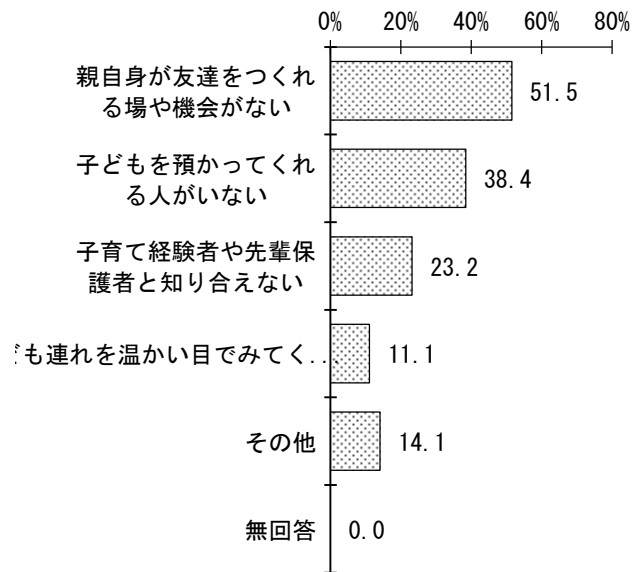
子育てに関する悩みごと／家庭のこと【複数回答】

全体 (n=158)



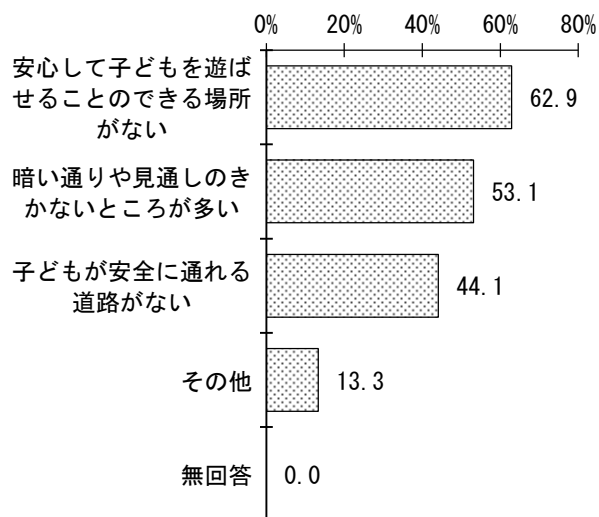
子育てに関する悩みごと／地域のこと【複数回答】

全体 (n=99)



子育てに関する悩みごと／子育て環境【複数回答】

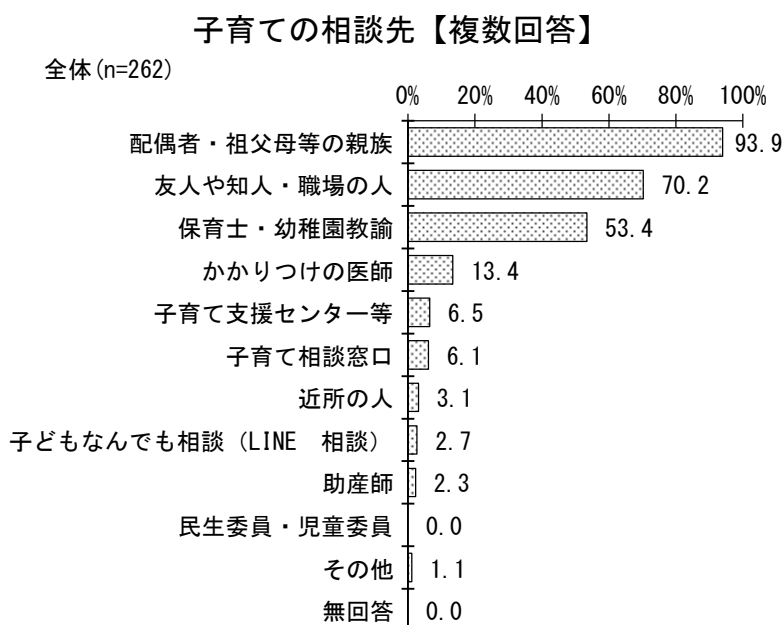
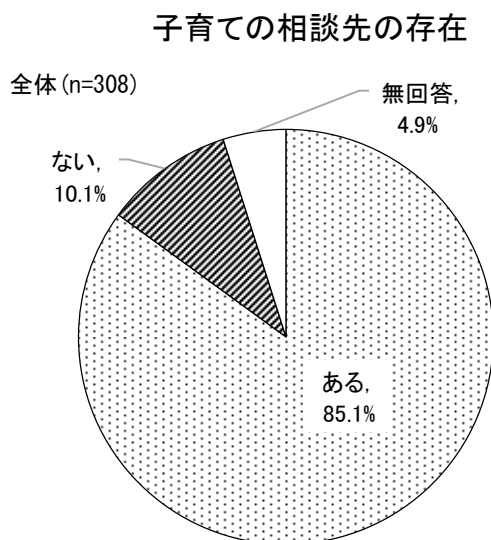
全体 (n=143)



<子育てに関する相談先>

子育ての相談先の存在については、「ある」の割合が 85.1%となっています。

具体的な相談先については、「配偶者・祖父母等の親族」の割合が 93.9%と最も高く、以下「友人や知人・職場の人」(70.2%)、「保育士・幼稚園教諭」(53.4%)が続いています。

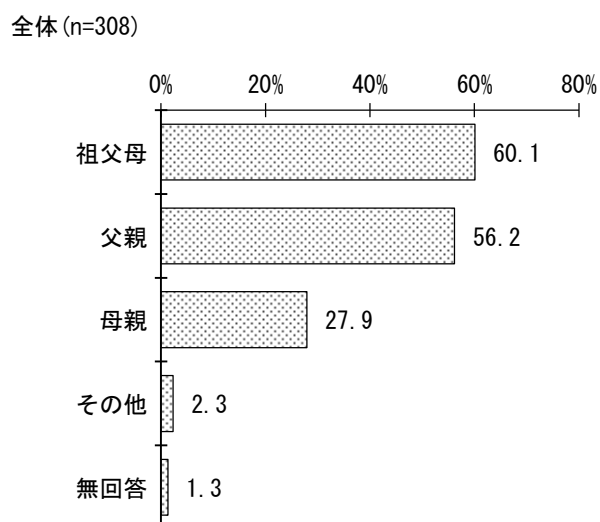


<母親の入院中、退院後の家事や子育ての担い手>

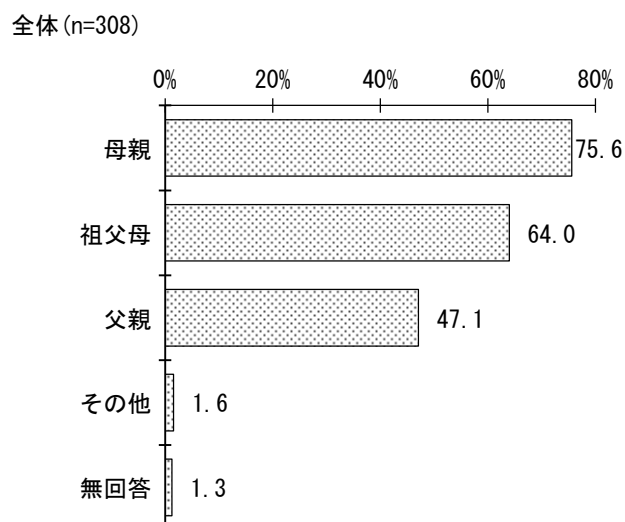
母親が入院している間の家事や子育ての担い手については、「祖父母」の割合が 60.1%と最も高く、以下「父親」(56.2%)、「母親」(27.9%)が続いています。

母親が退院してからの家事や子育ての担い手については、「母親」の割合が 75.6%と最も高く、以下「祖父母」(64.0%)、「父親」(47.1%)が続いています。

母親が入院している間の家事や子育ての担い手【複数回答】



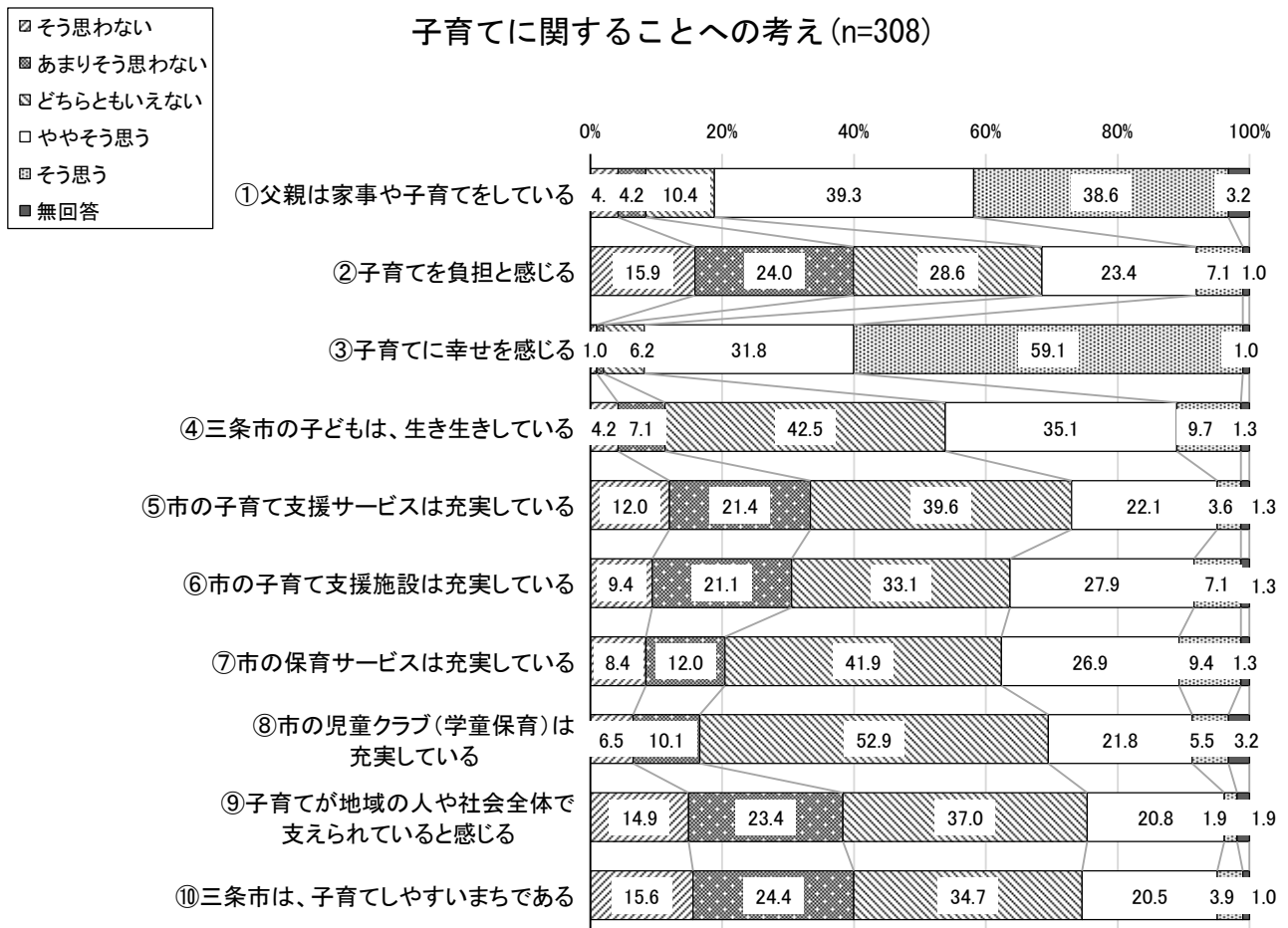
母親が退院してからの家事や子育ての担い手【複数回答】



<子育てに関することへの考え>

子育てに関することへの考えについては、“そう思う”（「ややそう思う」と「そう思う」の合計）の割合をみると、「③子育てに幸せを感じる」の割合が90.9%で最も高く、次いで「①父親は家事や子育てをしている」が77.9%となっており、以下「④三条市の子どもは、生き生きしている」（44.8%）、「⑦市の保育サービスは充実している」（36.3%）が続いています。

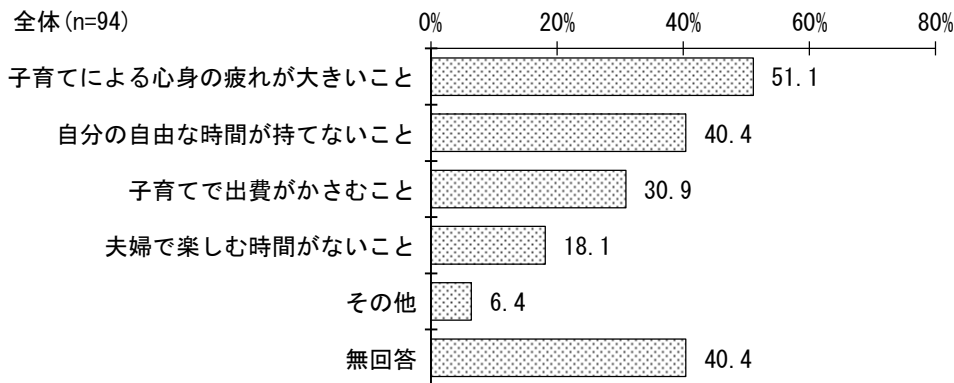
一方、“そう思わない”（「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計）の割合をみると、「⑩三条市は、子育てしやすいまちである」の割合が40.0%、「②子育てを負担と感じる」が39.9%、「⑨子育てが地域の人や社会全体で支えられていると感じる」が38.3%で特に高くなっており、以下「⑤市の子育て支援サービスは充実している」（33.4%）が続いています。



<子育てに関して負担に感じていること>

子育てに関して負担に感じていることについては、「子育てによる心身の疲れが大きいこと」の割合が51.1%と最も高く、以下「自分の自由な時間が持てないこと」(40.4%)、「子育てで出費がかさむこと」(30.9%)が続いています。

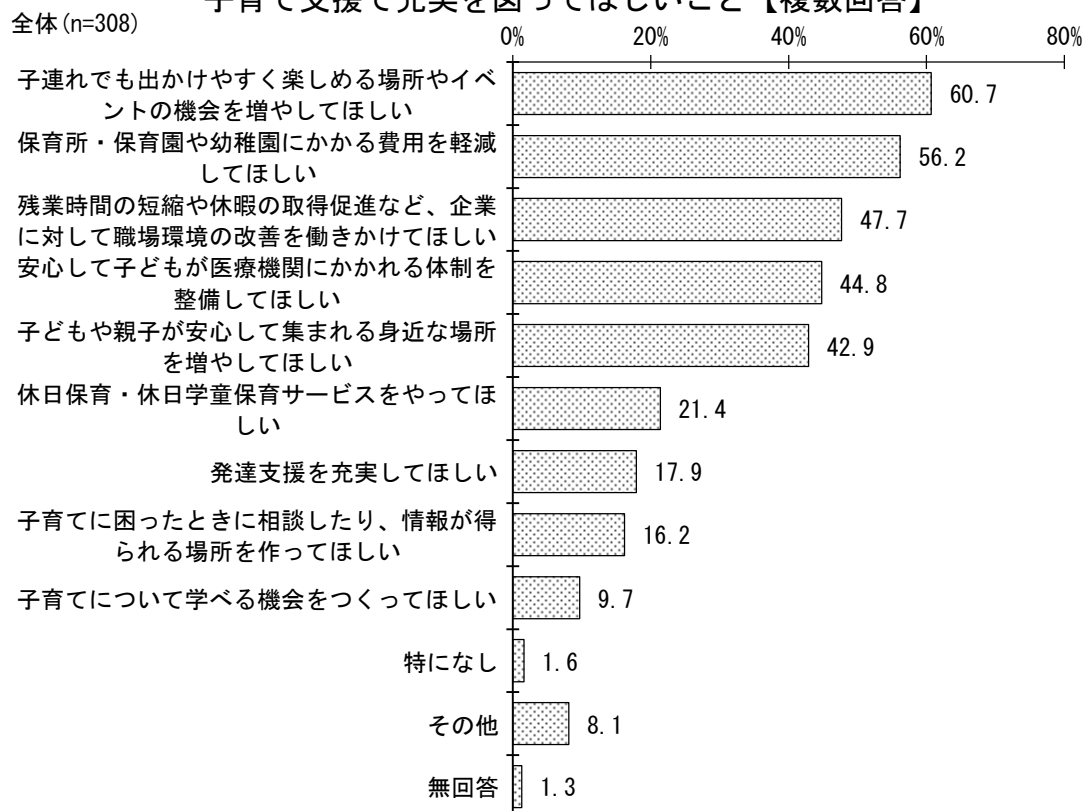
子育てに関して負担に感じていること【複数回答】



<子育て支援に対する要望事項>

子育て支援に対する要望事項については、「子連れでも出かけやすく楽しめる場所やイベントの機会を増やしてほしい」の割合が60.7%と最も高く、以下「保育所・保育園や幼稚園にかかる費用を軽減してほしい」(56.2%)、「残業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業に対して職場環境の改善を働きかけてほしい」(47.7%)、「安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備してほしい」(44.8%)、「子どもや親子が安心して集まれる身近な場所を増やしてほしい」(42.9%)が続いています。

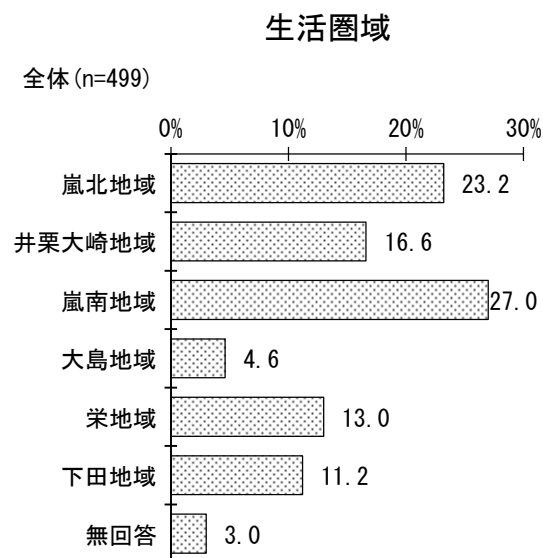
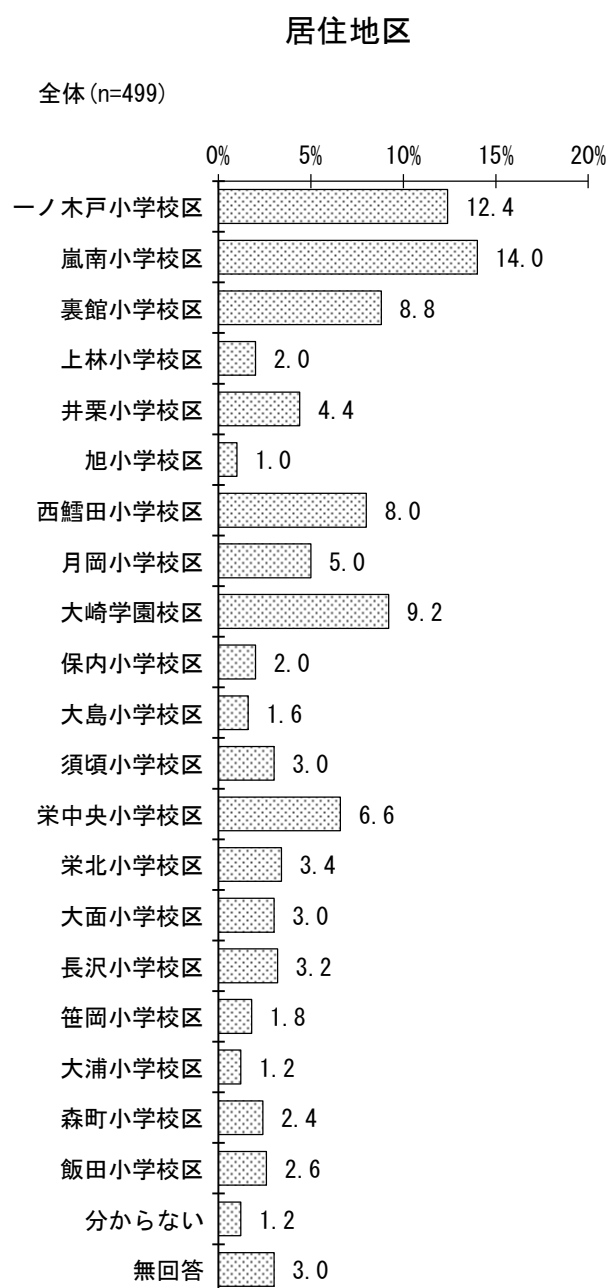
子育て支援で充実を図ってほしいこと【複数回答】



Ⅲ. 小学生アンケート調査結果

1 お住まいの地域について

回答者(回答対象児童)の居住地区については、小学校区別、圏域別で下記の通りとなっています。

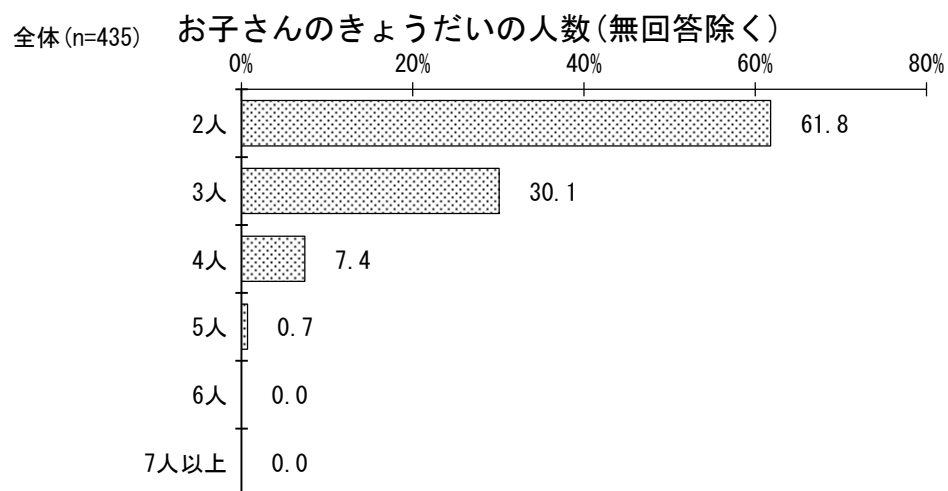
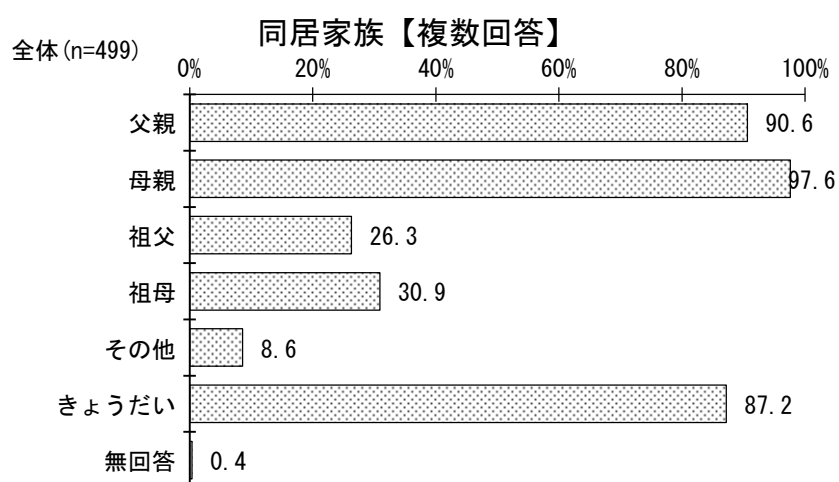
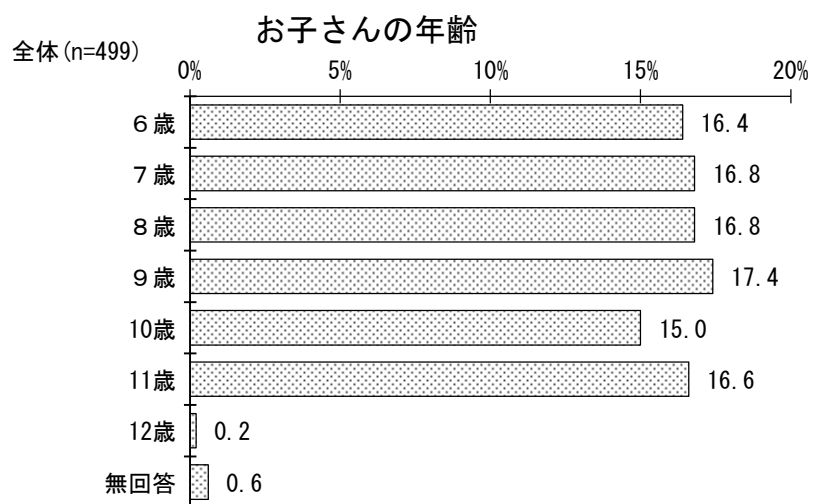


生活圏域（学区別）	
圏域	小学校
嵐北地域	一ノ木戸小学校区
	裏館小学校区
	上林小学校区
井栗大崎地域	井栗小学校区
	旭小学校区
	大崎学園校区
	保内小学校区
嵐南地域	嵐南小学校区
	西鱈田小学校区
	月岡小学校区
大島地域	大島小学校区
	須頃小学校区
栄地域	栄中央小学校区
	栄北小学校区
	大面小学校区
下田地域	長沢小学校区
	笹岡小学校区
	大浦小学校区
	森町小学校区
	飯田小学校区

2 お子さんとご家族の状況について

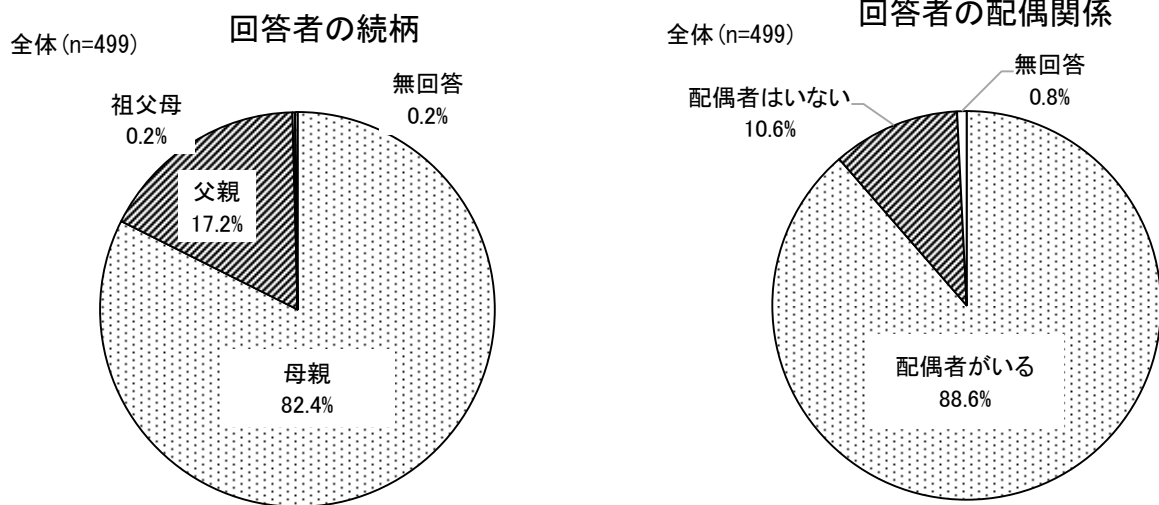
<回答者の属性等>

回答者(回答対象児童)の年齢、家族構成等は下記の通りとなっています。



<回答者の続柄>

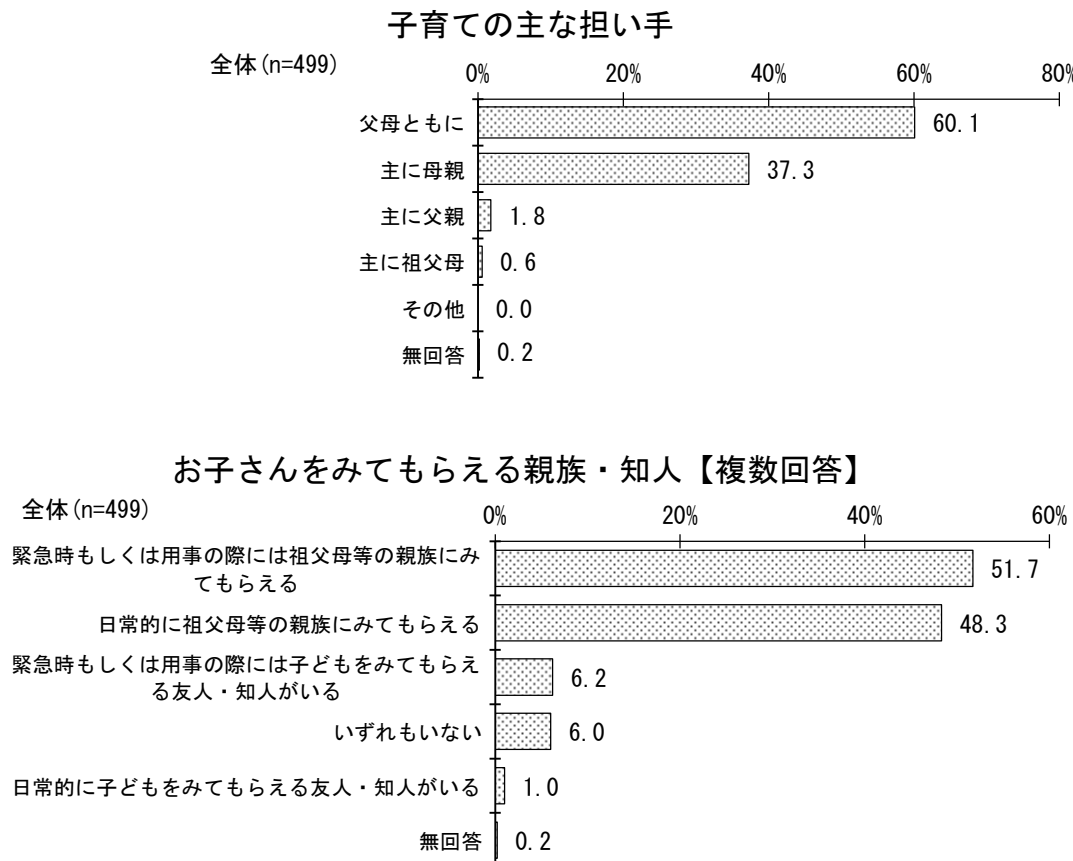
回答者の続柄については、「母親」の割合が82.4%で、「父親」(17.2%)を大きく上回っています。



<子育ての担い手>

子育ての主な担い手については、「父母ともに」が60.1%で最も高くなっています。

お子さんをみてもらえる親族・知人については、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が51.7%、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が48.3%と特に高くなっています。

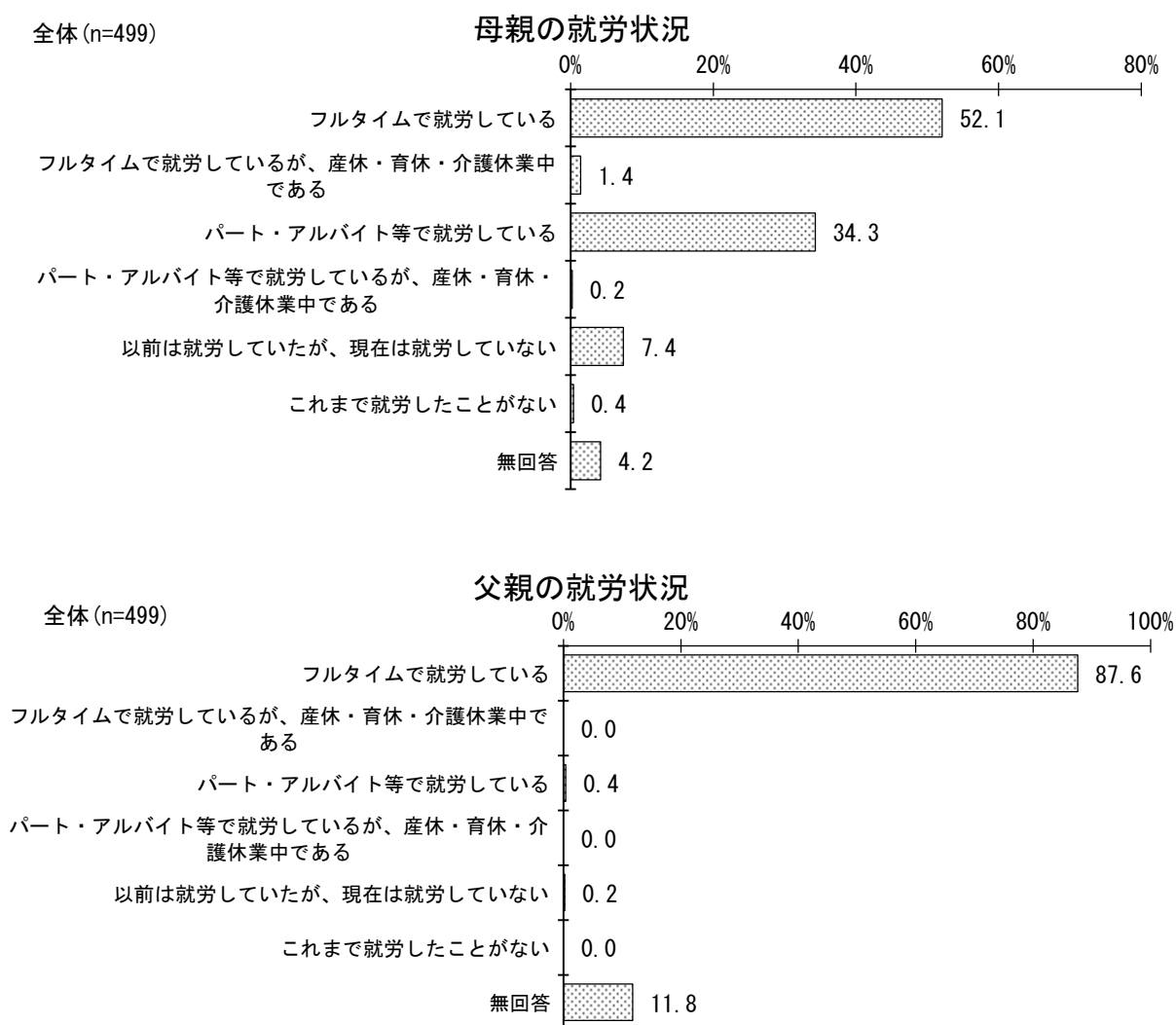


3 保護者の就労状況について

<父母の就労状況>

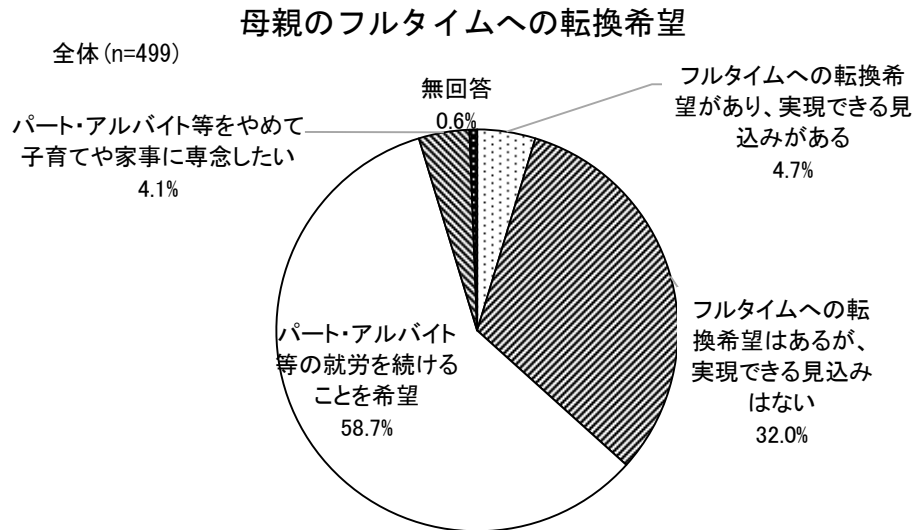
母親の就労状況については、「フルタイムで就労している」の割合が52.1%と最も高く、次いで「パート・アルバイト等で就労している」が34.3%となっています。

父親については、「フルタイムで就労している」が87.6%と最も高くなっています。



<母親のフルタイムへの転換希望>

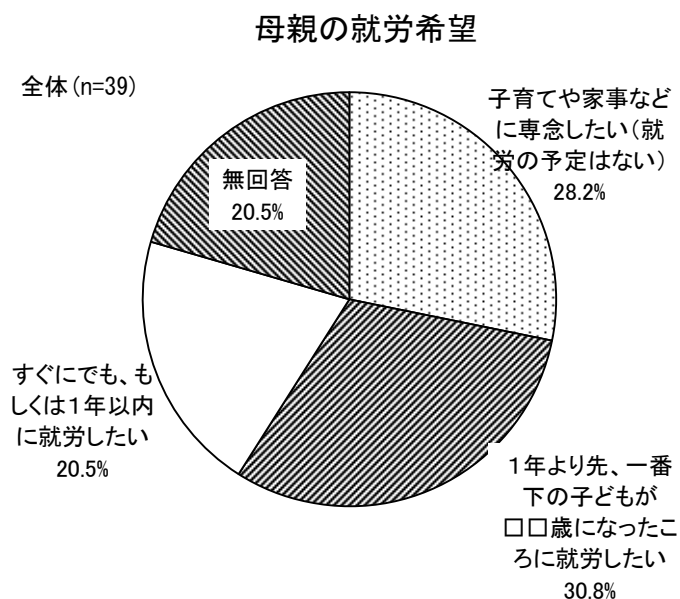
母親のパート・アルバイト就労者における(父親は該当者少数のため省略)フルタイムへの転換希望については、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が58.7%と最も高くなっています。



<父母の就労希望>

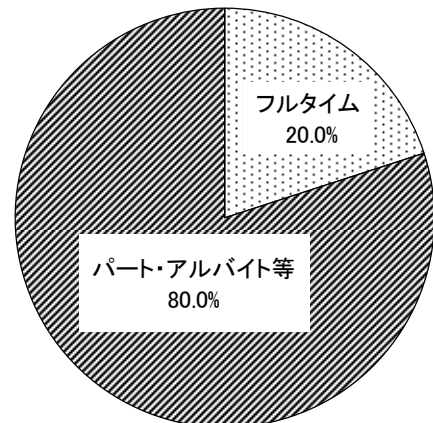
現在就労していない母親の(父親は該当者少数のためコメント省略)就労希望については、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が20.5%、「1年より先、一番下の子どもが□□歳になったころに就労したい」が30.8%で、就労希望者は5割強となっています。

希望する就労形態では、「パート・アルバイト等」の割合が80.0%と大半を占めています。



母親が希望する就労形態

全体(n=20)



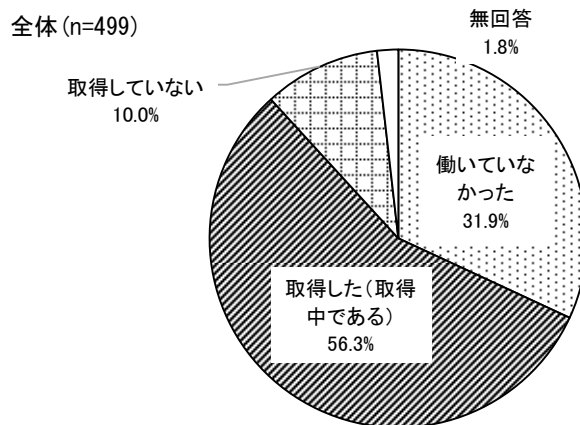
4 職場の両立支援制度について

<母親の育児休業取得状況>

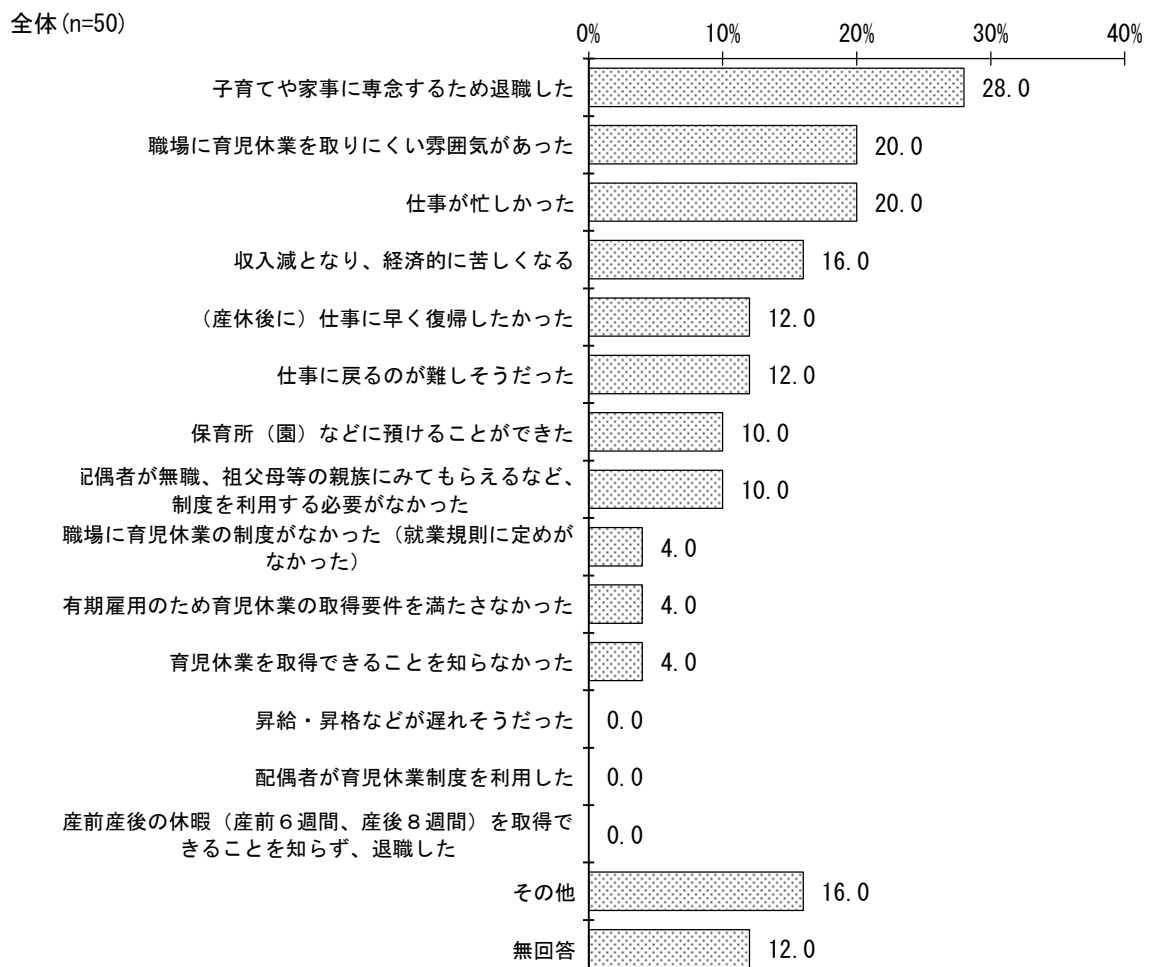
母親の育児休業の取得状況については、「取得した（取得中である）」の割合が56.3%と最も高く、以下「働いていなかった」（31.9%）、「取得していない」（10.0%）が続いています。

育児休業を取得していない理由については、「子育てや家事に専念するため退職した」の割合が28.0%と最も高く、以下「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」「仕事が忙しかった」（ともに20.0%）、「収入減となり、経済的に苦しくなる」（16.0%）が続いています。

母親の育児休業の取得状況



母親が育児休業を取得していない理由【複数回答】

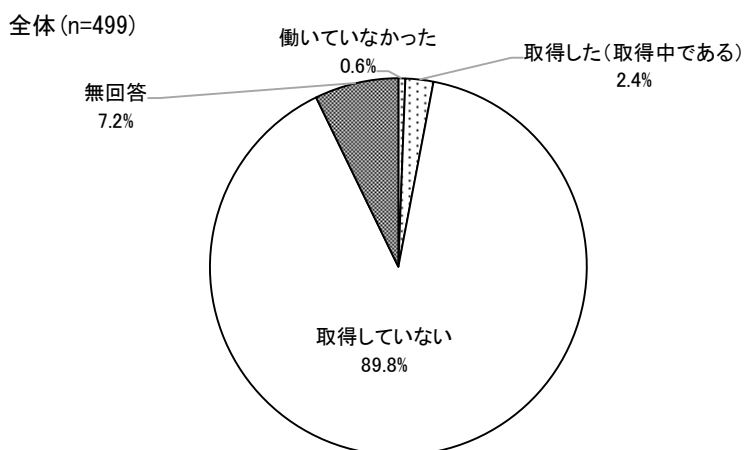


<父親の育児休業取得状況>

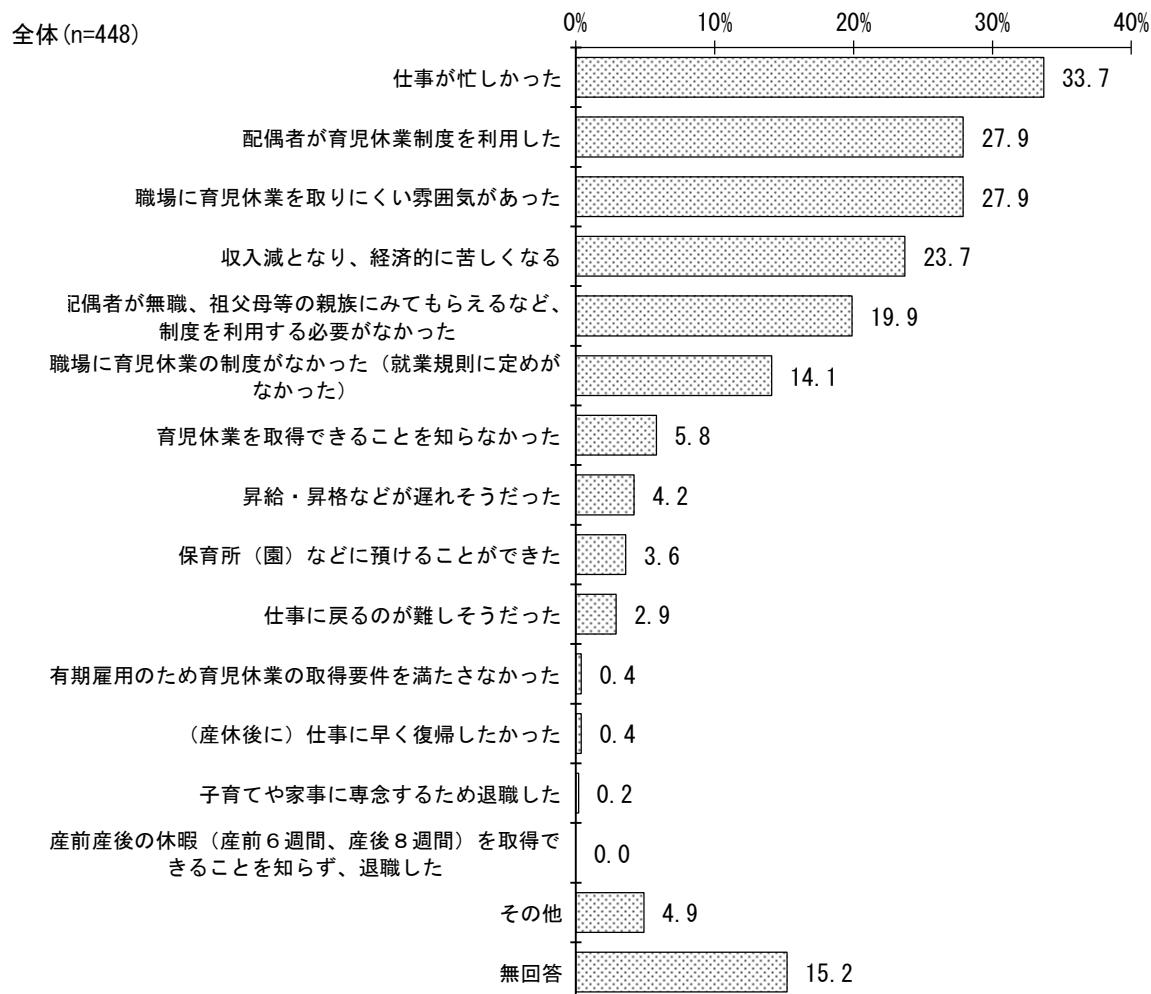
父親の育児休業の取得状況については、「取得していない」の割合が89.8%と最も高く、「取得した（取得中である）」（2.4%）、「働いていなかった」（0.6%）が続いています。

父親が育児休業を取得していない理由については、「仕事が忙しかった」の割合が33.7%と最も高く、以下「配偶者が育児休業制度を利用した」「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」がいずれも27.9%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が23.7%と続いています。

父親の育児休業の取得状況

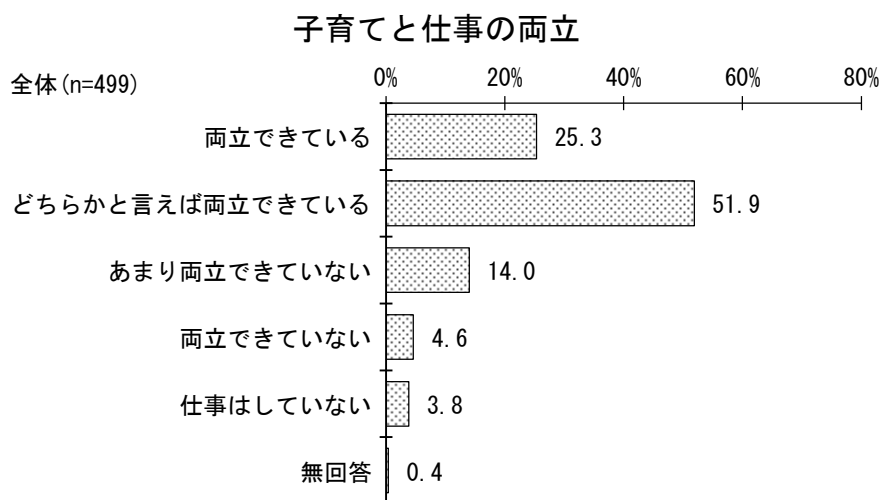


父親が育児休業を取得していない理由【複数回答】



<子育てと仕事の両立>

子育てと仕事の両立については、「どちらかと言えば両立できている」の割合が51.9%と最も高く、以下「両立できている」(25.3%)、「あまり両立できていない」(14.0%)、「両立できていない」(4.6%)が続いています。

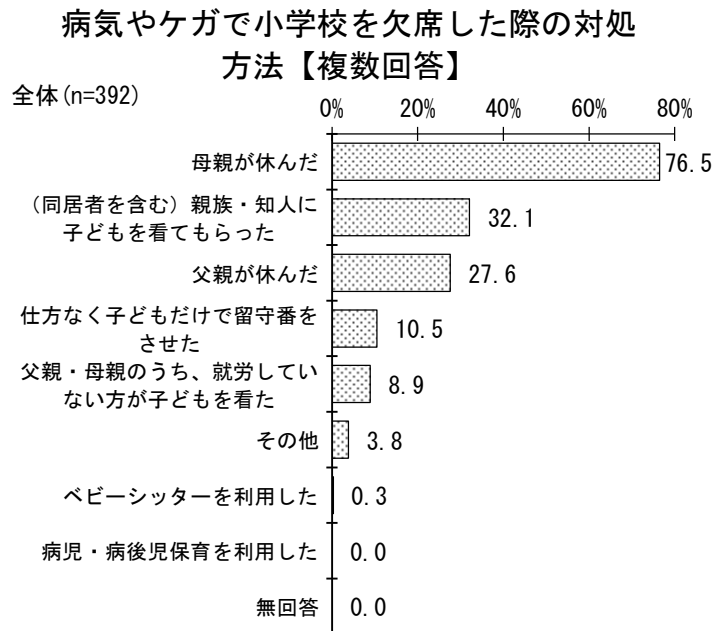
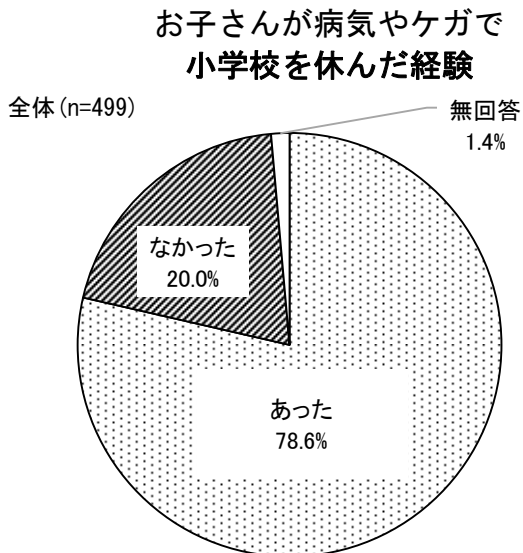


5 病気の際の対応について

＜病気やケガで小学校を休んだ経験及び対処方法＞

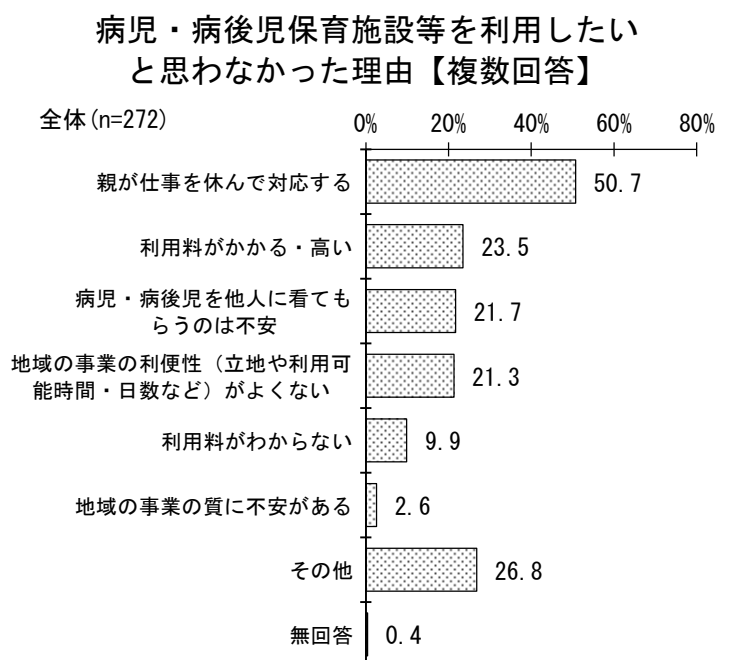
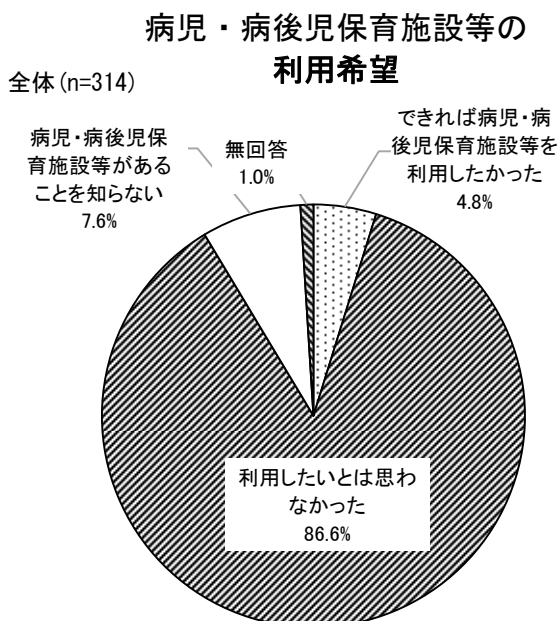
お子さんが病気やケガで小学校を休んだ経験については、「あった」の割合が78.6%、「なかった」が20.0%となっています。

対処方法については、「母親が休んだ」の割合が76.5%と最も高く、以下「(同居者を含む) 親族・知人に子どもを看てもらった」(32.1%)、「父親が休んだ」(27.6%)が続いています。



＜病児・病後児保育施設の利用＞

病児・病後児保育施設等の利用希望については、「利用したいとは思わなかった」の割合が86.6%と大半を占めています。利用しなかった理由については「親が仕事を休んで対応する」の割合が50.7%と最も高くなっています。

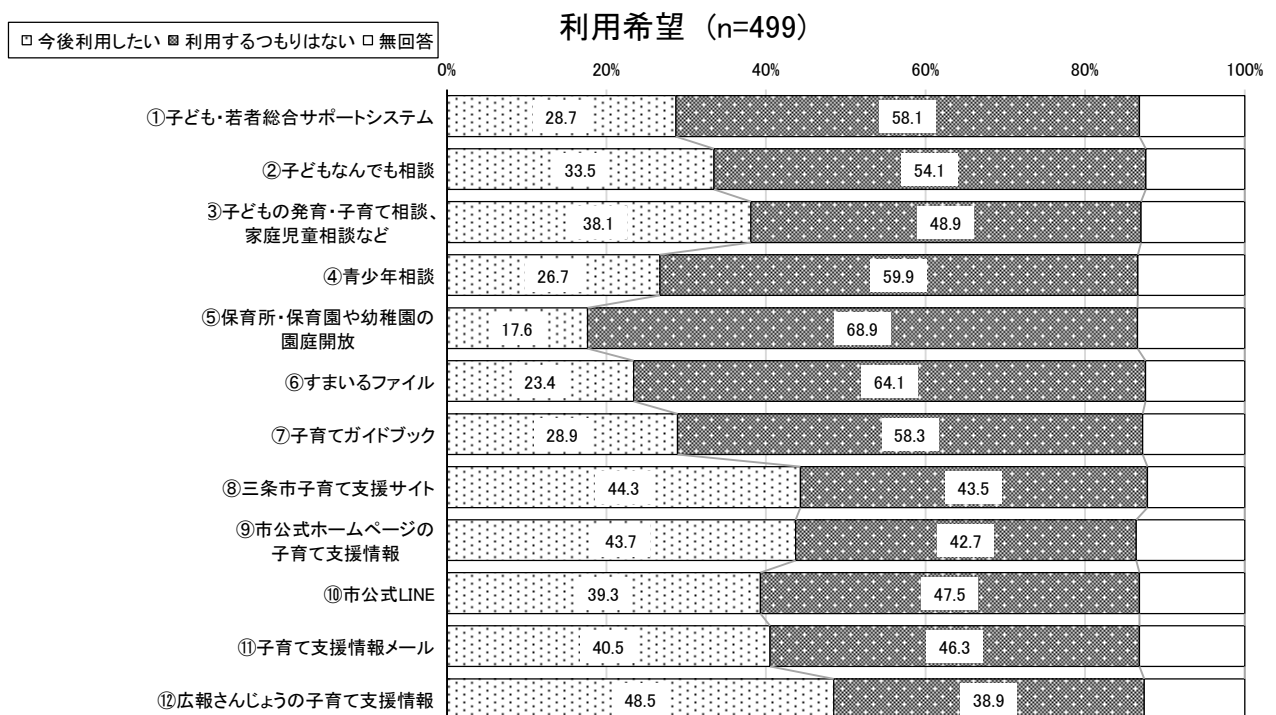
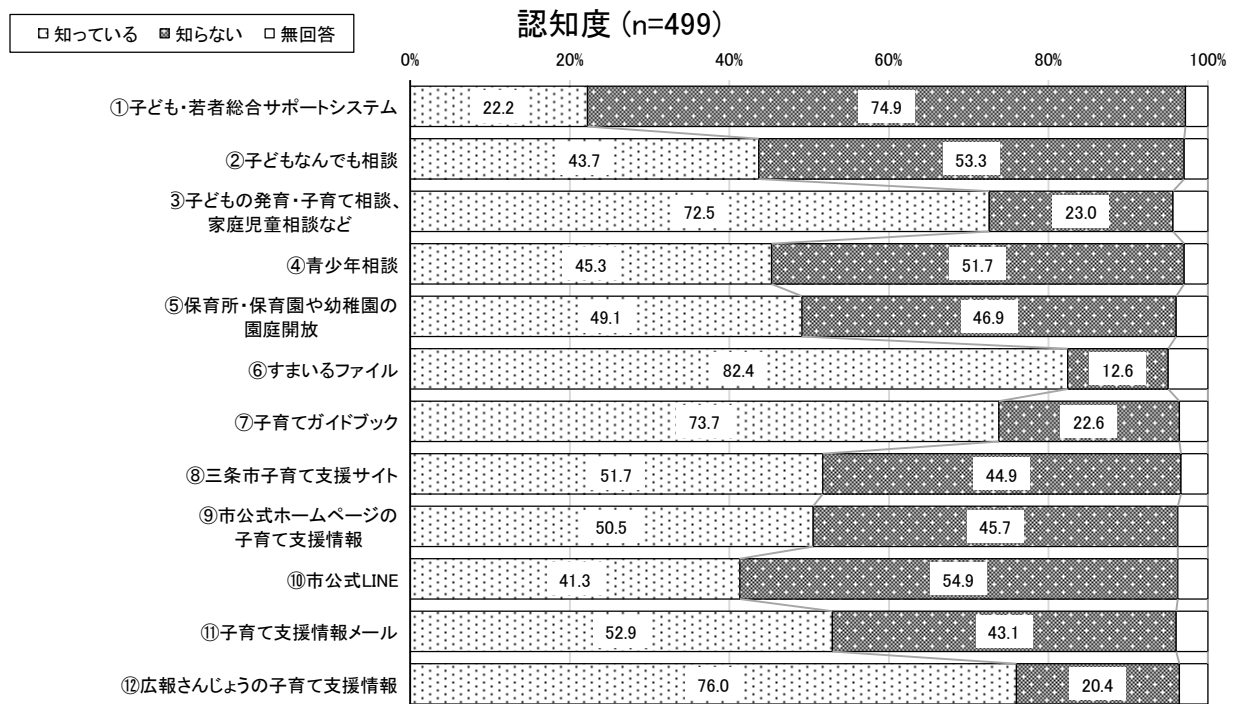


6 地域の子育て支援事業の利用状況について

<各種子育て支援事業の認知度及び利用希望>

各種子育て支援事業の認知度について「知っている」の割合をみると、『⑥すまいるファイル』が82.4%と最も高く、以下『⑫広報さんじょうの子育て支援情報』(76.0%)、『⑦子育てガイドブック』(73.7%)、『③子どもの発達・子育て相談、家庭児童相談など』(72.5%)などが続いています。

各事業の利用希望について「今後利用したい」の割合をみると、『⑫広報さんじょうの子育て支援情報』が48.5%と最も高く、以下『⑧三条市子育て支援サイト』(44.3%)、『⑨市公式ホームページの子育て支援情報』(43.7%)、『⑩市公式LINE』(40.5%)が続いています。



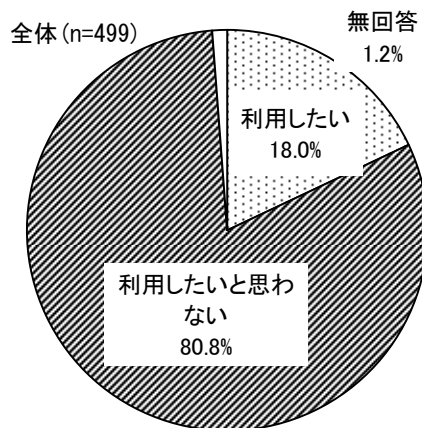
7 育児や家事に対する支援サービスの利用について

<民間団体による支援サービスの利用>

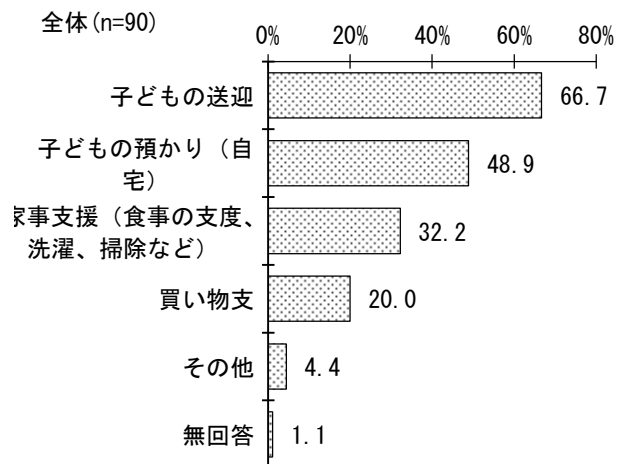
民間団体による子どもの預かり等のサービスの利用希望については、「利用したい」の割合が18.0%、「利用したいと思わない」が80.8%となっています。

利用したいサービスについては、「子どもの送迎」の割合が66.7%と最も高く、以下「子どもの預かり（自宅）」（48.9%）、「家事支援（食事の支度、洗濯、掃除など）」（32.2%）が続いています。

民間団体による子どもの預かり等
サービスの利用希望



利用したい民間団体のサービス
【複数回答】

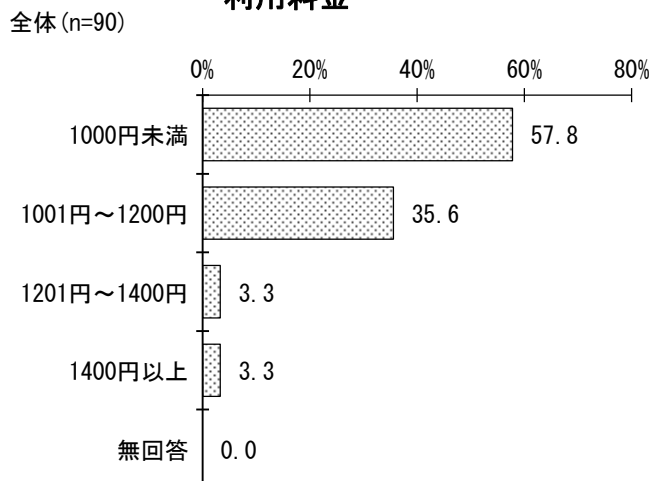


<サービスに対し妥当と思う料金、サービスを利用しない理由>

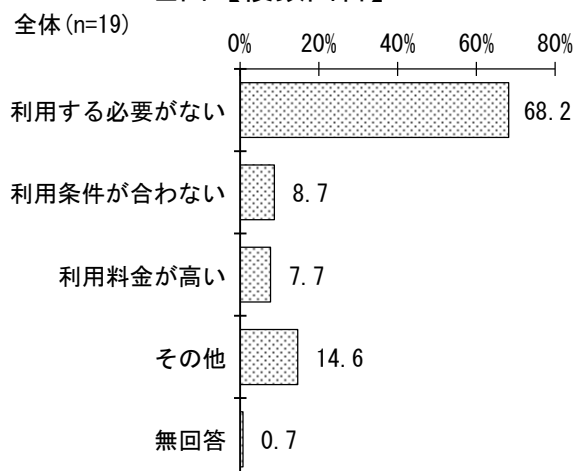
サービスに対し妥当だと思う利用料金については、「1000 円未満」の割合が57.8%と最も高く、次いで「1001 円～1200 円」（35.6%）となっています。

利用したいと思わない理由については、「利用する必要がある」の割合が68.2%と最も高く、以下「利用条件が合わない」（8.7%）、「利用料金が高い」（7.7%）が続いています。

サービスに対し妥当だと思う
利用料金

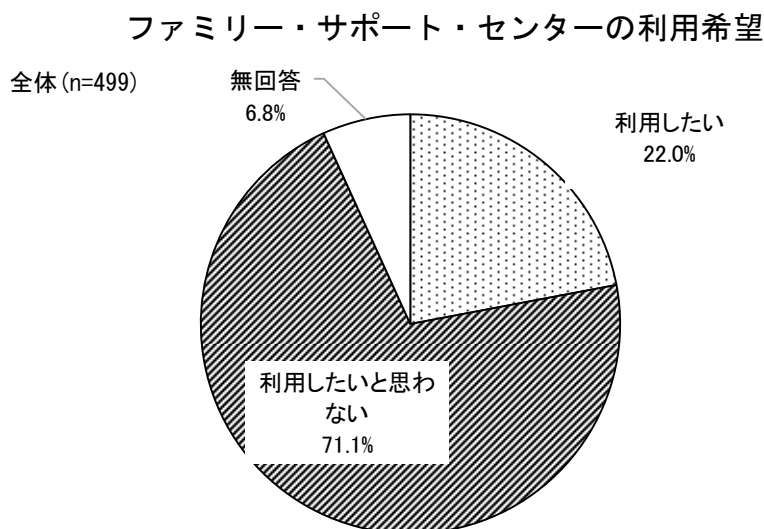


サービスを利用したいと思わない
理由【複数回答】



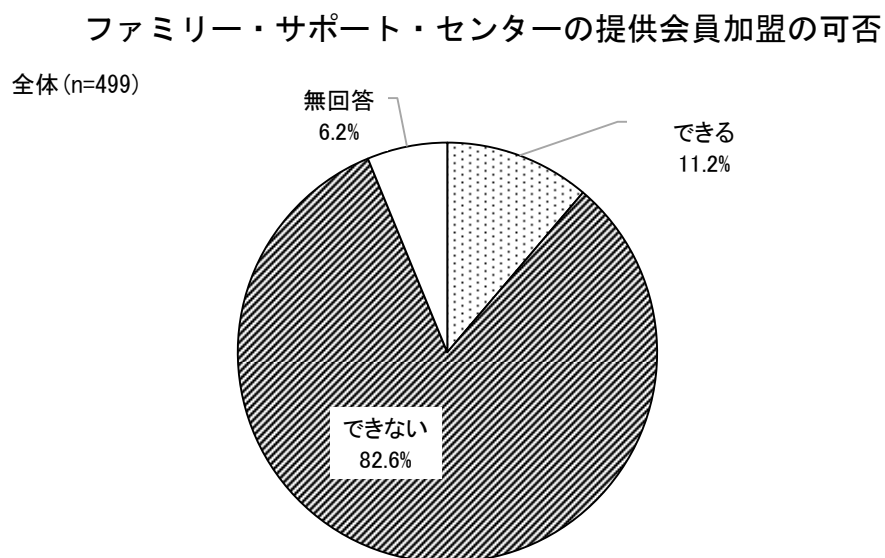
<ファミリー・サポート・センターの利用希望>

ファミリー・サポート・センターの利用希望については、「利用したい」の割合が 22.0%、「利用したいと思わない」が 71.1%となっています。



<ファミリー・サポート・センター提供会員加盟の可否>

ファミリー・サポート・センターの提供会員加盟の可否については、「できる」の割合が 11.2%、「できない」のが 82.6%となっています。



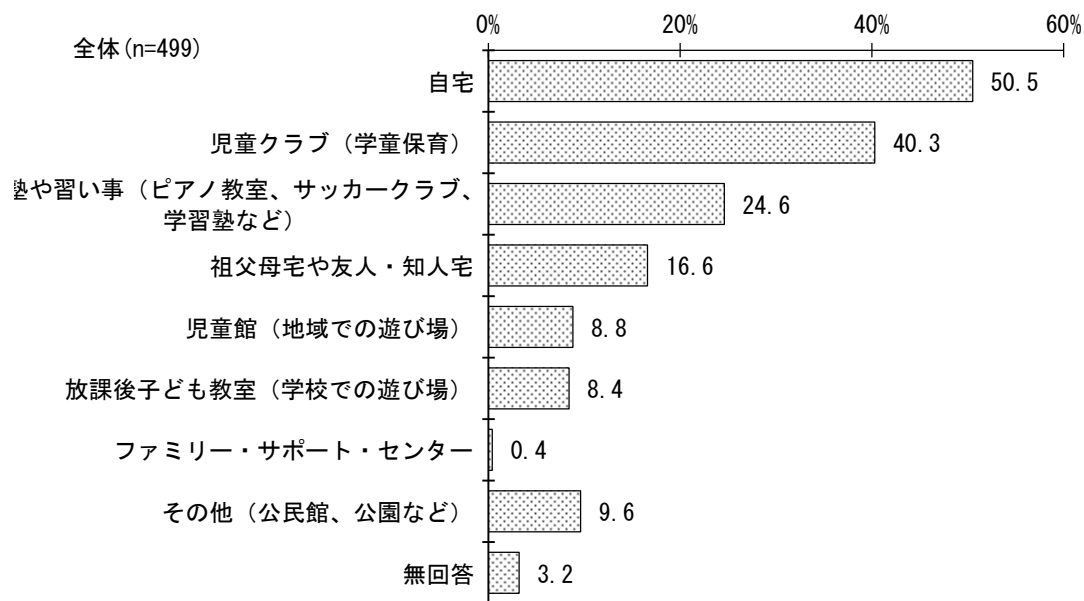
8 放課後の過ごし方の希望について

<放課後過ごさせたい場所の希望>

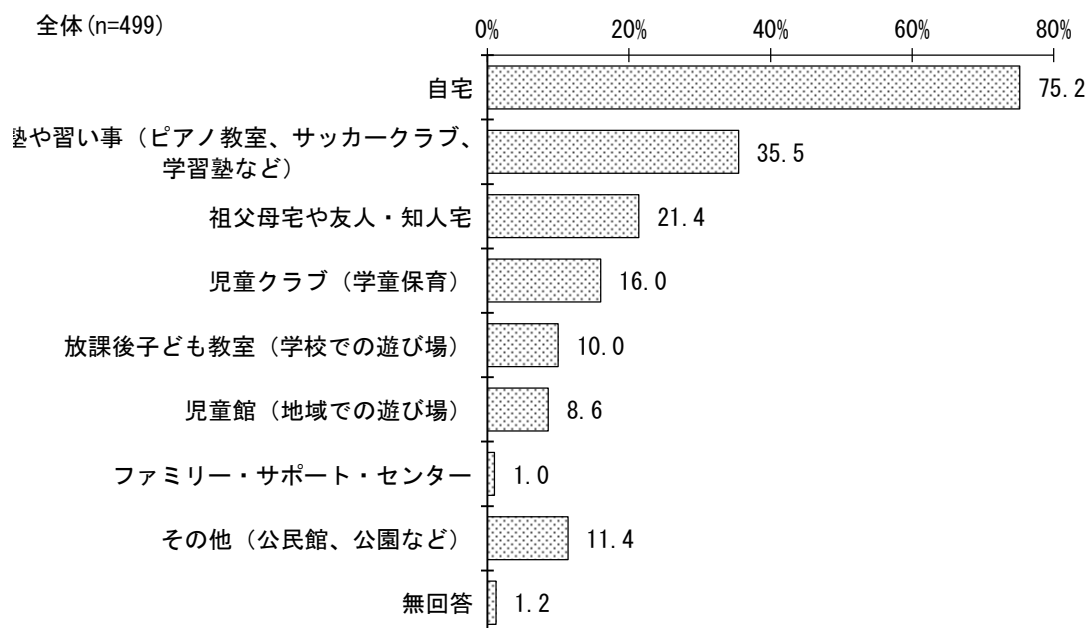
放課後過ごさせたい場所について、小学校低学年では、「自宅」の割合が 50.5%と最も高く、以下「児童クラブ（学童保育）」（40.3%）、「塾や習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」（24.6%）、「祖父母宅や友人・知人宅」（16.6%）が続いています。

小学校高学年では、「自宅」の割合が 75.2%と最も高く、以下「塾や習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」（35.5%）、「祖父母宅や友人・知人宅」（21.4%）が続いています。

小学校低学年のうちで放課後過ごさせたい場所【複数回答】



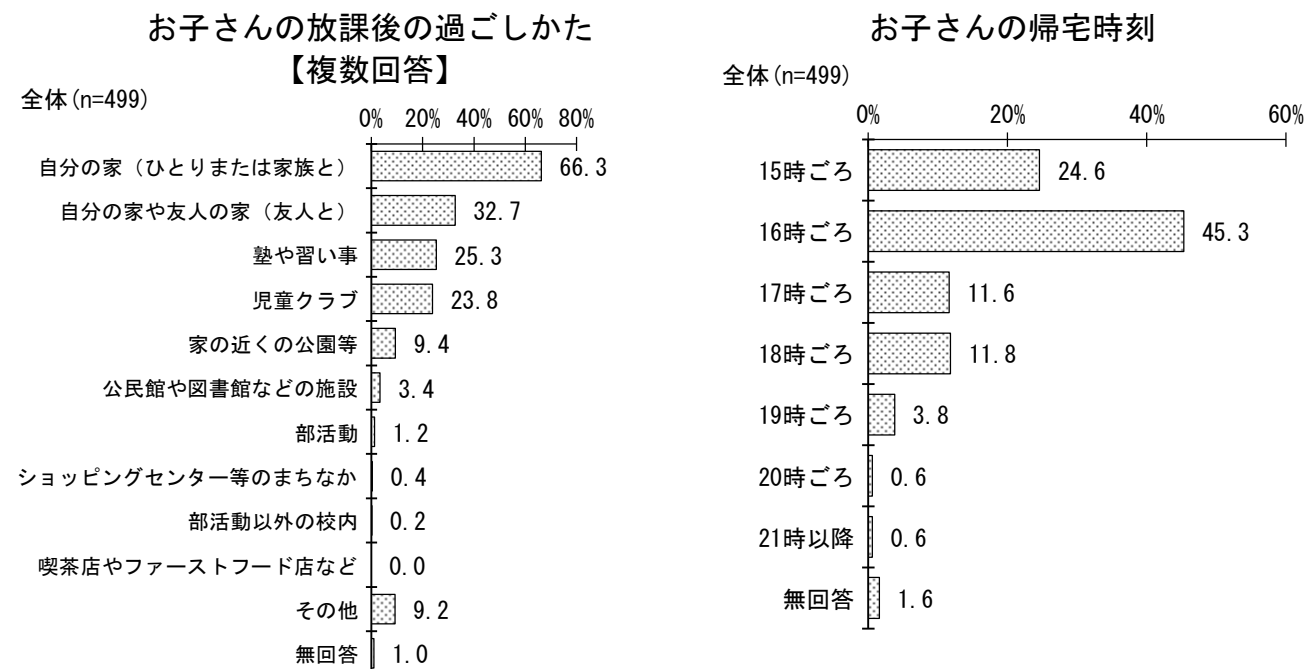
小学校高学年になったら放課後過ごさせたい場所【複数回答】



<実際の放課後の過ごし方、帰宅時間>

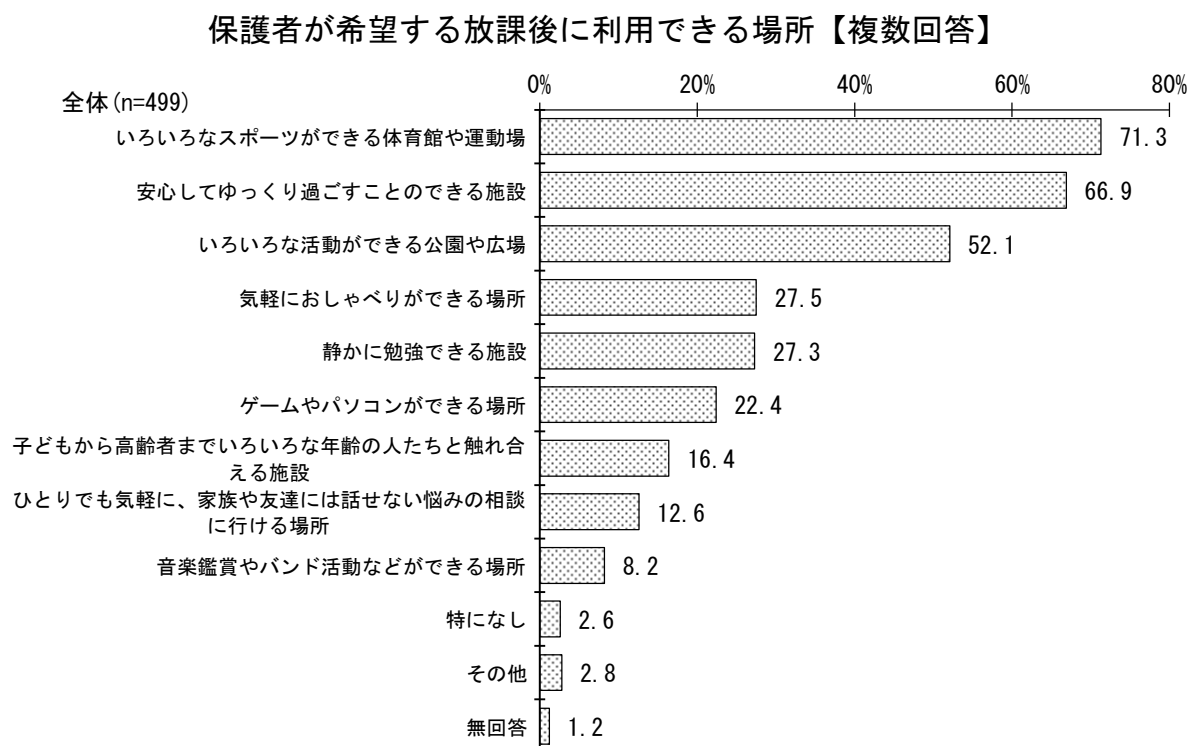
実際の放課後の過ごし方については、「自分の家（ひとりまたは家族と）」の割合が66.3%と最も高く、以下「自分の家や友人の家（友人と）」（32.7%）、「塾や習い事」（25.3%）、「児童クラブ」（23.8%）が続いています。

お子さんの帰宅時刻については、「16時ごろ」の割合が45.3%と最も高くなっています。



<放課後利用できる場所の希望（保護者）>

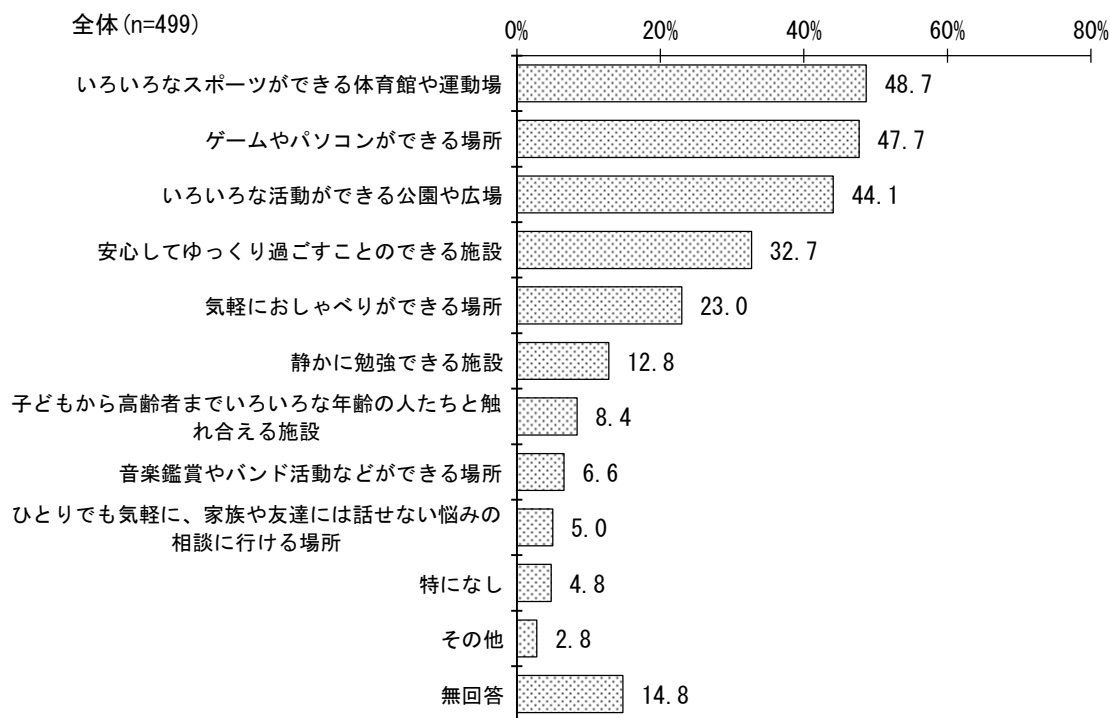
保護者が希望する学校と家以外で放課後に利用できる場所については、「いろいろなスポーツができる体育館や運動場」の割合が71.3%と最も高く、以下「安心してゆっくり過ごすことのできる施設」（66.9%）、「いろいろな活動ができる公園や広場」（52.1%）が続いています。



<放課後利用できる場所の希望（児童本人）>

児童本人が希望する放課後に利用できる場所については、「いろいろなスポーツができる体育館や運動場」の割合が48.7%と最も高く、以下「ゲームやパソコンができる場所」(47.7%)、「いろいろな活動ができる公園や広場」(44.1%)、「安心してゆっくり過ごすことのできる施設」(32.7%)が続いています。

児童本人が希望する放課後に過ごす場所【複数回答】

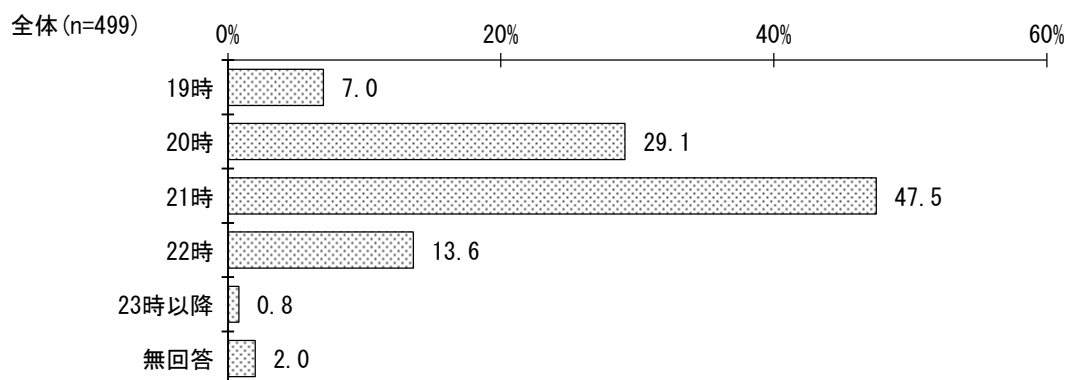


9 生活習慣について

<テレビ、DVD、携帯電話、ゲーム機などの使用時間>

お子さんのテレビ、DVD、携帯電話、ゲーム機などの使用時間については、「21時」の割合が47.5%と最も高く、以下「20時」(29.1%)、「22時」(13.6%)、「19時」(7.0%)が続いています。

お子さんのテレビ、DVD、携帯電話、ゲーム機などの使用時間

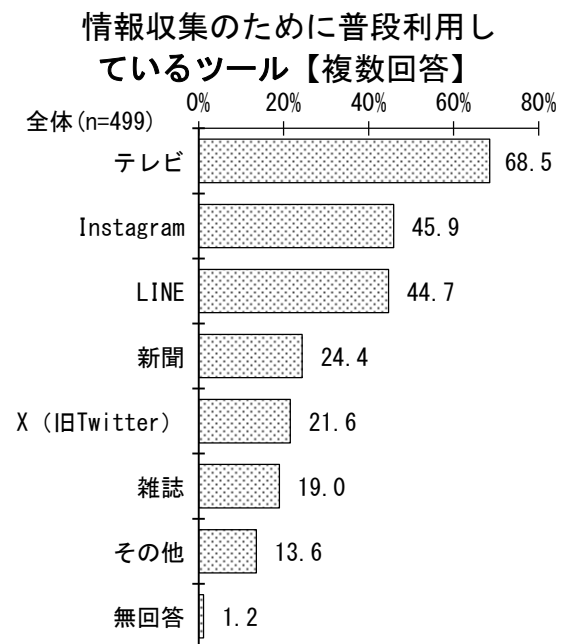
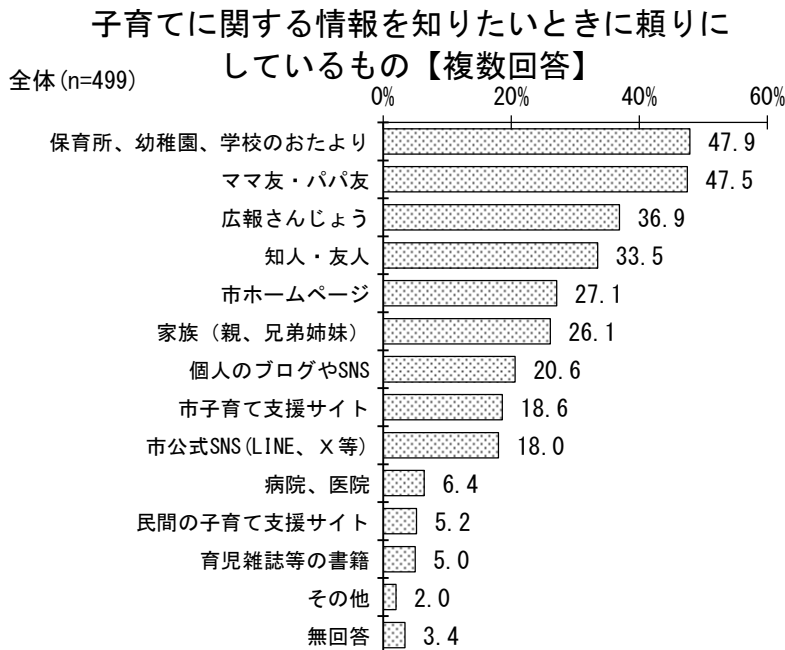


10 情報収集について

＜子育てに関する情報の入手手段＞

子育てに関する情報を知りたいときに頼りにしているものについては、「保育所、幼稚園、学校のおたより」の割合が47.9%と最も高く、以下「ママ友・パパ友」(47.5%)、「広報さんじょう」(36.9%)、「知人・友人」(33.5%)が続いています。

情報収集のために普段利用しているツールについては、「テレビ」の割合が68.5%と最も高く、以下「Instagram」(45.9%)、「LINE」(44.7%)、「新聞」(24.4%)が続いています。

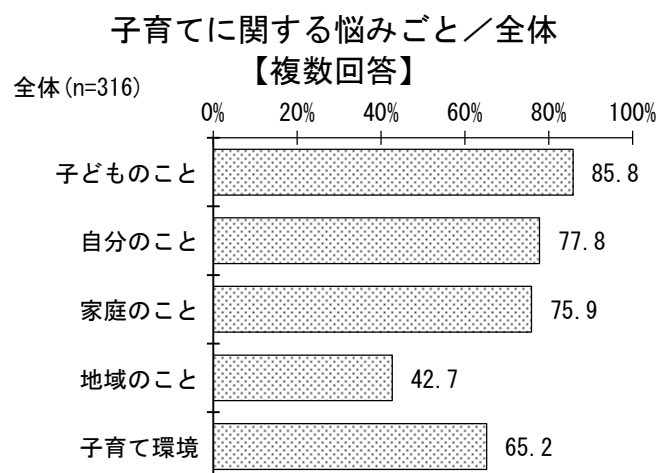
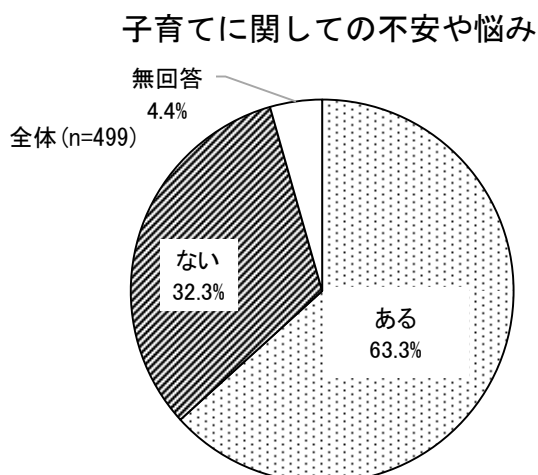


11 子育てで感じていることなどについて

＜子育てに関する不安や悩み＞

子育てに関しての不安や悩みについては、「ある」の割合が63.3%となっています。

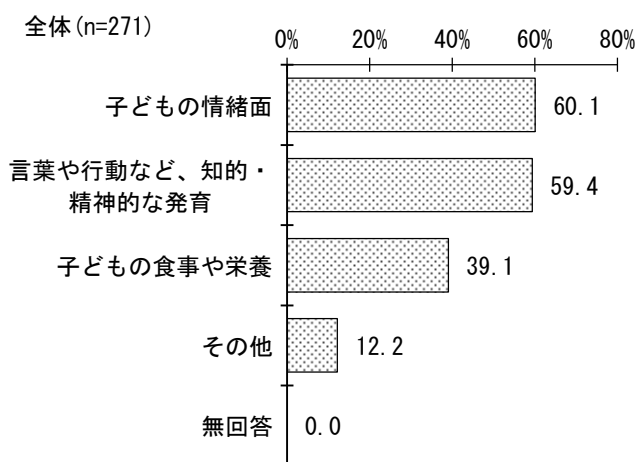
悩みごとの分野については、「子どものこと」の割合が85.8%と最も高く、以下「自分のこと」(77.8%)、「家庭のこと」(75.9%)、「子育て環境」(65.2%)が続いています。



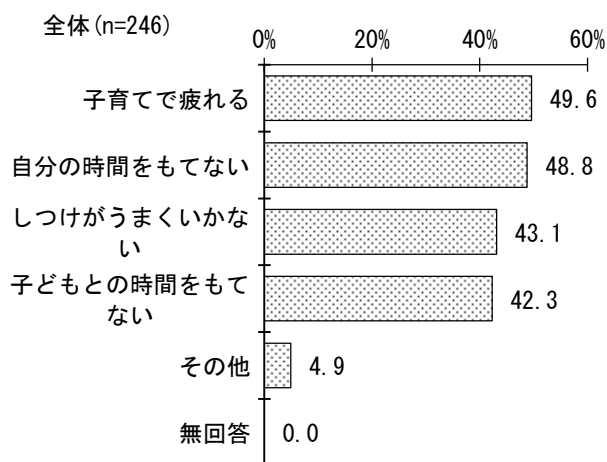
<具体的な悩みの内容>

各分野の具体的な悩みの内容については下記の通りとなっています。

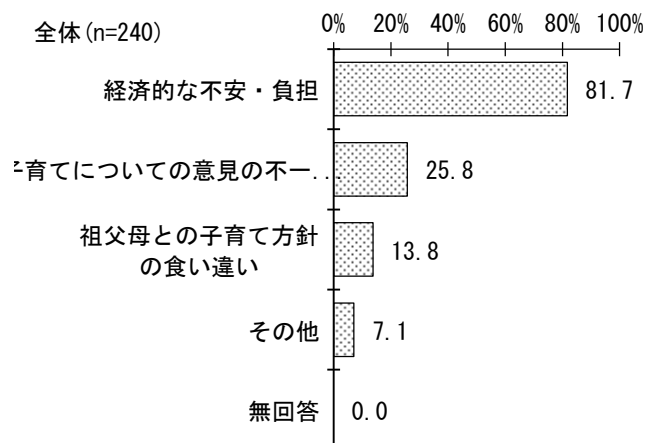
子育てに関する悩みごと／子どものこと【複数回答】



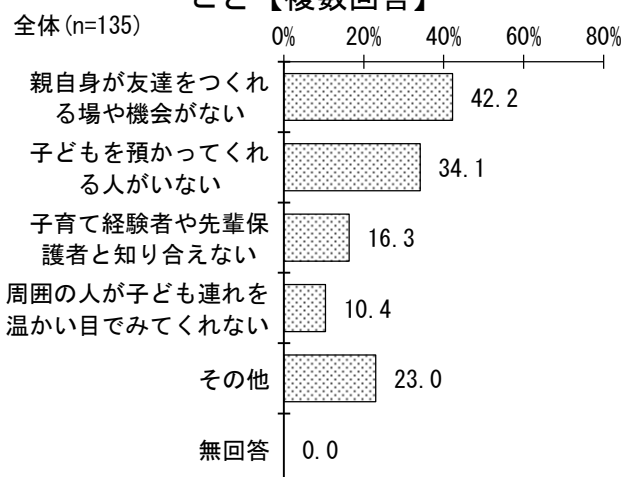
子育てに関する悩みごと／自分のこと【複数回答】



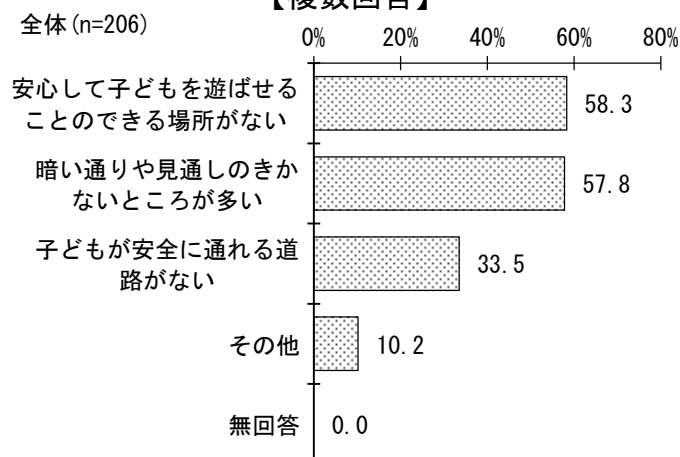
子育てに関する悩みごと／家庭のこと【複数回答】



子育てに関する悩みごと／地域のこと【複数回答】



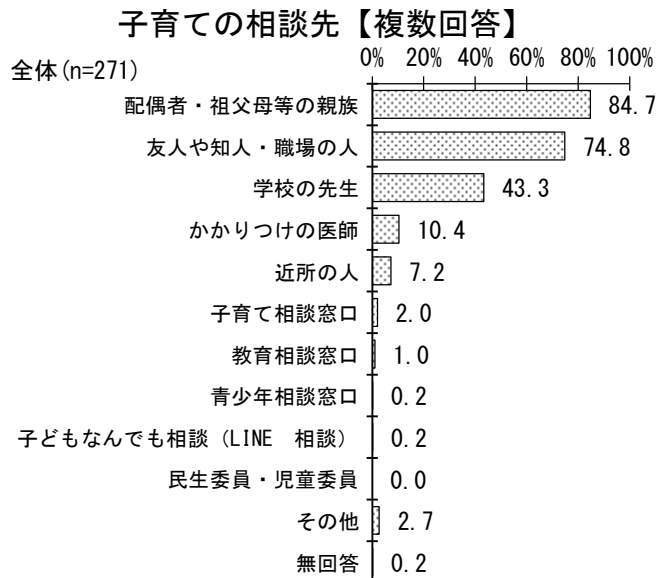
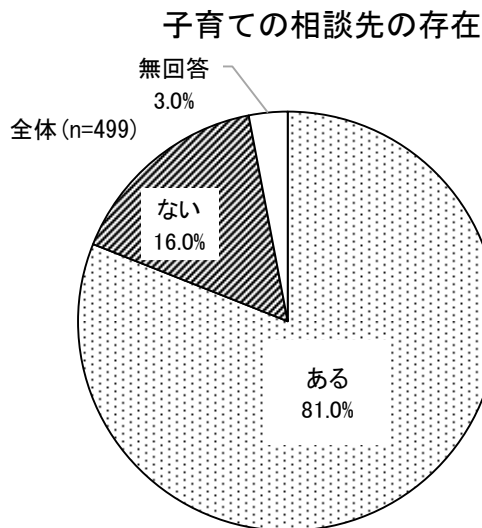
子育てに関する悩みごと／子育て環境【複数回答】



<子育てに関する相談先>

子育ての相談先の存在については、「ある」の割合が81.0%となっています。

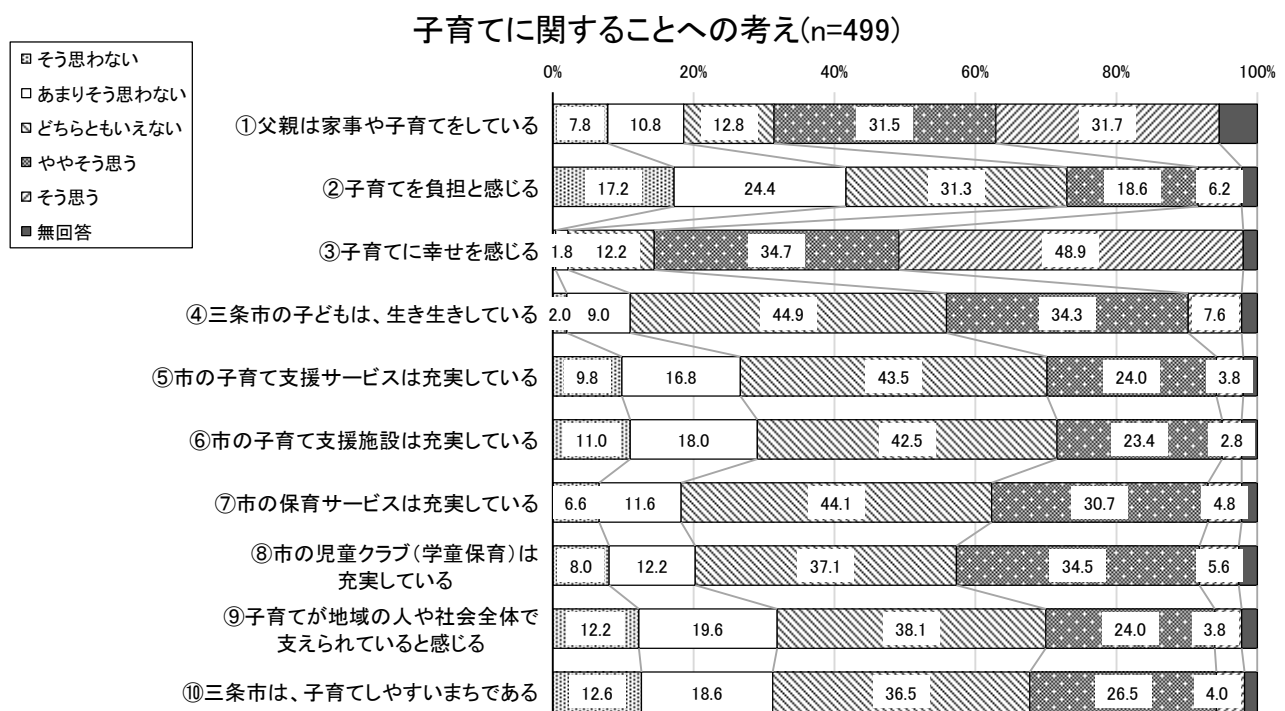
具体的な相談先については、「配偶者・祖父母等の親族」の割合が84.7%と最も高く、以下「友人や知人・職場の人」(74.8%)、「学校の先生」(43.3%)が続いています。



<子育てに関することへの考え>

子育てに関することへの考えについては、“そう思う”(「ややそう思う」と「そう思う」の合計)の割合をみると、「③子育てに幸せを感じる」が83.6%と最も高く、以下「①父親は家事や子育てをしている」(63.2%)、「④三条市の子どもは、生き生きしている」(41.9%)が続いています。

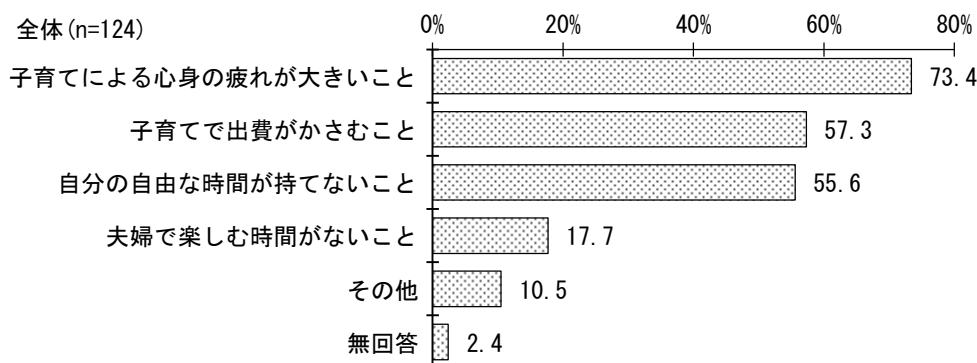
一方、“そう思わない”(「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計)の割合をみると、「②子育てを負担と感じる」が41.6%と最も高く、以下「⑨子育てが地域の人や社会全体で支えられていると感じる」(31.8%)、「⑩三条市は、子育てしやすいまちである」(31.2%)が続いています。



<子育てに関して負担に感じていること>

子育てに関して負担に感じていることについては、「子育てによる心身の疲れが大きいこと」の割合が73.4%と最も高く、以下「子育てで出費がかさむこと」(57.3%)、「自分の自由な時間が持てないこと」(55.6%)、「夫婦で楽しむ時間がないこと」(17.7%)が続いています。

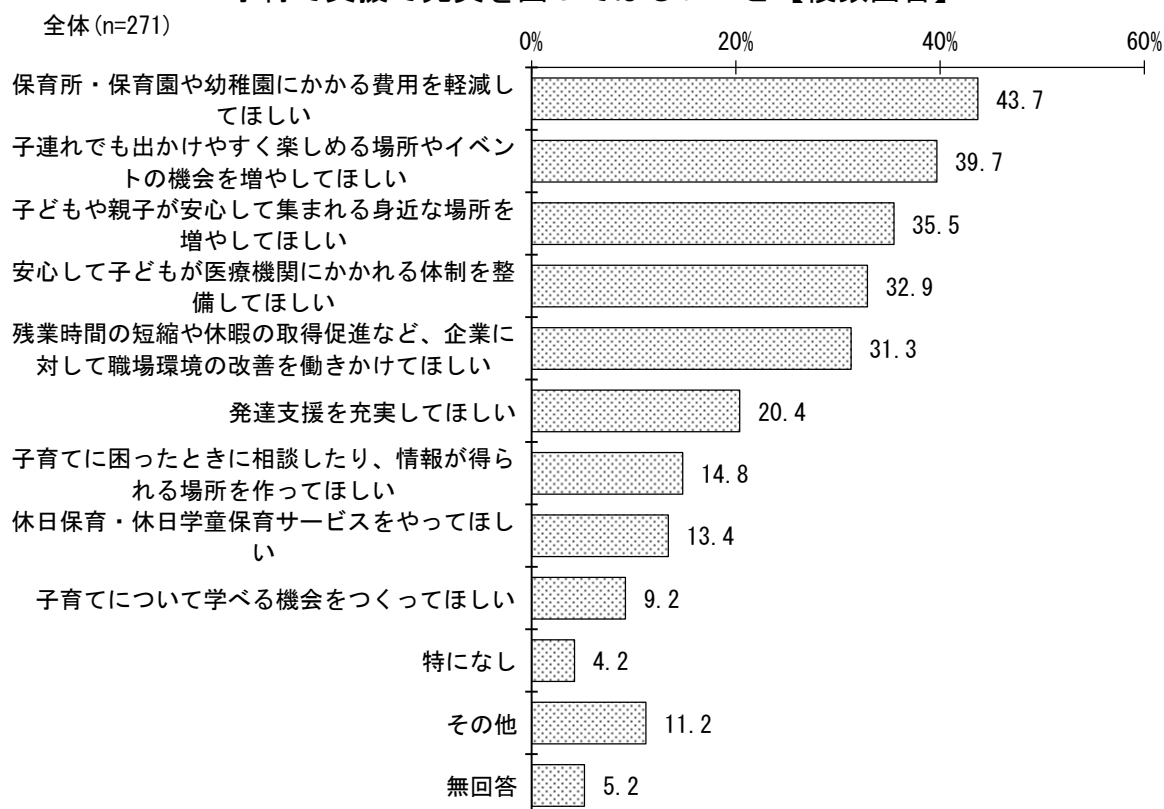
子育てに関して負担に感じていること【複数回答】



<子育て支援に対する要望事項>

子育て支援に対する要望事項については、「保育所・保育園や幼稚園にかかる費用を軽減してほしい」の割合が43.7%と最も高く、以下「子連れでも出かけやすく楽しめる場所やイベントの機会を増やしてほしい」(39.7%)、「子どもや親子が安心して集まれる身近な場所を増やしてほしい」(35.5%)、「安心して子どもが医療機関にかかる体制を整備してほしい」(32.9%)、「残業の短縮や休暇の取得促進など、企業に対して職場環境の改善を働きかけてほしい」(31.3%)が続いています。

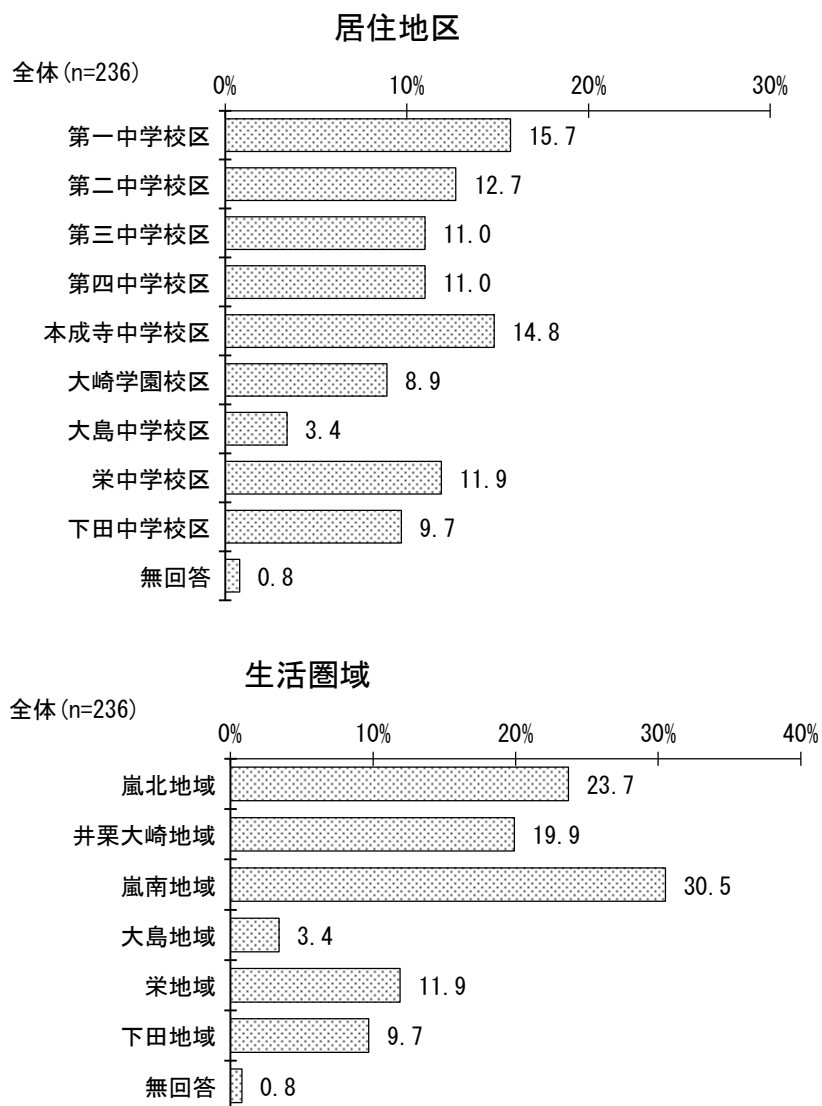
子育て支援で充実を図ってほしいこと【複数回答】



IV. 中学生アンケート調査結果

1 お住まいの地域について

回答者(回答対象生徒)の居住地区については、中学校区別、圏域別で下記の通りとなっています。

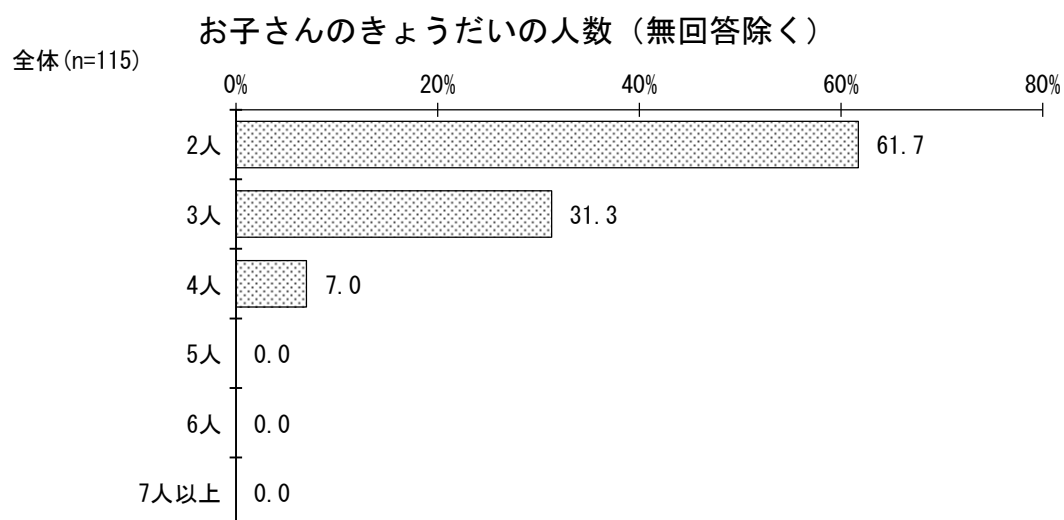
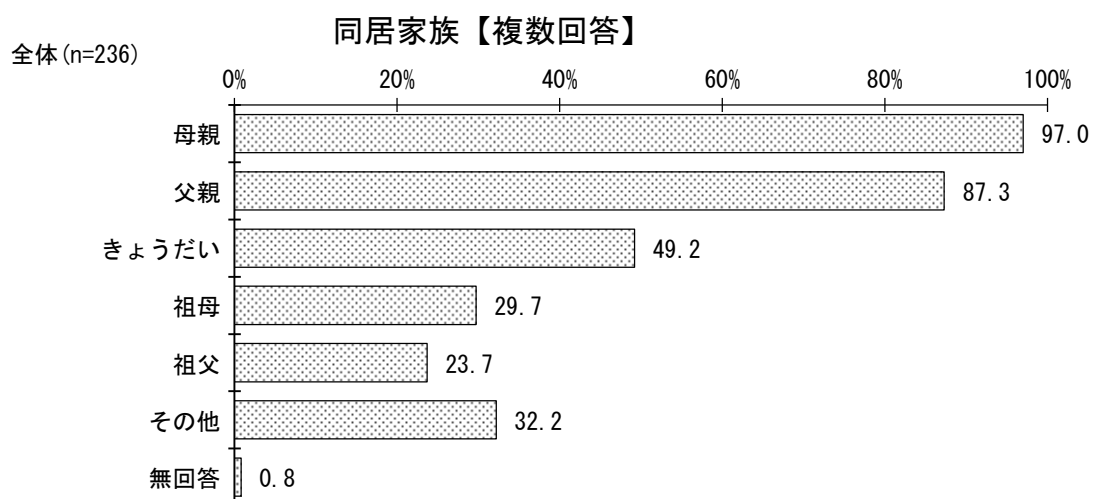
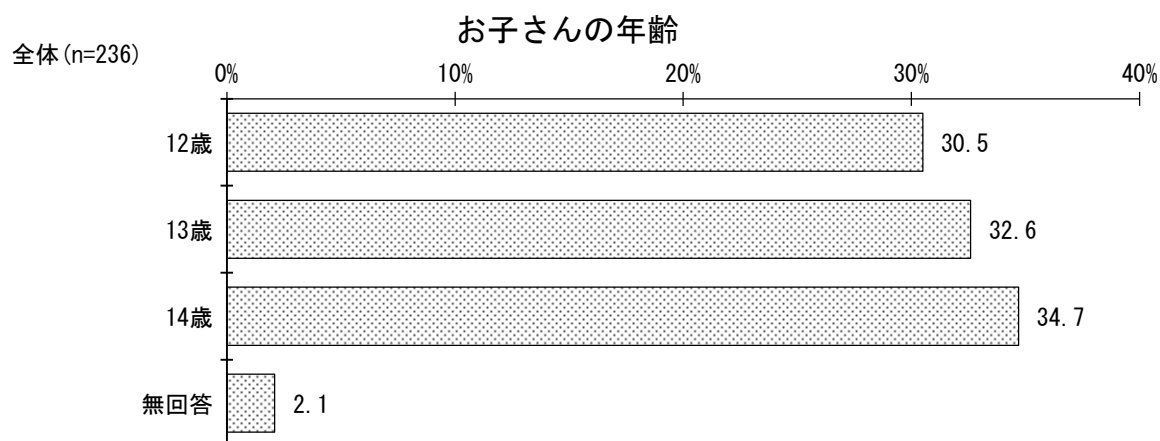


生活圏域（学区別）	
圏域	中学校
嵐北地域	第二中学校区
	第三中学校区
井栗大崎地域	第四中学校区
	大崎学園校区
嵐南地域	第一中学校区
	本成寺中学校区
大島地域	大島中学校区
栄地域	栄中学校区
下田地域	下田中学校区

2 お子さんとご家族の状況について

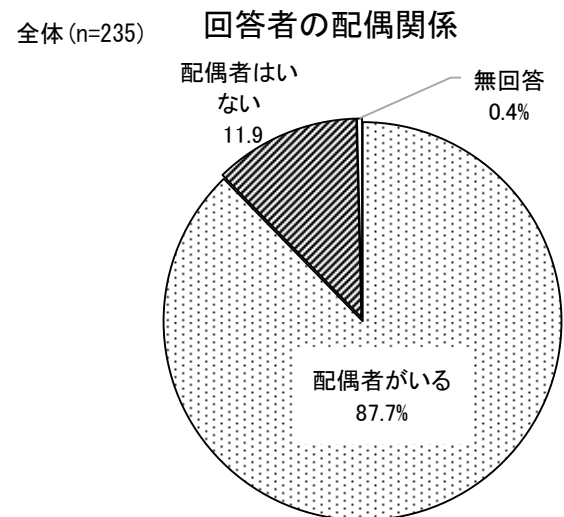
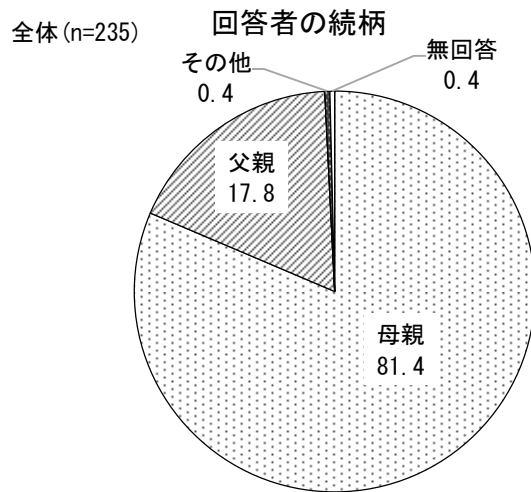
<回答者の属性等>

回答者(回答対象生徒)の年齢、家族構成等は下記の通りとなっています。



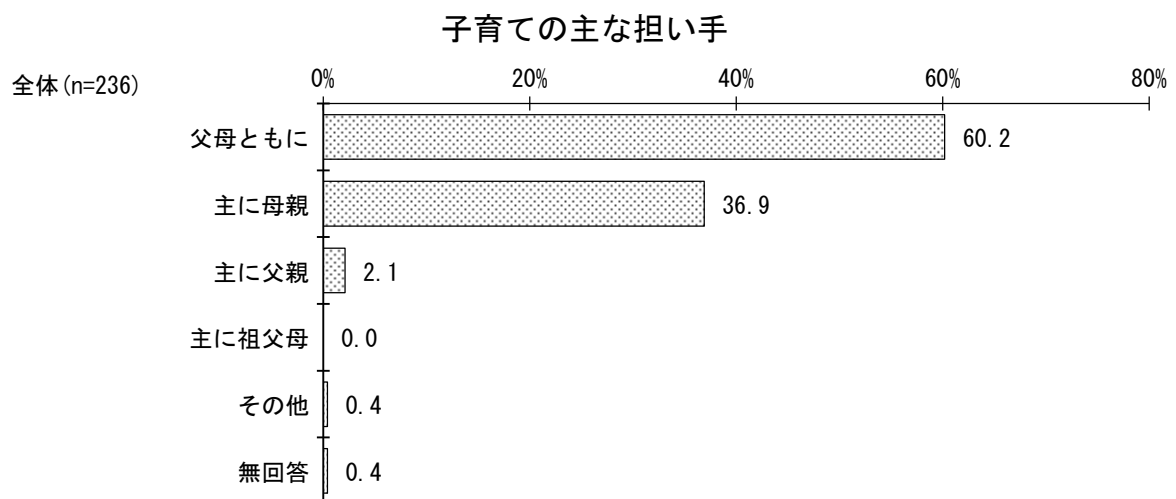
<回答者の続柄>

回答者の続柄については、「母親」の割合が81.4%で、「父親」(17.8%)を大きく上回っています。



<子育ての担い手>

子育ての主な担い手については、「父母ともに」が60.2%で最も高くなっています。

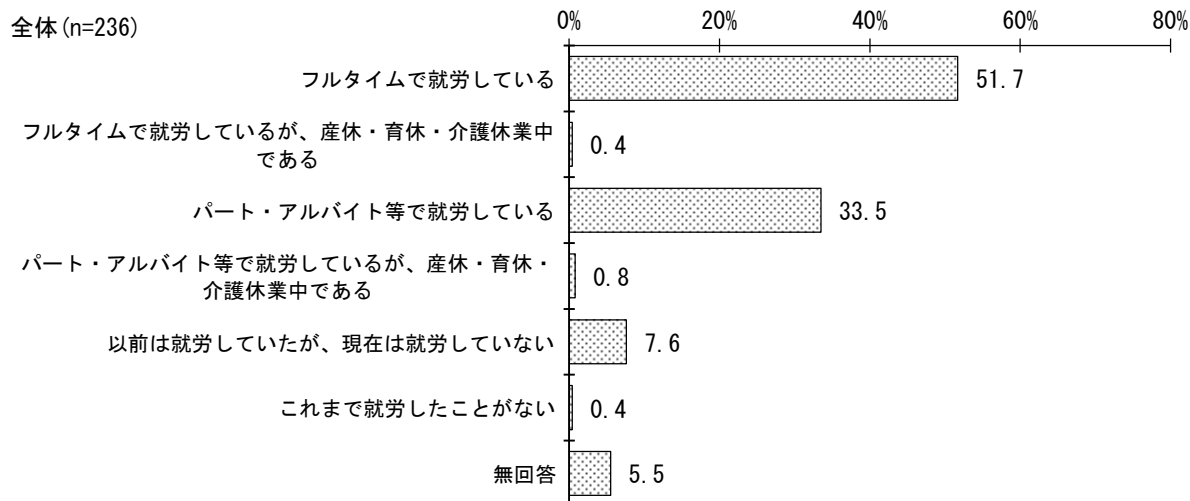


3 保護者の就労状況について

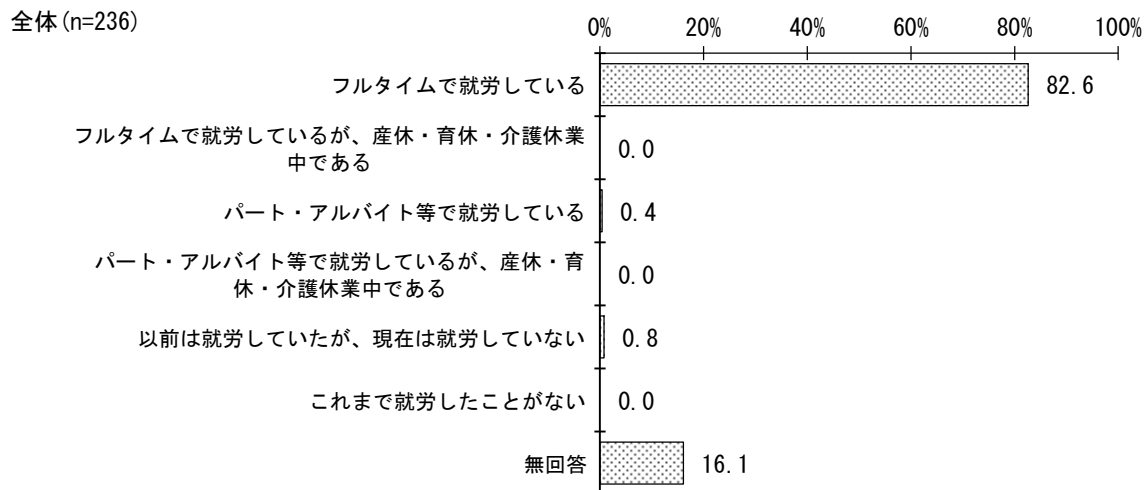
<父母の就労状況>

母親の就労状況については、「フルタイムで就労している」の割合が51.7%と最も高く、次いで「パート・アルバイト等で就労している」が33.5%となっています。
父親については、「フルタイムで就労している」が82.6%と最も高くなっています。

母親の就労状況

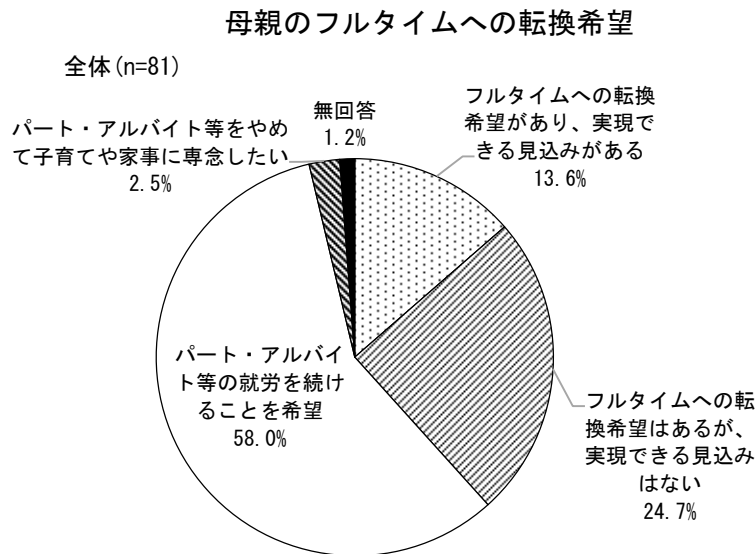


父親の就労状況



<母親のフルタイムへの転換希望>

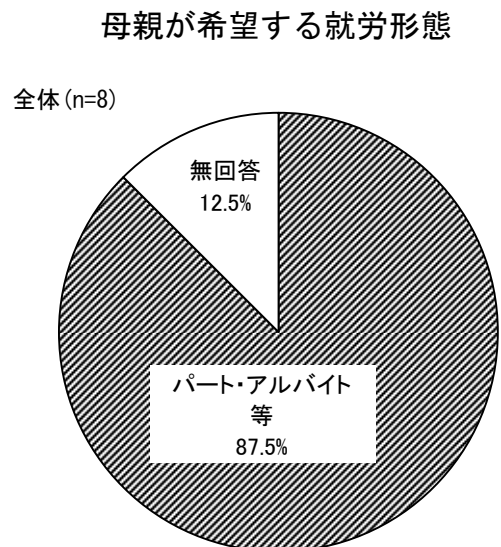
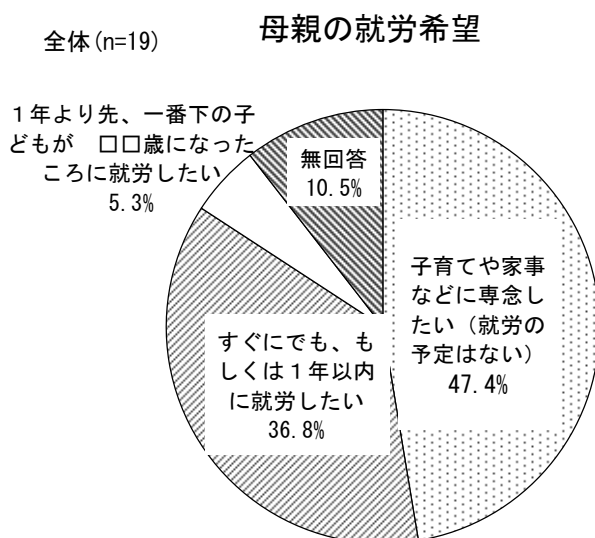
パート・アルバイトの母親における(父親は該当者少数のため省略)フルタイムへの転換希望については、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が58.0%と最も高くなっています。



<父母の就労希望>

現在就労していない母親の(父親は該当者少数のためコメント省略)就労希望については、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」の割合が47.4%と最も高く、以下「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」(36.8%)、「1年より先、一番下の子どもが□□歳になったころに就労したい」(5.3%)が続いています。

希望する就労形態では、「パート・アルバイト等」の割合が87.5%と大半を占めています。

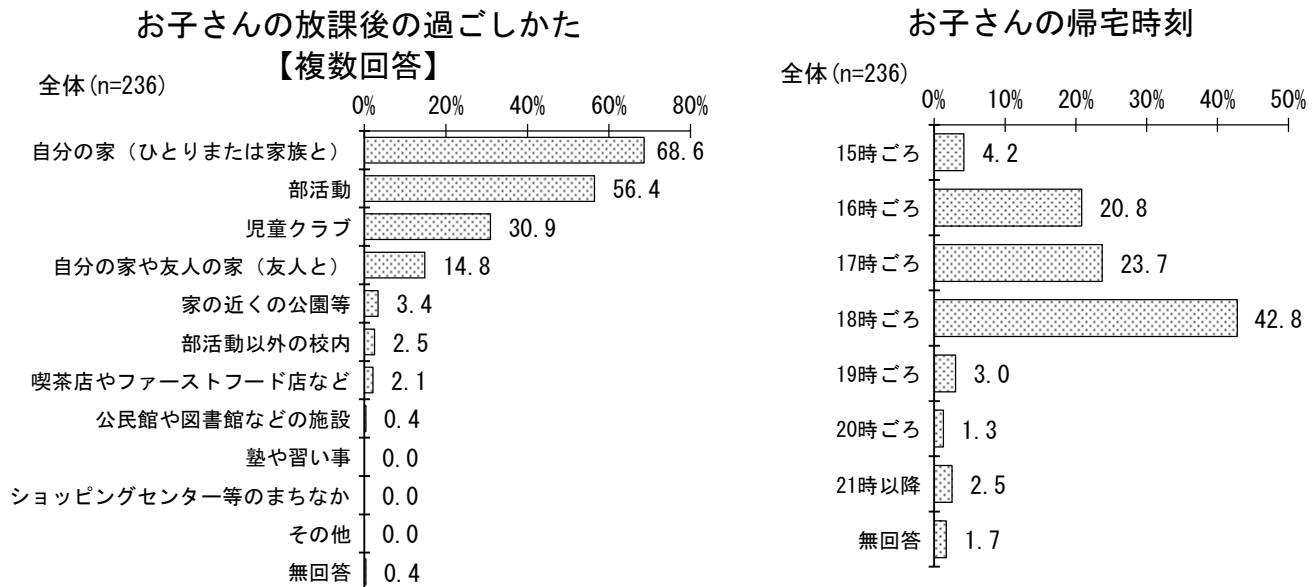


4 放課後の過ごし方の希望について

<放課後の過ごし方、帰宅時間>

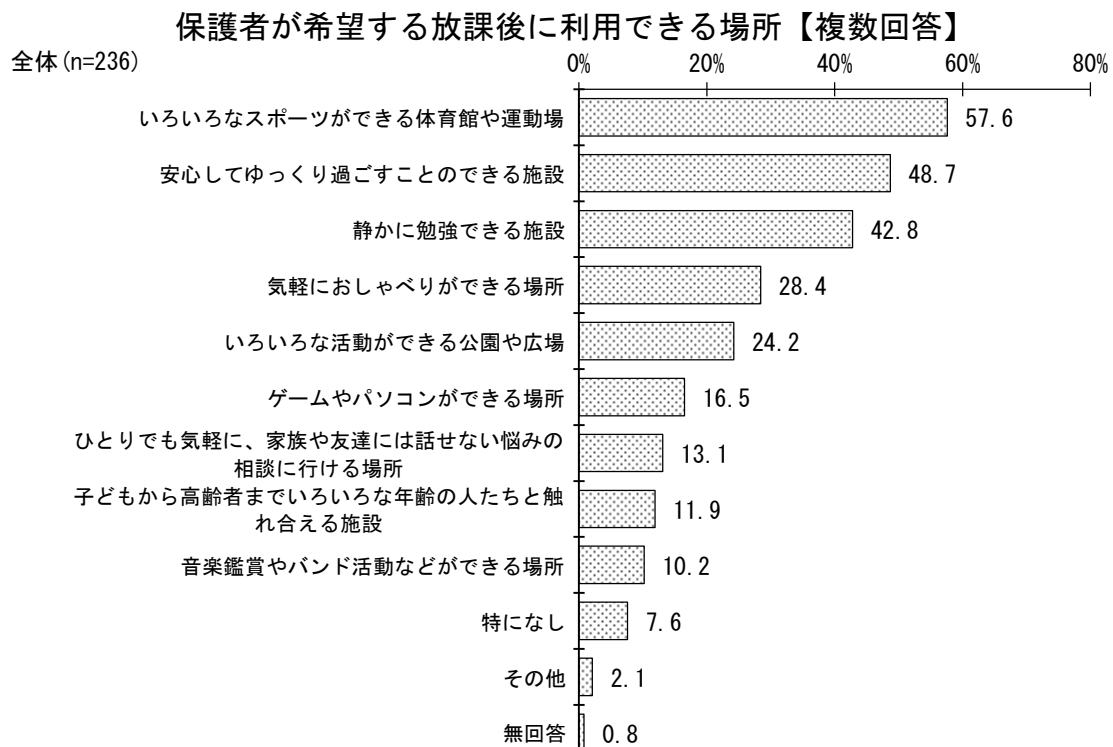
お子さんの放課後の過ごし方については、「自分の家（ひとりまたは家族と）」の割合が 68.6%と最も高く、以下「部活動」（56.4%）、「児童クラブ」（30.9%）が続いています。

お子さんの帰宅時刻については、「18 時ごろ」の割合が 42.8%と最も高く、以下「17 時ごろ」（23.7%）、「16 時ごろ」（20.8%）、「15 時ごろ」（4.2%）が続いています。



<放課後利用できる場所の希望（保護者）>

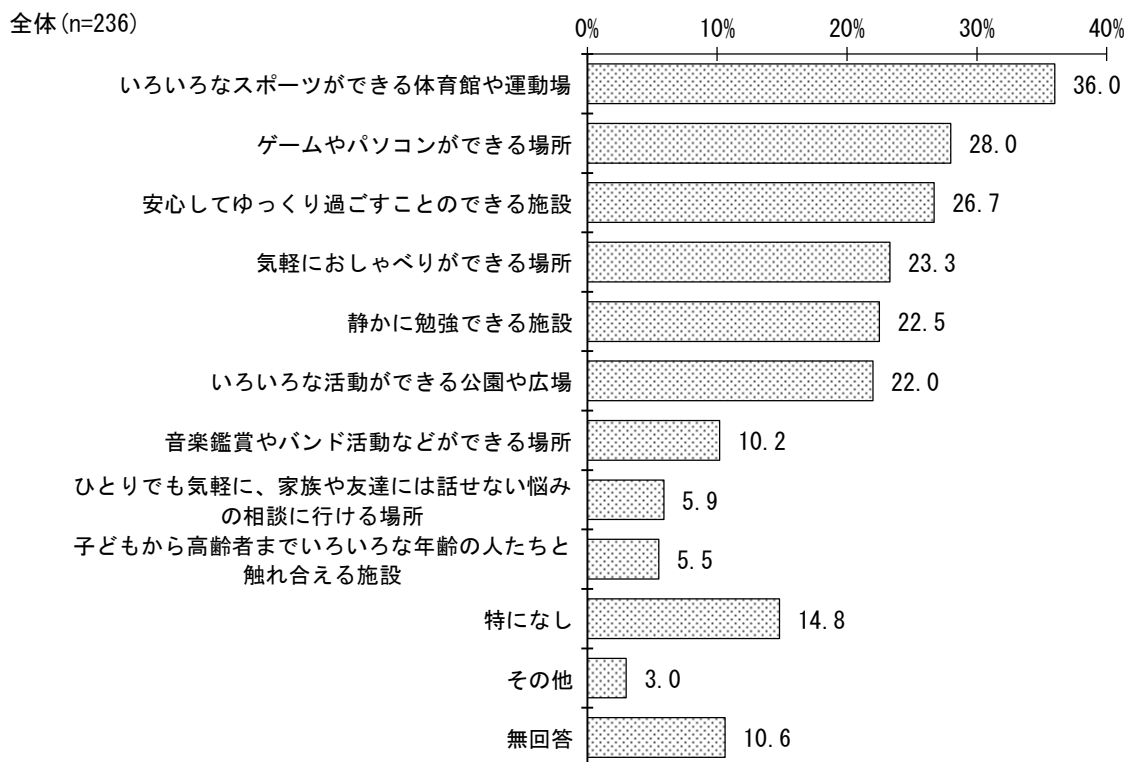
放課後に利用できる場所の希望について、保護者の回答では「いろいろなスポーツができる体育館や運動場」の割合が 57.6%と最も高く、以下「安心してゆっくり過ごすことのできる施設」（48.7%）、「静かに勉強できる施設」（42.8%）が続いています。



<放課後利用できる場所の希望（中学生本人）>

中学生本人が希望する放課後に利用できる場所については、「いろいろなスポーツができる体育館や運動場」の割合が36.0%と最も高く、以下「ゲームやパソコンができる場所」(28.0%)、「安心してゆっくり過ごすことのできる施設」(26.7%)、「気軽におしゃべりができる場所」(23.3%)が続いています。

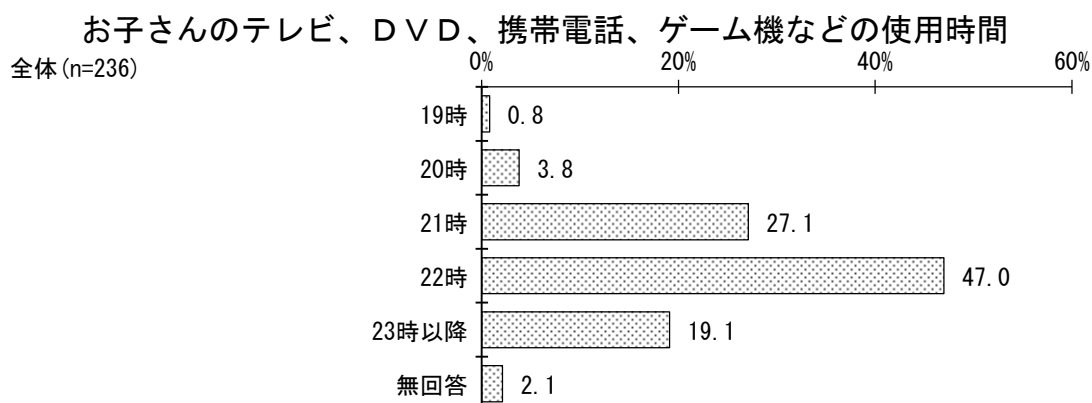
中学生本人が希望する放課後に利用できる場所【複数回答】



5 生活習慣について

<テレビ、DVD、携帯電話、ゲーム機などの使用時間>

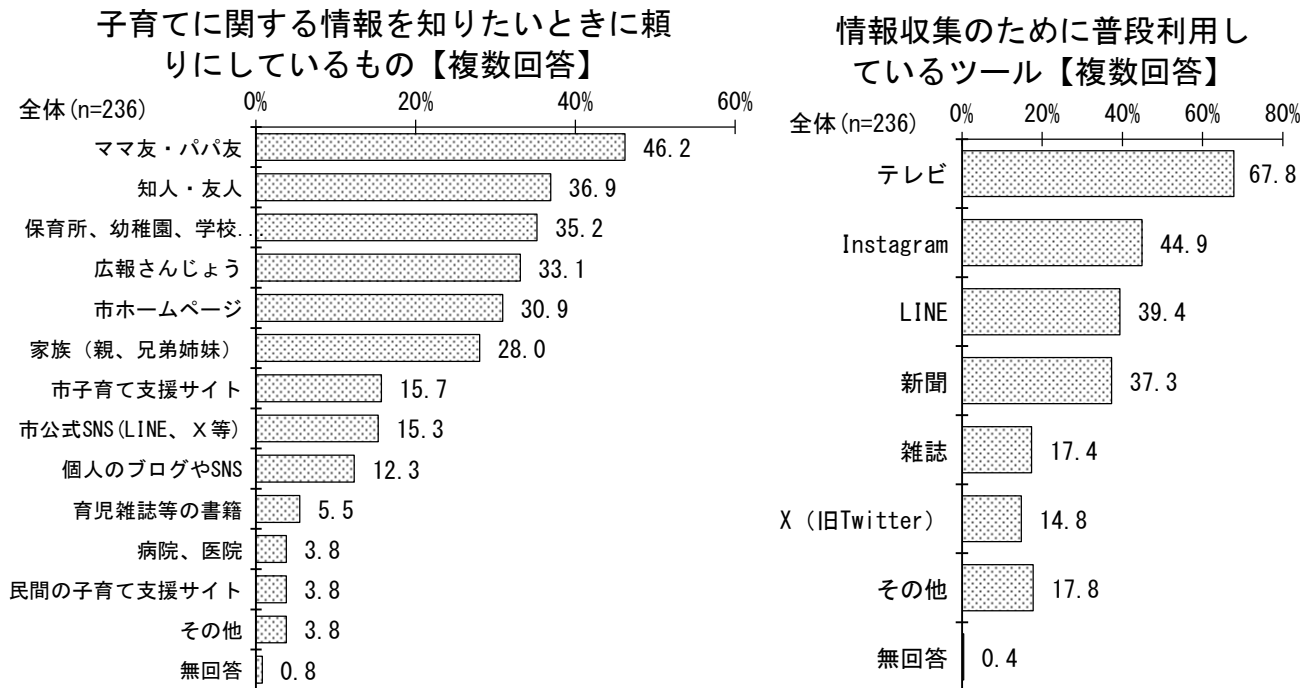
お子さんのテレビ、DVD、携帯電話、ゲーム機などの使用時間については、「22時」の割合が47.0%と最も高く、以下「21時」(27.1%)、「23時以降」(19.1%)が続いています。



6 情報収集について

子育てに関する情報を知りたいときに頼りにしているものについては、「ママ友・パパ友」の割合が46.2%と最も高く、以下「知人・友人」(36.9%)、「保育所、幼稚園、学校のおたより」(35.2%)、「広報さんじょう」(33.1%)が続いています。

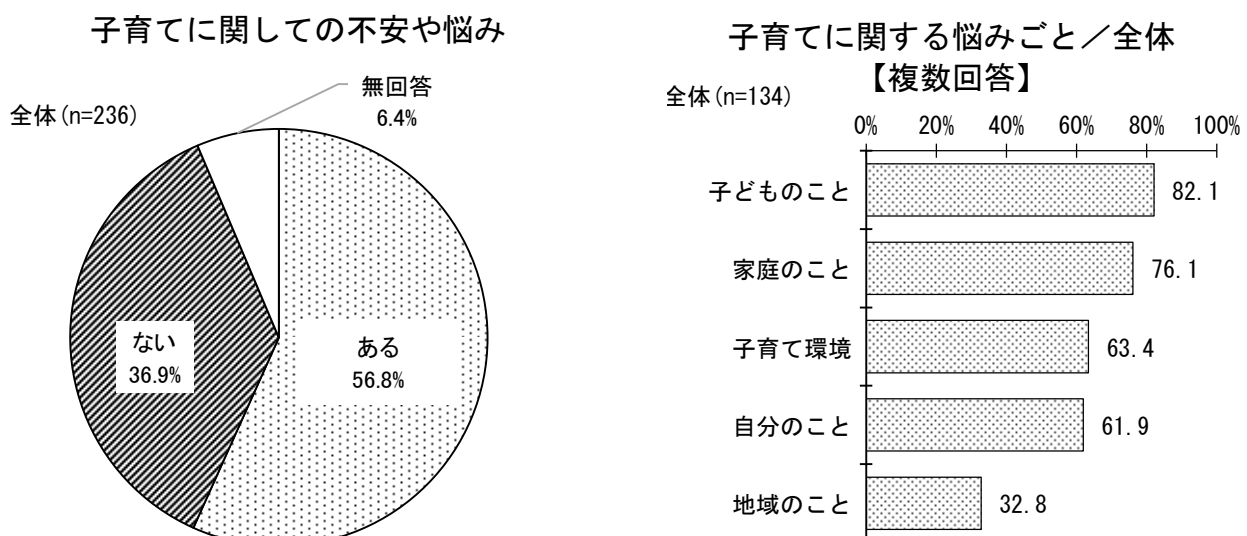
情報収集のために普段利用しているツールについては、「テレビ」の割合が67.8%と最も高く、以下「Instagram」(44.9%)、「LINE」(39.4%)、「新聞」(37.3%)が続いています。



7 子育てについて感じていることなどについて

子育てに関しての不安や悩みについては、「ある」の割合が56.8%となっています。

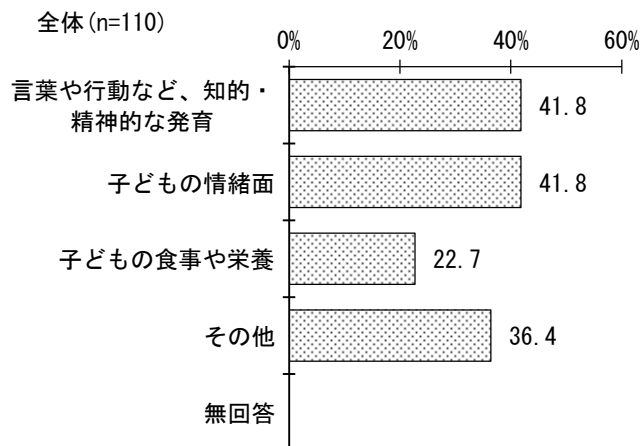
悩みごとの分野については、「子どものこと」が82.1%と最も高く、以下「家庭のこと」(76.1%)、「子育て環境」(63.4%)、「自分のこと」(61.9%)、「地域のこと」(32.8%)が続いています。



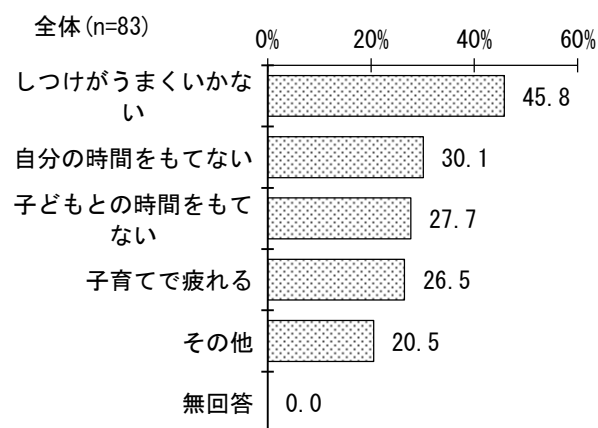
<具体的な悩みの内容>

各分野の具体的な悩みの内容については下記の通りとなっています。

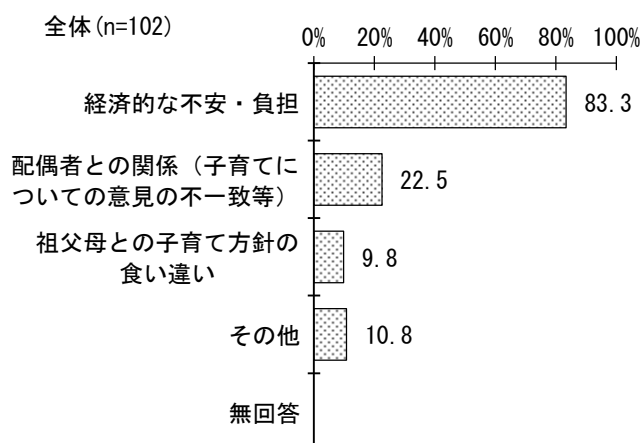
子育てに関する悩みごと／子どものこと【複数回答】



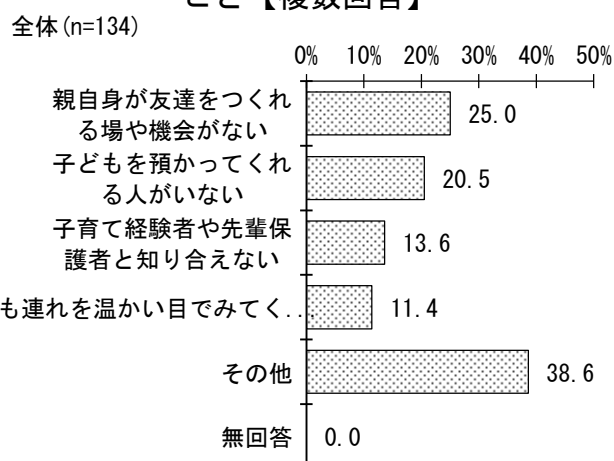
子育てに関する悩みごと／自分のこと【複数回答】



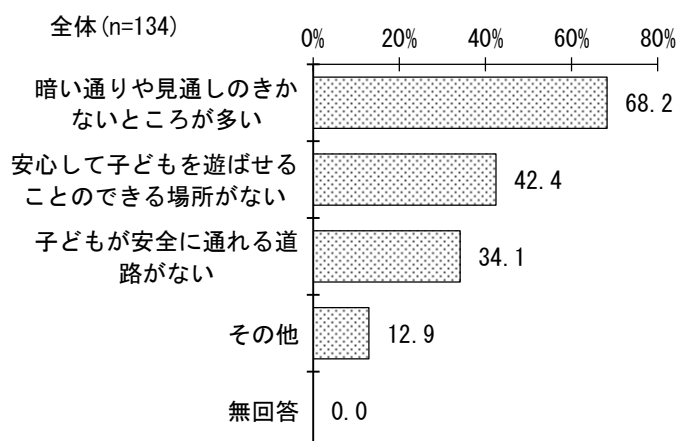
子育てに関する悩みごと／家庭のこと【複数回答】



子育てに関する悩みごと／地域のこと【複数回答】



子育てに関する悩みごと／子育て環境【複数回答】



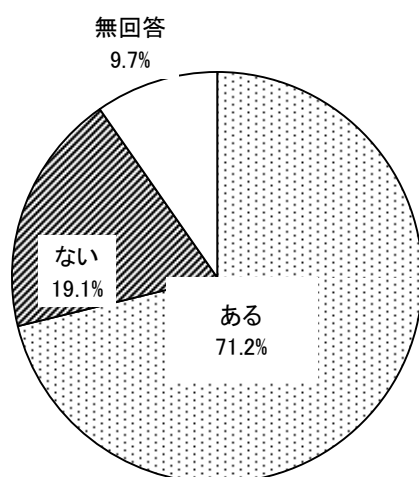
<子育てに関する相談先>

子育ての相談先の存在については、「ある」の割合が71.2%となっています。

具体的な相談先については、「配偶者・祖父母等の親族」の割合が78.6%と最も高く、以下「友人や知人・職場の人」(75.0%)、「学校の先生」(39.9%)が続いています。

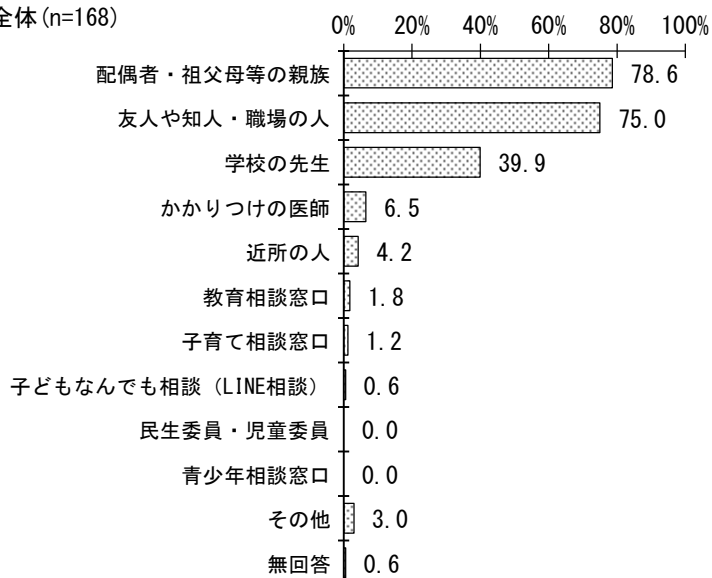
子育ての相談先の存在

全体 (n=236)



子育ての相談先【複数回答】

全体 (n=168)

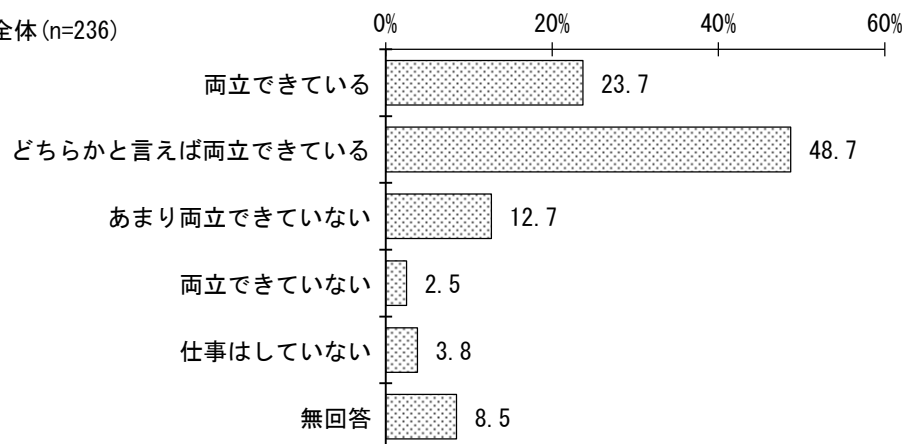


<子育てと仕事の両立>

子育てと仕事の両立については、「どちらかと言えば両立できている」の割合が48.7%と最も高く、以下「両立できている」(23.7%)、「あまり両立できていない」(12.7%)、「仕事はしていない」(3.8%)が続いています。

子育てと仕事の両立

全体 (n=236)

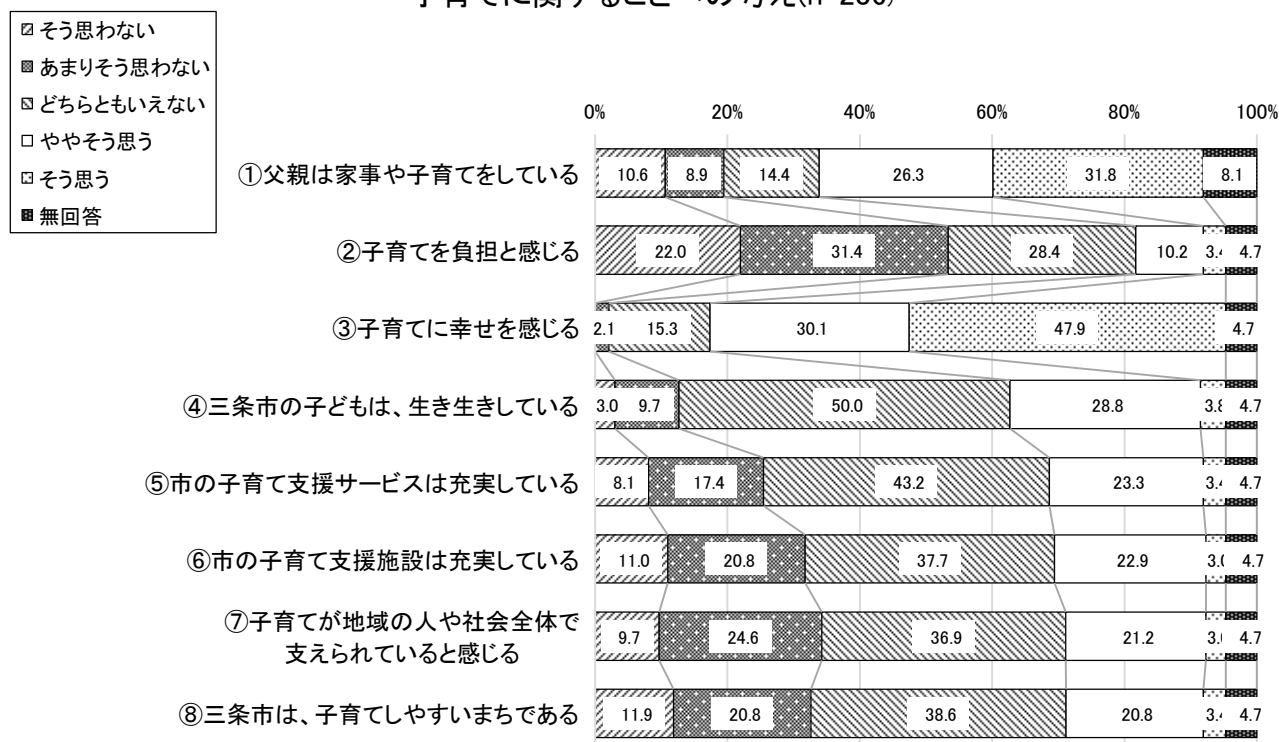


<子育てに関することへの考え>

子育てに関することへの考えについて、“そう思う”（「ややそう思う」と「そう思う」の合計）の割合をみると、『③子育てに幸せを感じる』が78.0%と最も高く、以下『①父親は家事や子育てをしている』（58.1%）、『④三条市の子どもは、生き生きしている』（32.6%）、『⑤市の子育て支援サービスは充実している』（26.7%）、『⑥市の子育て支援施設は充実している』（25.9%）が続いています。

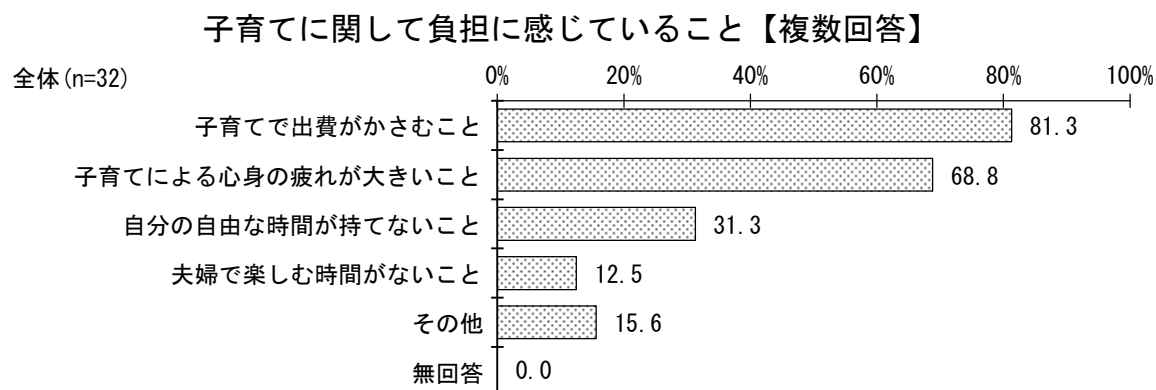
一方、“そう思わない”（「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計）の割合をみると、『②子育てを負担と感じる』が53.4%と最も高く、以下『⑦子育てが地域の人や社会全体で支えられていると感じる』（34.3%）、『⑧三条市は、子育てしやすいまちである』（32.7%）、『⑥市の子育て支援施設は充実している』（31.8%）が続いています。

子育てに関することへの考え(n=236)



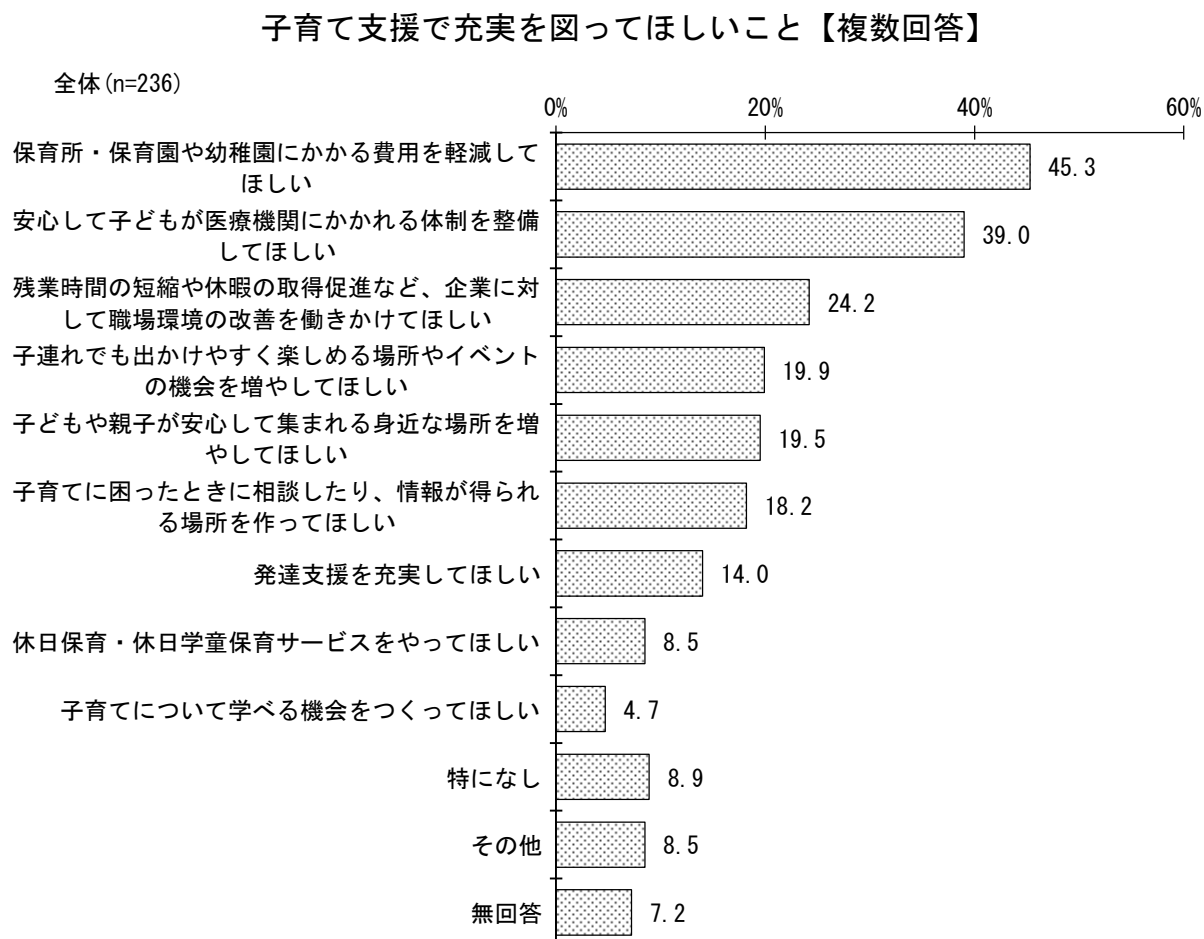
<子育てに関して負担に感じていること>

子育てに関して負担に感じていることについては、「子育てで出費がかさむこと」が81.3%と最も高く、以下「子育てによる心身の疲れが大きいこと」(68.8%)、「自分の自由な時間が持てないこと」(31.3%)が続いています。



<子育て支援に対する要望事項>

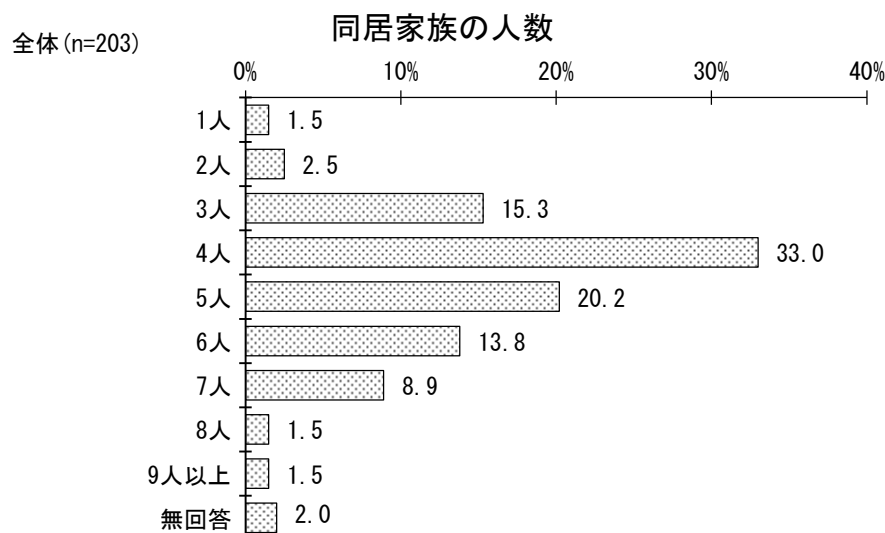
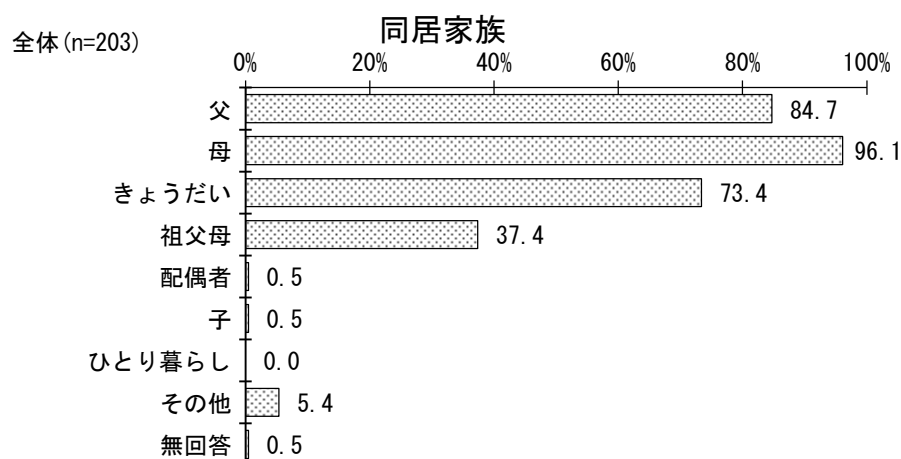
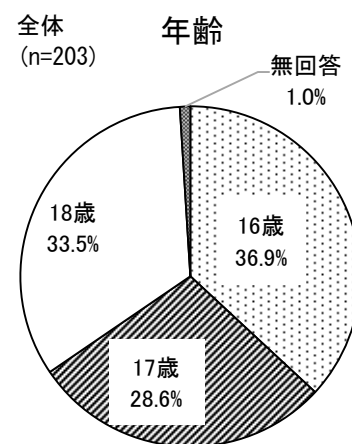
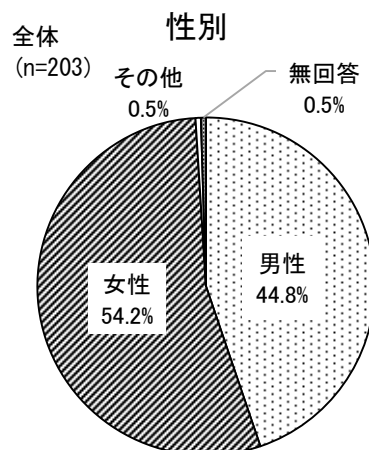
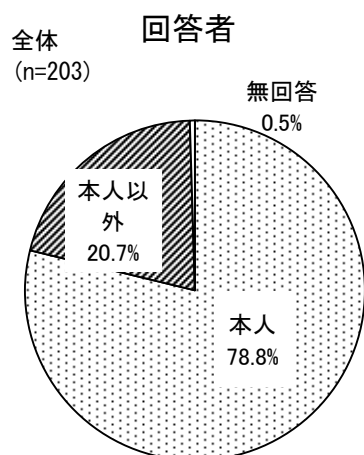
子育て支援に対する要望事項については、「保育所・保育園や幼稚園にかかる費用を軽減してほしい」が45.3%と最も高く、以下「安心して子どもが医療機関にかかる体制を整備してほしい」(39.0%)「残業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業に対して職場環境の改善を働きかけてほしい」(24.2%)「子連れでも出かけやすく楽しめる場所やイベントの機会を増やしてほしい」(19.9%)が続いています。



V. 16 歳から 18 歳（高校生相当の年齢）アンケート調査

1 生活状況などについて

回答者の属性、家族構成等生活の状況は下記の通りとなっています。



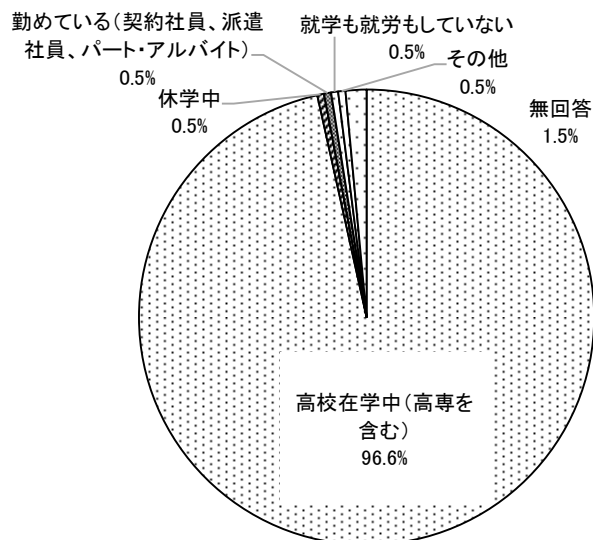
2 就学、就労の状況、将来について

<現在の就学・就労状況、将来の進路希望>

現在の就学・就労状況は、「高校在学中（高専を含む）」（96.6%）が大半を占め、それ以外は「休学中」「勤めている（契約社員、派遣社員、パート・アルバイト）」「就学も就労もしていない」「その他」がそれぞれ0.5%となっています。

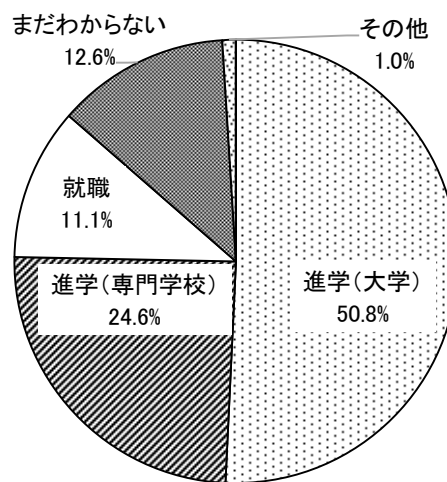
現時点での進路希望は、「進学（大学）」（50.8%）と「進学（専門学校）」（24.6%）を合わせた回答割合が75.4%となった一方、「就職」（11.1%）は約1割となっています。

全体 (n=203) 現在の就学・就労等の状況



現時点で考えている将来の進路希望

全体 (n=199)



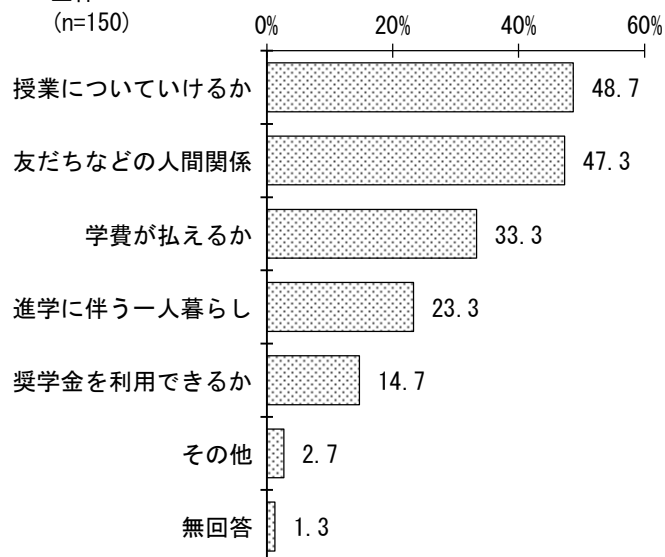
<進学、就職に対する不安>

進学することについての不安は、「授業についていけるか」（48.7%）、「友だちなどの人間関係」（47.3%）の割合が特に高く、次いで「学費が払えるか」（33.3%）となっています。

就職することについての不安は、「希望する仕事が見つかるか」（59.3%）の回答割合が最も高く、次いで「就職できるかどうか」（41.9%）、「職場の人間関係」（34.9%）となっています。

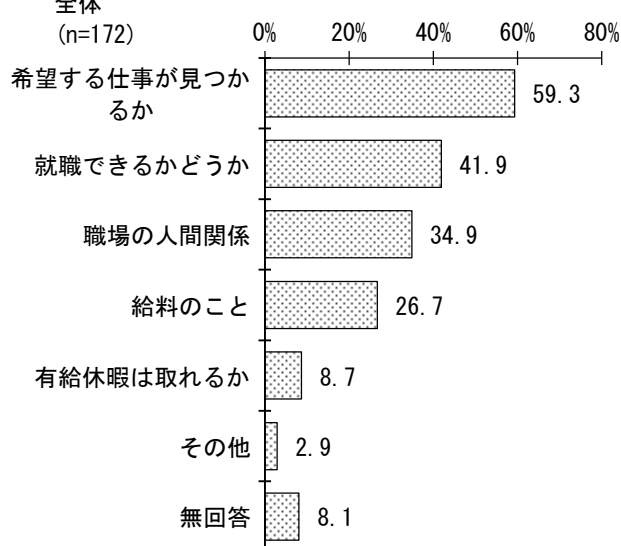
進学することについての不安

全体
(n=150)



就職することについての不安

全体
(n=172)

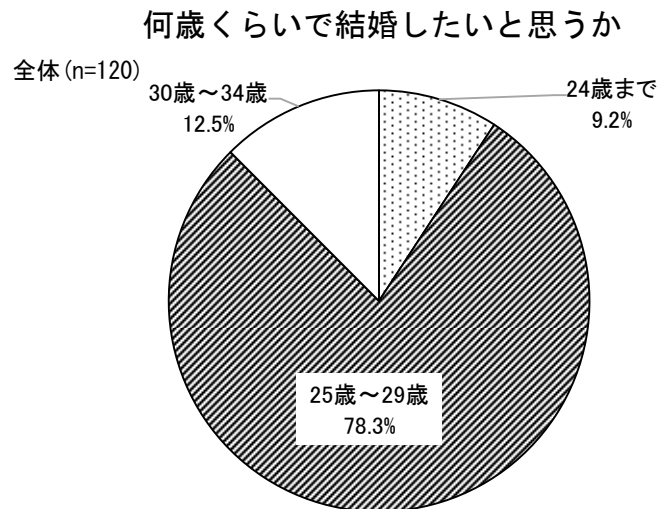
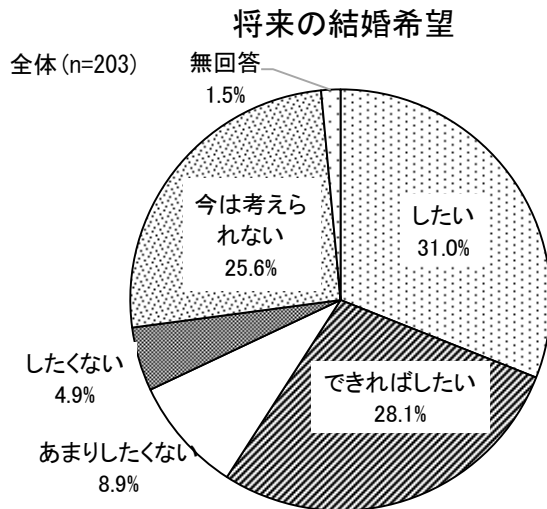


3 結婚観について

<将来の結婚希望>

将来の結婚については、「したい」が31.0%、「できればしたい」が28.1%、「あまりしたくない」が8.9%、「したくない」が4.9%、「今は考えられない」が25.6%となっています。

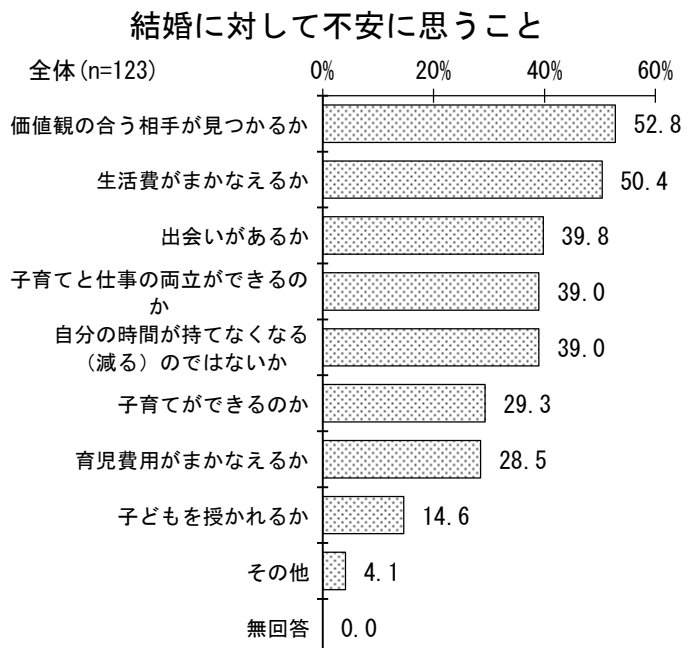
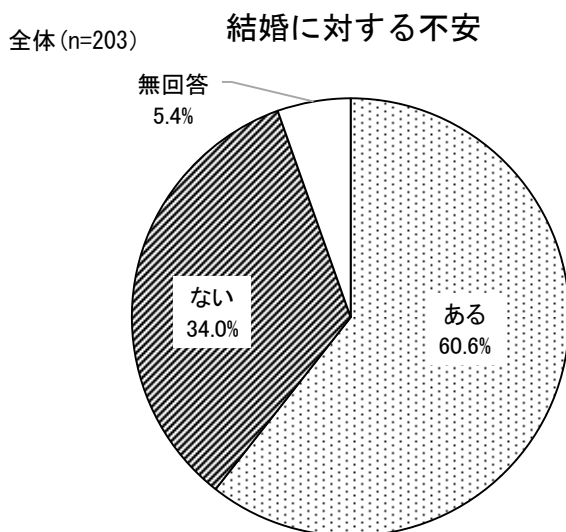
結婚を希望する年齢は、「24歳まで」が9.2%、「25歳～29歳」が78.3%、「30歳～34歳」が12.5%となっており、回答者の9割弱が20歳代までの結婚を希望しています。



<結婚に対する不安>

結婚に対する不安は、「ある」が60.6%、「ない」が34.0%となっており、回答者の約6割が不安を感じています。

具体的な不安内容は、「価値観の合う相手が見つかるか」(52.8%)、「生活費がまかなえるか」(50.4%)の割合が特に高く、次いで「出会いがあるか」(39.8%)などとなっています。



4 相談先、学習支援の場や居場所について

<悩みごとの相談について>

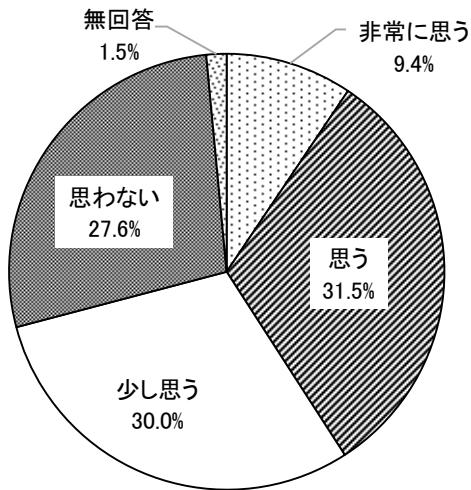
普段、悩み事を誰かに相談したいと思うかについては、「非常に思う」が9.4%、「思う」が31.5%、「少し思う」が30.0%となり、回答者の約7割が悩み事を誰かに相談したいと思っています。

悩み事を相談する相手は、「友人・知人」(71.4%)と「親」(63.5%)の2つの割合が突出して高くなっています。

悩み事の相談方法は、「会って話す」(85.7%)の割合が最も高く、次いで「LINE」(41.4%)、「電話」(21.2%)となっています。

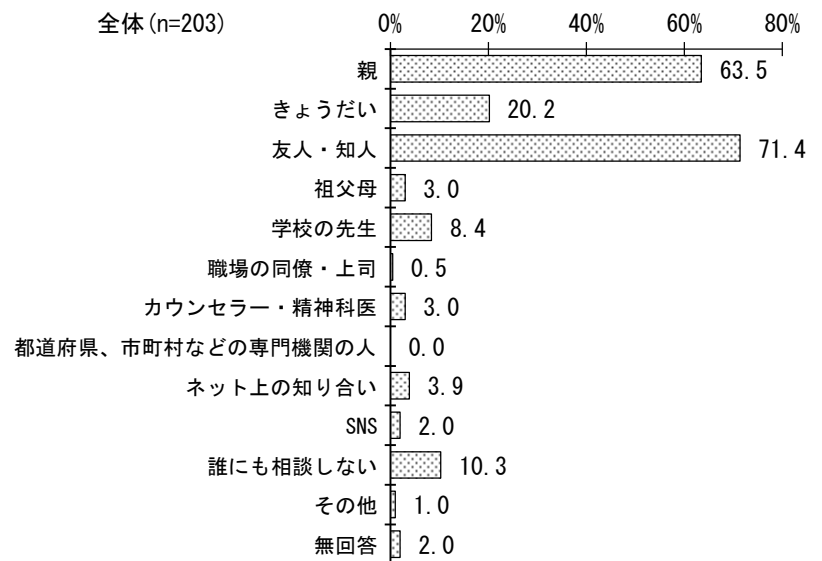
悩み事を誰かに相談したいと思うか

全体 (n=203)



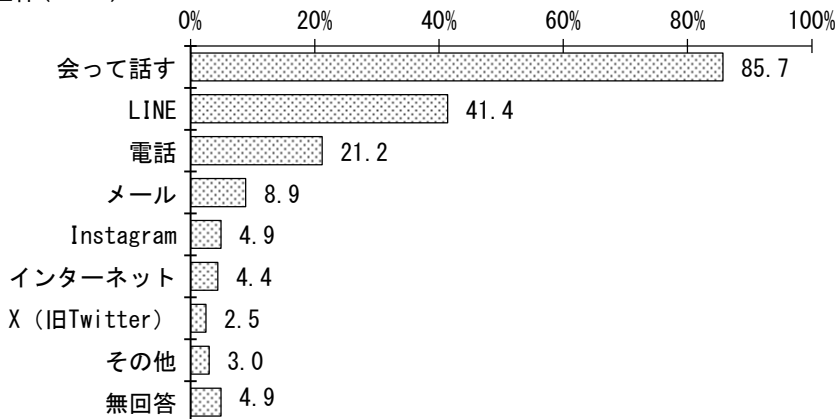
悩み事を相談する相手

全体 (n=203)



悩み事の相談方法

全体 (n=203)



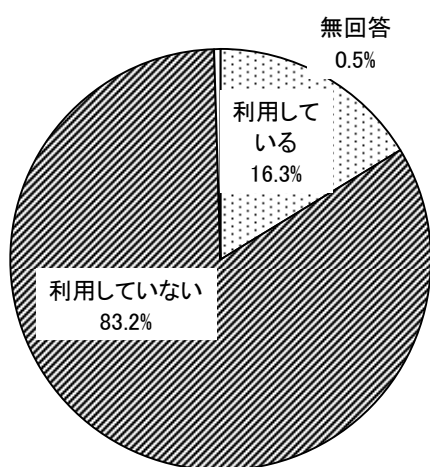
＜学習等に対する支援の希望＞

学習塾等の利用状況は、「利用している」が16.3%、「利用していない」が83.2%となっており、「利用している」は1割台半ばにとどまっています。

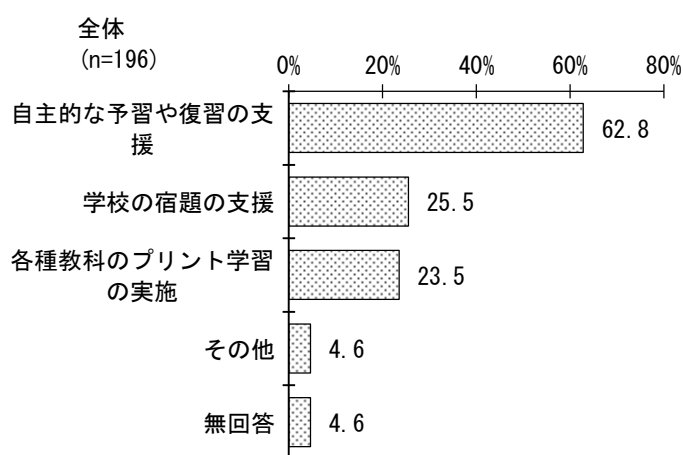
自学自習の支援で希望するものは、「自主的な予習や復習の支援」(62.8%)の割合が最も高く、次いで「学校の宿題の支援」(25.5%)「各種教科のプリント学習の実施」(23.5%)、となっています。

学習支援の場として利用しやすい場所は、「学校の余裕教室」(45.9%)、「NPO法人等が提供する施設」(45.4%)の割合が特に高く、次いで「自宅（オンラインの支援）」(40.3%)となっています。

全体 (n=196) 学習塾等の利用状況

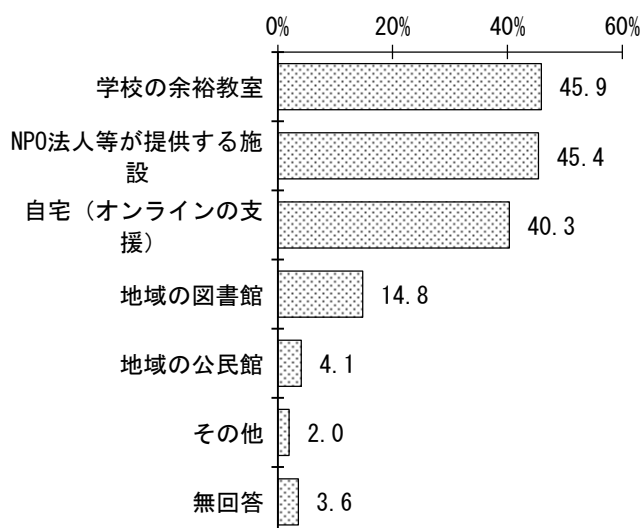


希望する自学自習の支援



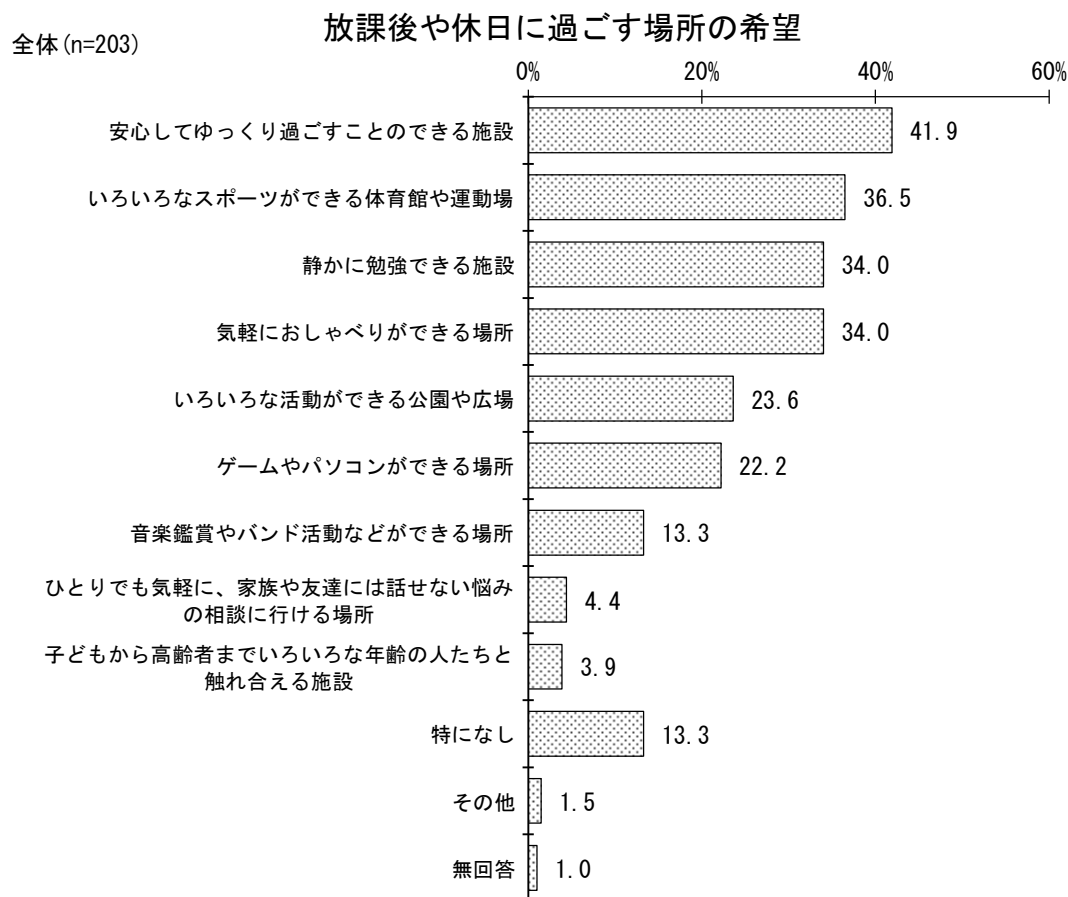
利用しやすい学習支援の場所

全体 (n=196)



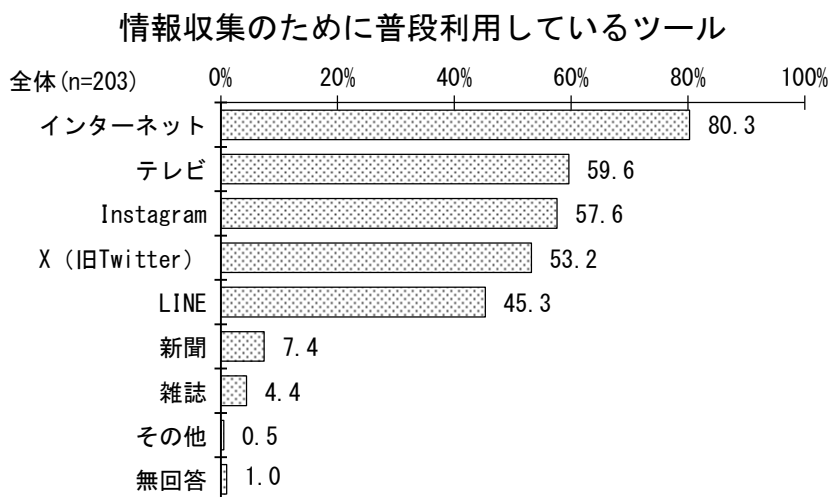
＜学校と家以外で放課後や休日に過ごす場所の希望＞

学校と家以外で、放課後や仕事の後・休日に過ごす場所の希望については、「安心してゆっくりと過ごすことのできる施設」(41.9%)の割合が最も高く、次いで「いろいろなスポーツができる体育館や運動場」(36.5%)、「静かに勉強できる施設」「気軽におしゃべりができる場所」(いずれも34.0%)となっています。



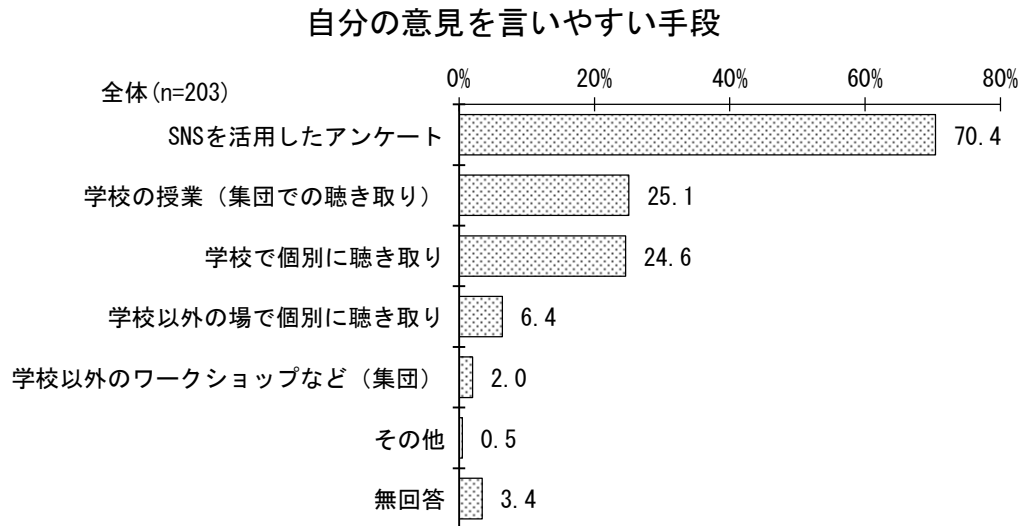
5 情報収集について

情報収集のために普段利用しているツールは、「インターネット」(80.3%)の割合が最も高く、次いで「テレビ」(59.6%)、「Instagram」(57.6%)、「X(旧Twitter)」(53.2%)、「LINE」(45.3%)となっています。



6 こどもや若者の意見聴取について

こどもや若者の意見聴取について意見を言いやすい手段は、「SNS を活用したアンケート」(70.4%)の割合が最も高く、次いで「学校の授業（集団での聴き取り）」(25.1%)、「学校で個別に聴き取り」(24.6%) となっています。



以上

子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査 調査結果報告書

令和6年3月
三条市

〒959-1192 新潟県三条市新堀 1311
三条市教育委員会 子育て支援課
TEL : 0256-45-1113
FAX : 0256-45-1130